

新型コロナウイルス感染症拡大期における
受診意識調査
(2021年度)

報告書

令和4年8月
健康保険組合連合会

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法と内容	1
(1) 調査方法、調査対象	1
(2) 調査内容	2
(3) 調査結果の記載に関する留意点	3
第2章 回答者の属性	4
1. 性別・年齢	4
2. 居住地域	5
3. 職業	6
4. 加入している医療保険	7
5. 「かかりつけ医・医療機関」の有無	8
第3章 新型コロナウイルスワクチンの接種状況	10
1. 新型コロナウイルスワクチンの接種回数	10
2. 新型コロナウイルスワクチンの接種時期	12
(1) 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期	12
(2) 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期	13
3. 新型コロナウイルスワクチンの接種場所	14
(1) 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所	14
(2) 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所	17
4. 新型コロナウイルスワクチンの接種を契機とした感染予防対策の意識変化	20
(1) 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底	20
(2) 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底	21
(3) テレワークやローテーション勤務の実施	22
(4) 外出時（外食等を含む）の「3つの密（密閉、密集、密接）」回避の徹底	23
5. 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向等	24
(1) 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向	24
(2) 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所	25
(3) 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたくない理由	27
6. 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向等	28
(1) 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向	28
(2) 新型コロナウイルスワクチン接種の未接種者が今後も接種を受けたくない理由	29
第4章 新型コロナウイルス感染症が確認される前の受診状況等	30
1. 定期的な通院を行っていた原因疾患（持病あり群）	30
2. 定期的な通院を開始した時期（持病あり群）	31
3. 通院する日の決め方（持病あり群）	32
第5章 「第4波」、「第5波」による感染拡大期の受診状況等	33
1. 通院頻度の変化（持病あり群、2019年12月／2021年8月）	33
2. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に通院を抑制した理由（持病あり群）	36
3. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期における通院方法（持病あり群）	37
4. 体調不良があった時期及び受診を検討した診療科（持病なし・体調不良あり群）	38
5. 体調不良があった際の受診方法（持病なし・体調不良あり群）	39
6. 体調不良があった際に外来受診しなかった理由（持病なし・体調不良あり群）	41

7. 体調不良があった際に受診控えによる体調の変化（持病なし・体調不良あり群）	42
8. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に予定していた健診等の受診状況	44
(1) 健康診断の受診状況	44
(2) がん検診の受診状況	46
第6章 「第5波」の小康期～緊急事態宣言の解除後の受診状況等	48
1. 通院頻度の変化（持病あり群、2019年12月／2021年8月／同年10月）	48
2. 2021年10月以降に通院を抑制した理由（持病あり群）	53
3. 2021年10月以降に通院を抑制したことによる体調の変化（持病あり群）	54
4. 2021年10月以降の通院方法（持病あり群）	56
5. 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院・受診に関する考え	58
(1) 持病あり群による今後の通院に関する考え	58
(2) 持病なし・体調不良あり群による今後の医療機関の受診に関する考え	60
第7章 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした意識・行動の変化	62
1. 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために特に必要と感じている対策	62
2. 新型コロナウイルス感染症対策のために強く意識して行ってきたこと	63
(1) 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底	63
(2) 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底	64
(3) テレワークやローテーション勤務の実施	65
(4) 外出時（外食等を含む）の「3つの密（密閉、密集、密接）」回避の徹底	66
3. 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化	67
4. 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化	69
第8章 オンライン診療に関する意識	70
1. オンライン診療の受診経験の有無	70
2. オンラインで医師の診察を受けたことがある診療科	74
3. 初めてオンライン診療を受けた際の状況	75
4. オンライン診療の受診に対する感想、考え	76
(1) オンライン診療を受けた経験のある回答者の考え	76
(2) オンライン診療を受けた経験のない回答者の考え	78
5. 「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向	79
第9章 その他	82
1. 新型コロナウイルスや自分の病気に対する不安	82
2. 新型コロナウイルス感染症の治療費の負担に関する認識とあるべき姿	83
(1) 新型コロナウイルス感染症の治療費負担に対する認知状況	83
(2) 新型コロナウイルス感染症の治療費負担のあるべき姿に関する考え	84
参考資料	1

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査「新型コロナウイルス感染症拡大期における受診意識調査(2021 年度)」は、新型コロナウイルス感染症の流行やワクチン接種等の推移に応じて、国民の医療機関へのかかり方や、現在の医療や医療保険制度に対する考えに、どのような変化があったのかを広く把握し、今後の医療政策の検討に資する基礎資料を整備することを目的に、web アンケート方式による意識調査を実施したものである。

2. 調査の方法と内容

(1) 調査方法、調査対象

○実施方式： インターネット調査

○実施時期： 令和 3 年12月

○回収数・抽出方法：

楽天インサイト株式会社に登録した全国のモニターのうち、「疾患」サブパネルの登録モニター(本人・家族の罹患経験や通院・投薬状況、家族の要介護度等に関する同社のアンケートの回答者で構成、パネル数約469,660人)から、下記の手順で抽出した計 4,744 人(「持病あり」群=3,500 人、「持病なし・体調不良あり」群=1,244人)を本調査の対象とした。

<回答者の抽出手順>

① 2群の定義の設定

本調査で設定する2群を、下記のように定義づけた。

「持病あり」群	2019 年 12 月(国内で新型コロナウイルス感染者が確認される前)の状況として、持病(けがを除く)の治療(経過観察を含む)のために、医療機関に定期的に通院していた者
「持病なし・体調不良あり」群	「持病あり」群に該当せず、かつ全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第 4 波」、「第 5 波」の感染拡大期(2021 年 5 月～9 月))に、医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したことがあった者(実際には受診したか否かは問わず)

② 出現率調査

「④の本調査において、①の両群それぞれで 1,000 人程度以上の回収を得る」、「③の予備調査の回収数を、全国の性別×10 歳階級別の人口比と等しくなるよう設定する」、及び「性別×10 歳階級別の各区分の回収数を、実際に回収が可能な範囲内に収める」ために必要なデータを得る目的で、「出現率調査」を実施し、①の両群それぞれの該当者割合を、性別×10 歳階級(20 歳代～70 歳代)別に把握した。

③ 予備調査（スクリーニング調査）

回答者が、上記①の各群に該当するか否かを問う予備調査（スクリーニング調査）を実施した。これにあたっては、上記②の出現率調査の結果をもとに、「各性・年齢階級別について回収可能」で、かつ「（出現率がより低い）「持病なし・体調不良あり」群の回収を 1,000 人程度以上見込める」数として、予備調査の回収数を 24,000 人に設定した。また、この回収数 24,000 人を、全国の人口比に応じて性別×10 歳階級別に按分した。

④ 本調査

上記③の予備調査において、②に示す「持病あり」群または「持病なし・体調不良あり」群に該当した者を対象に、本調査を実施した。うち、「持病あり」群については 3,500 人（※）の回収を得た段階で本調査を終了し、「持病なし・体調不良あり」群については、該当者全員 1,244 人を回答対象とした。

※：3,500 人という回収数を、さらに性別×10 歳階級別に割り付ける形で設定した。各区分の割付数は、性別×10 歳階級別ごとの、「人口 × 「持病あり」群の出現率」に応じて按分した数とした。

（2）調査内容

区分	調査内容
（モニター情報からの収集）	◇性別 ◇年齢 ◇居住都道府県
予備調査	◇2019 年 12 月における持病の治療のための定期的な通院の有無 ◇2021 年 5 月～9 月における医療機関の受診を検討するような体調不良の有無
回答者属性	◇職業 ◇加入している医療保険
外来受診の状況（「持病あり」群）	◇定期的な通院の原因疾患 ◇定期的な通院の開始時期 ◇外来受診回数（2019 年 12 月、2021 年 8 月、2021 年 10 月） ◇新型コロナウイルス感染拡大前の通院日の決め方 ◇全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第 4 波」、「第 5 波」の感染拡大期（2021 年 5 月～9 月））における通院頻度の変化、通院頻度を減らした理由、通院方法 ◇「第 5 波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期（2021 年 10 月以降）における通院頻度の変化、通院頻度を減らした理由、通院頻度を減らしていたことにより感じる体調の変化、通院方法 ◇国全体の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院頻度の希望 ◇新型コロナウイルスや持病に対する不安
外来受診の状況（「持病なし・体調不良あり」群）	◇医療機関の受診を検討するような体調不良の時期 ◇受診を検討した診療科 ◇体調不良に伴う受診の有無、受診しなかった理由 ◇受診しなかったことにより感じる体調の変化 ◇国全体の新型コロナウイルスの感染状況に応じた医療機関受診の希望

<p>新型コロナウイルスワクチンの接種状況や健康診断・がん検診の受診状況、健康・医療に対する意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇新型コロナウイルスワクチンの接種有無、接種時期、接種場所(1回目、2回目) ◇新型コロナウイルスワクチンの接種を契機とする感染予防対策の行動にかかわる意識の変化 ◇3回目の接種希望の有無、接種したい場所、接種したくない場合その理由 ◇全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月～9月))における健康診断/がん検診の予定や受診の有無、健康診断の時期を遅らせたまたは受けていない理由 ◇新型コロナウイルスの感染拡大防止のために特に必要と感じている対策 ◇新型コロナウイルス感染症対策のため強く意識して行っていたこと ◇新型コロナウイルスの感染拡大を契機として病気や健康にかかわる回答者自身の意識がどのように変わると思うか ◇新型コロナウイルス感染症の治療にかかる治療費の負担者に関する認識の有無、負担のあるべき姿
<p>オンライン診療に関する意識</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇オンライン診療の経験の有無、オンライン診療を受けた診療科、オンライン診療を受けた際の状況(初診・再診等) ◇オンライン診療を受けた感想 ◇オンライン診療に対する考え ◇オンライン診療の利用希望の有無(初診・再診別) ◇「かかりつけ医・医療機関」の有無・決め方・医療機関種別 ◇新型コロナウイルス感染拡大を契機とする「かかりつけ医」に対する意識の変化 ◇「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向

(3) 調査結果の記載に関する留意点

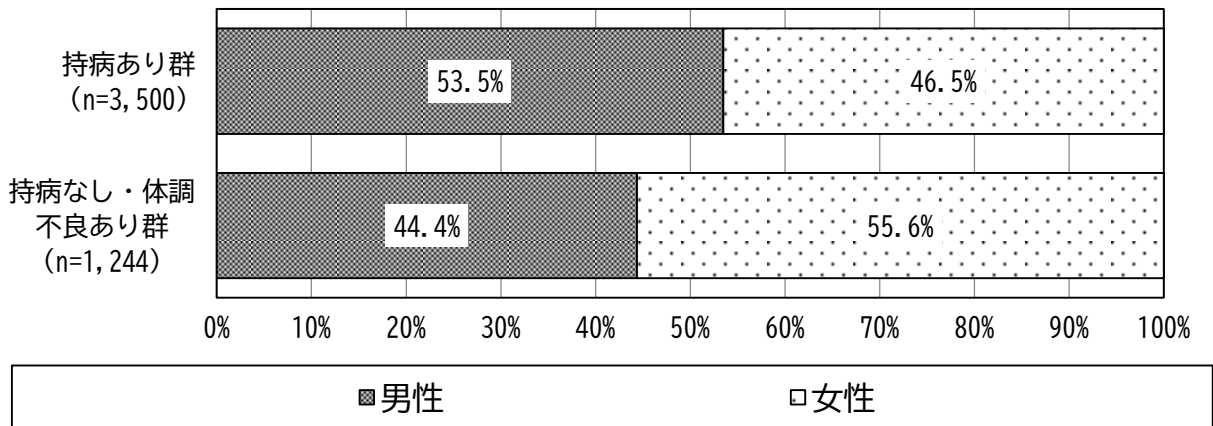
第2章以降に掲載の調査結果では、図表中において各選択肢の回答割合を記載し、本文中において複数の選択肢の回答割合の合算値を記載した部分がある。端数処理の関係上、本文中の回答割合の合算値が、図表中の各選択肢の回答割合の合計と一致しない場合がある。

第2章 回答者の属性

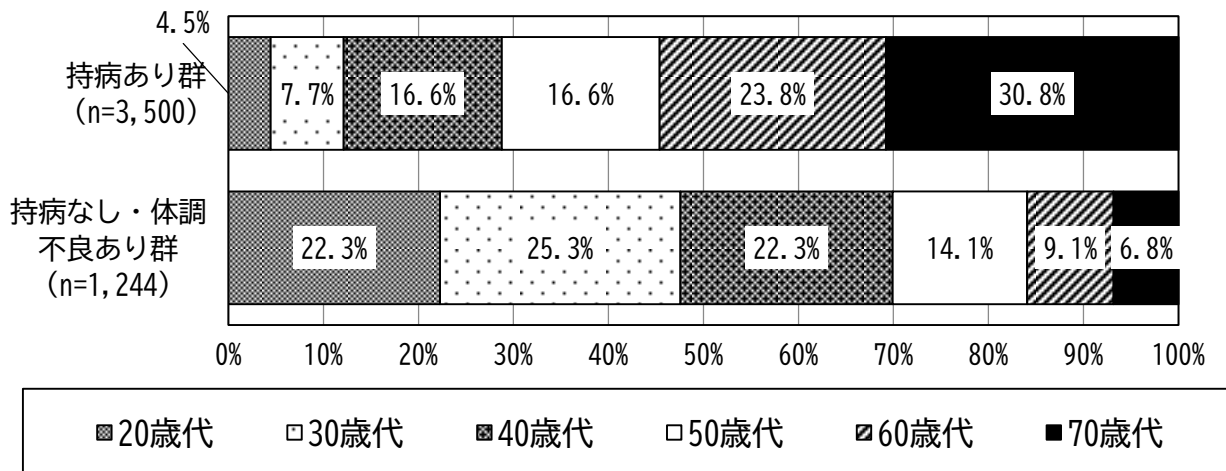
1. 性別・年齢

回答者の性別・年齢階級別の構成割合は、次のとおりだった。

図表 1 回答者の性別（群別）



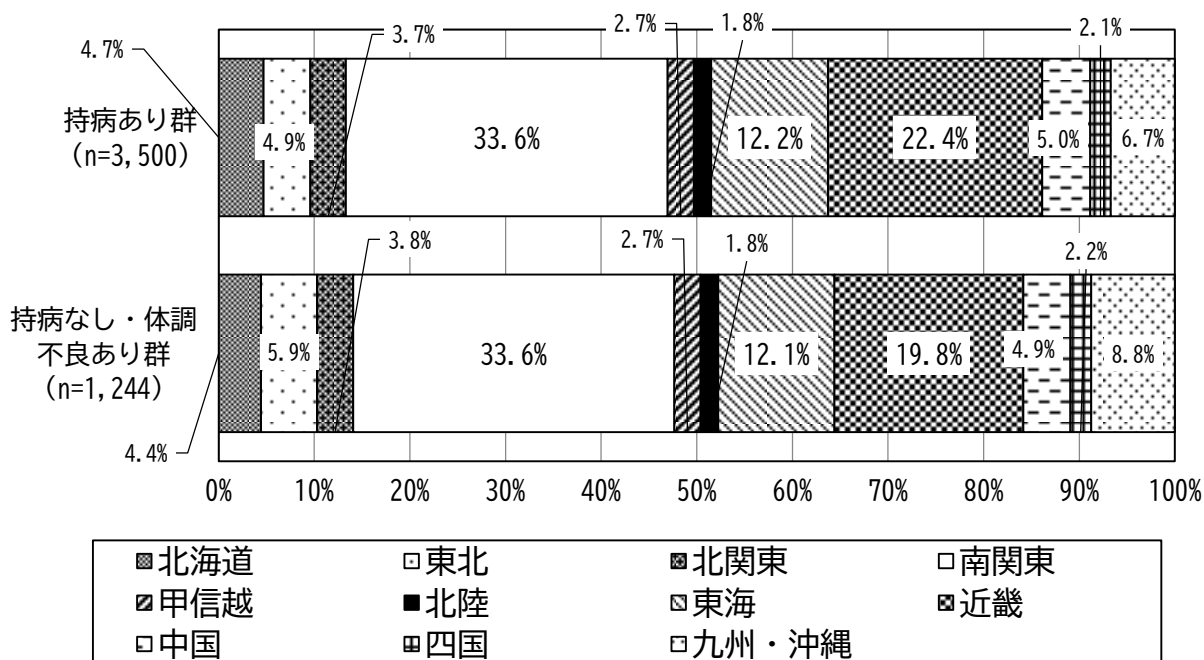
図表 2 回答者の年齢階級（群別）



2. 居住地域

回答者の居住地域の構成割合は、次のとおりだった。

図表 3 回答者の居住地域（群別）



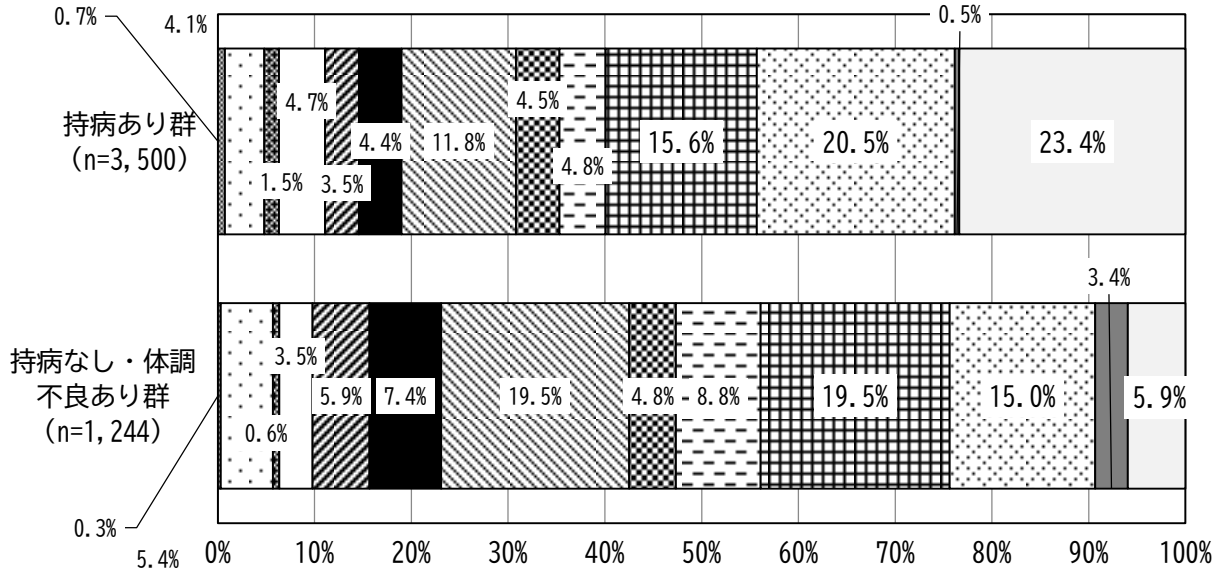
＜地域と都道府県との対応＞

◇北海道	…北海道
◇東北	…青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
◇北関東	…茨城県・栃木県・群馬県
◇南関東	…埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
◇甲信越	…新潟県・山梨県・長野県
◇北陸	…富山県・石川県・福井県
◇東海	…岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
◇近畿	…滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県
◇中国	…鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
◇四国	…徳島県・香川県・愛媛県・高知県
◇九州・沖縄	…福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

3. 職業

回答者の職業の構成割合は、次のとおりだった。

図表 4 回答者の職業（群別）



- | | | |
|----------|----------------|------------|
| ■ 農林漁業 | □ 商工・サービス業 | ■ 自由業 |
| □ 経営・管理職 | ■ 専門・技術職 | ■ 医療従事者 |
| ■ 事務職 | ■ 労務・技能職 | □ 販売・サービス職 |
| ■ その他の職業 | □ 就業していない主婦(夫) | ■ 学生 |
| □ その他無職 | | |

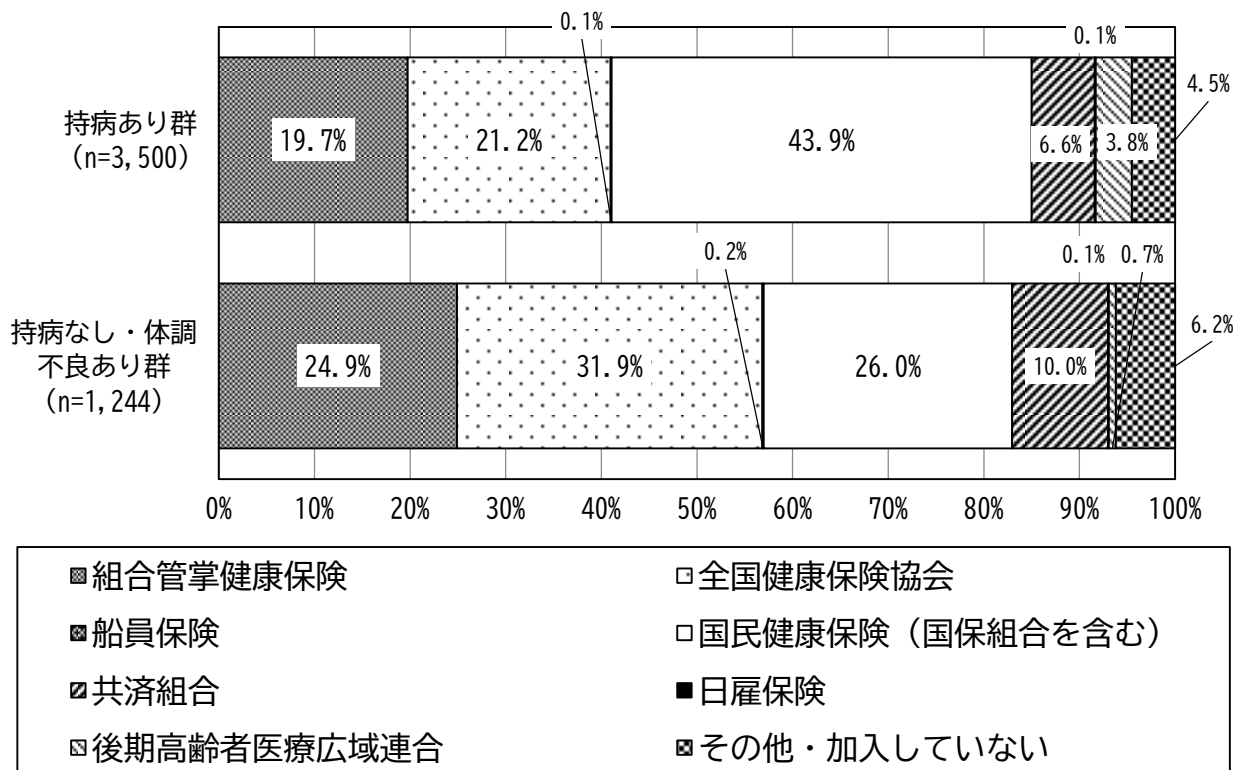
<職業の例>

- ◇ 農林漁業 … 農業、牧畜、造園業、林業、漁業など
- ◇ 商工・サービス業 … 卸売業、小売業、飲食店、理髪店、修理店など
- ◇ 自由業 … 開業医、弁護士、宗教家、著述業、茶華道師匠など
- ◇ 経営・管理職 … 官公庁・民間会社・団体の課長級以上
- ◇ 専門・技術職 … 裁判官、研究所研究員など(医療従事者を除く)
- ◇ 医療従事者 … 病院勤務医師、看護師、准看護師、助産師、保健師など
- ◇ 事務職 … 一般事務職員、教員、事務機械オペレーター、新聞記者など
- ◇ 労務・技能職 … 各種技能工、運転手、電話交換手、職人、守衛など
- ◇ 販売・サービス職 … 販売店員、外交員、ウェイトレス、理・美容師

4. 加入している医療保険

回答者が加入している医療保険は、次のとおりだった。

図表 5 加入している医療保険（群別）

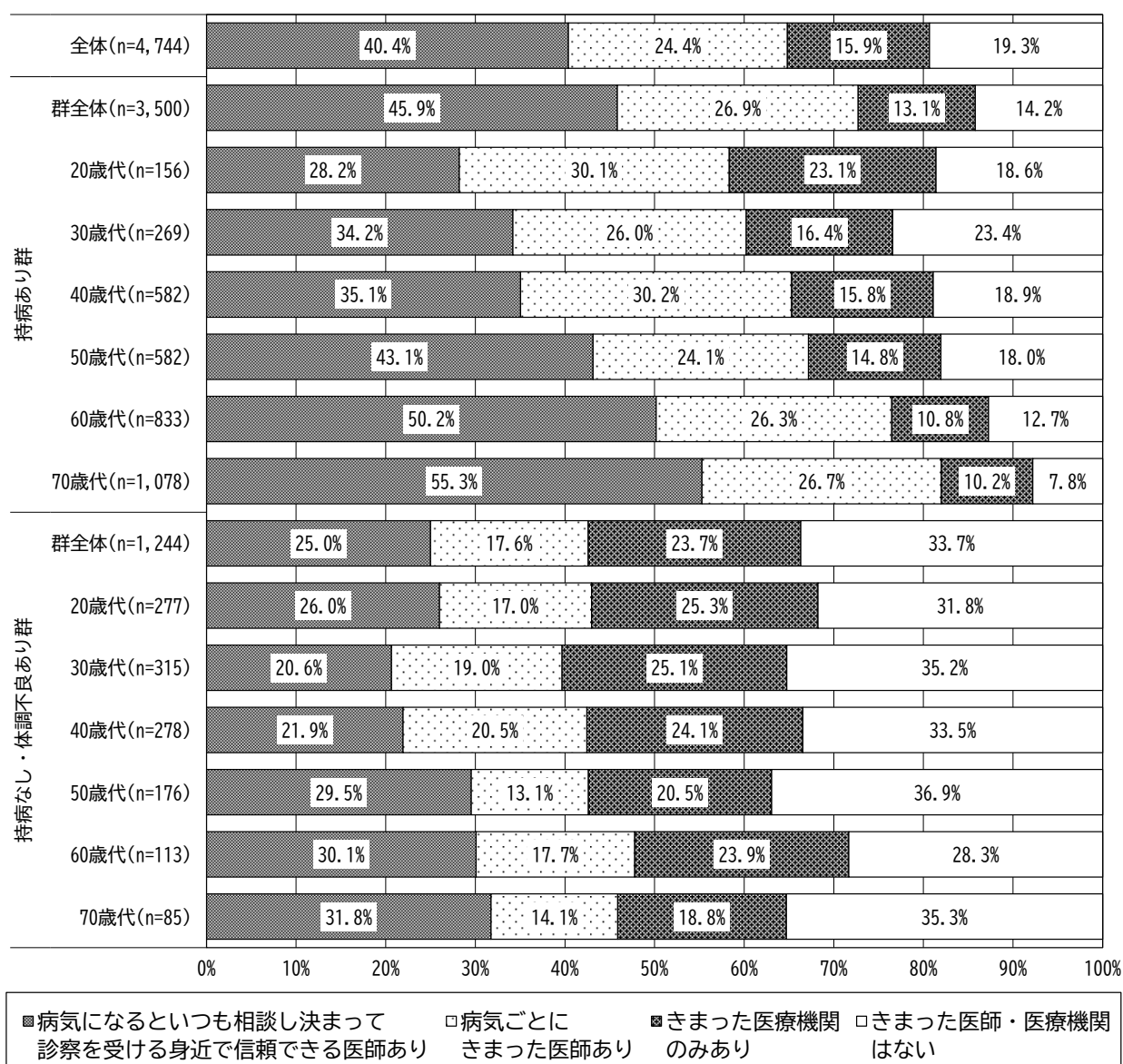


5. 「かかりつけ医・医療機関」の有無

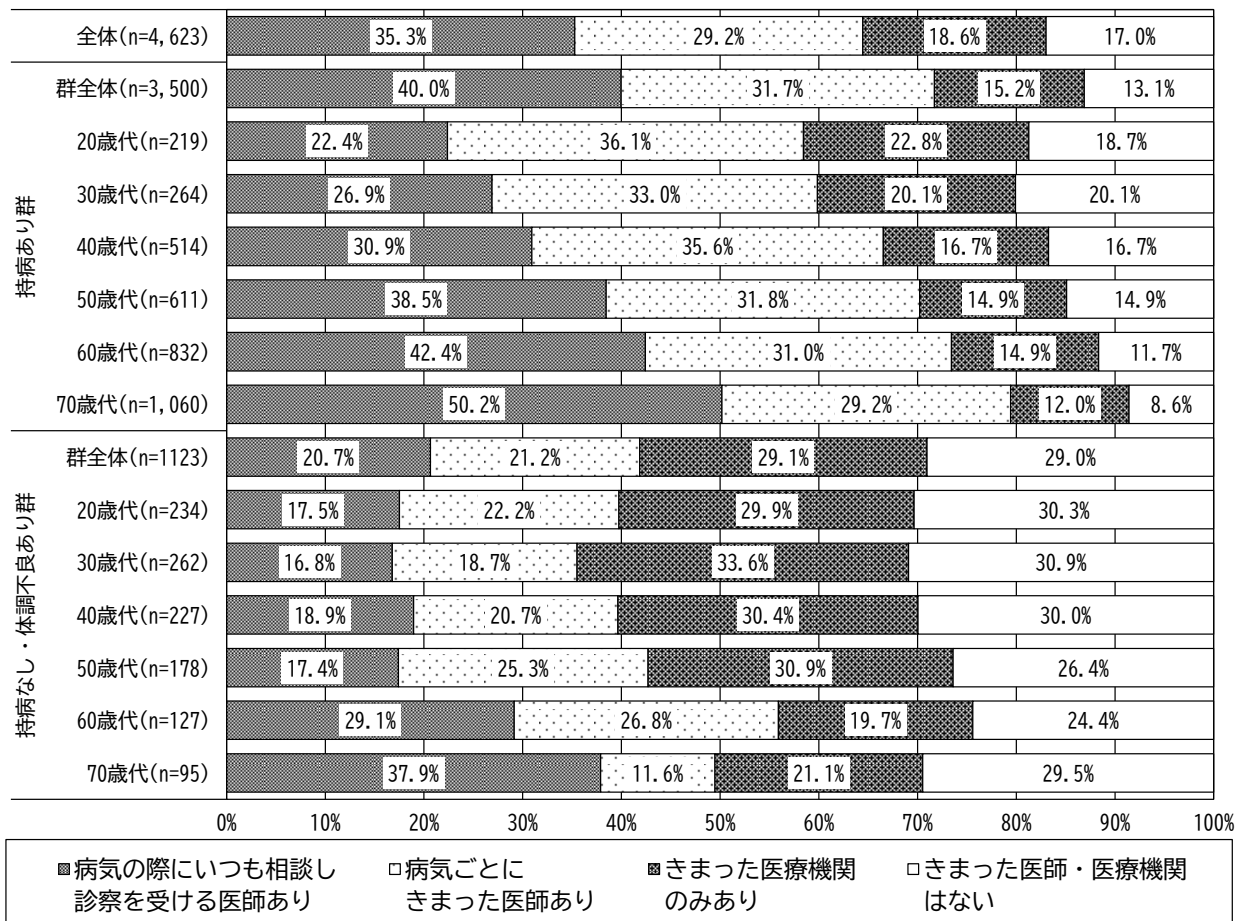
病気になるといつも相談し、きまって診察を受ける身近で信頼できる医師（以下、「かかりつけ医」という）がいる回答者の割合は全体の 40.4%（前回調査比 5.1 ポイント増）を占めた。また、かかりつけの医師がいる・医療機関がある（「病気になるといつも相談しきまって診察を受ける身近で信頼できる医師あり」、「病気ごとにきまった医師あり」、「きまった医療機関のみあり」のいずれかに該当）回答者の割合は 80.7%（同 2.4 ポイント減）を占めた。

持病あり群では 45.9%が「かかりつけ医がいる」と回答（同 5.9 ポイント増）し、年代が高くなるにつれ、その割合も高くなり、60 歳代以降では半数を超えた。また、持病なし・体調不良あり群でも 25.0%が「かかりつけ医」がいると回答（同 4.3 ポイント増）した。

図表 6 かかりつけの医師の有無（群別・年齢階級別）

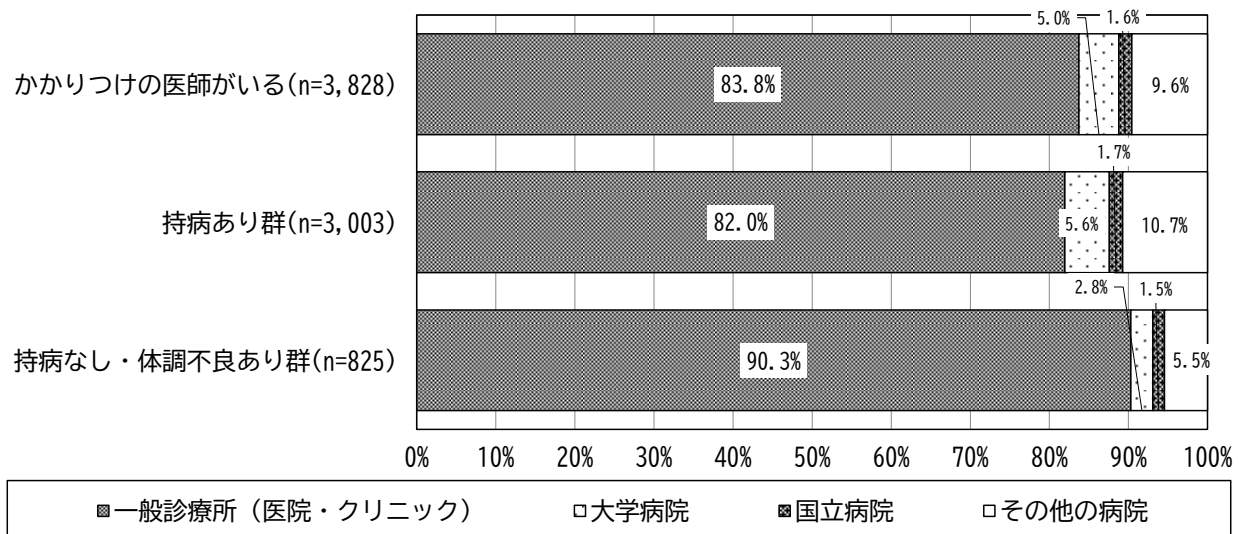


参考図表1 【前回調査】かかりつけの医師の有無（群別・年齢階級別）



「かかりつけの医師がいる・医療機関がある」回答者がいつもかかる医療機関の構成割合は、「一般診療所(医院・クリニック)」が83.8%と最も多かった。

図表7 かかりつけの医師がいる回答者がいつもかかる医療機関（群別）



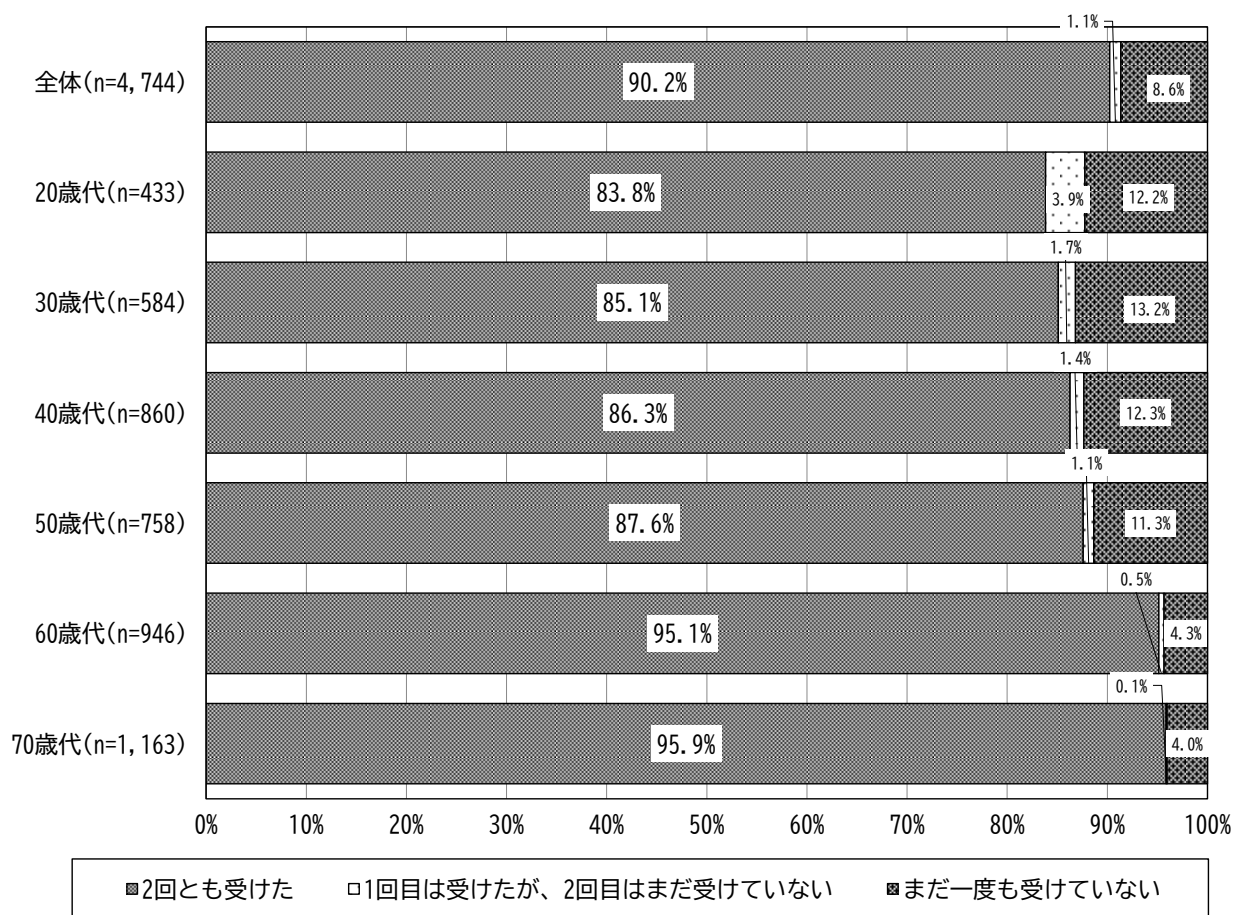
第3章 新型コロナウイルスワクチンの接種状況

1. 新型コロナウイルスワクチンの接種回数

回答者全体におけるワクチンの接種回数は、「2回とも受けた(2回)」が 90.2%で最も多く、次いで「まだ一度も受けていない(0回)」が 8.6%、「1回目は受けたが、2回目はまだ受けていない(1回)」が 1.1%の順だった。

「2回とも受けた」の回答割合を年齢階級別にみると、年齢階級が高くなるにつれて回答割合に増加傾向(83.8%~95.9%)がみられた。一方で、20歳代~50歳代で「まだ一度も受けていない(0回)」との回答が1割を超えた。

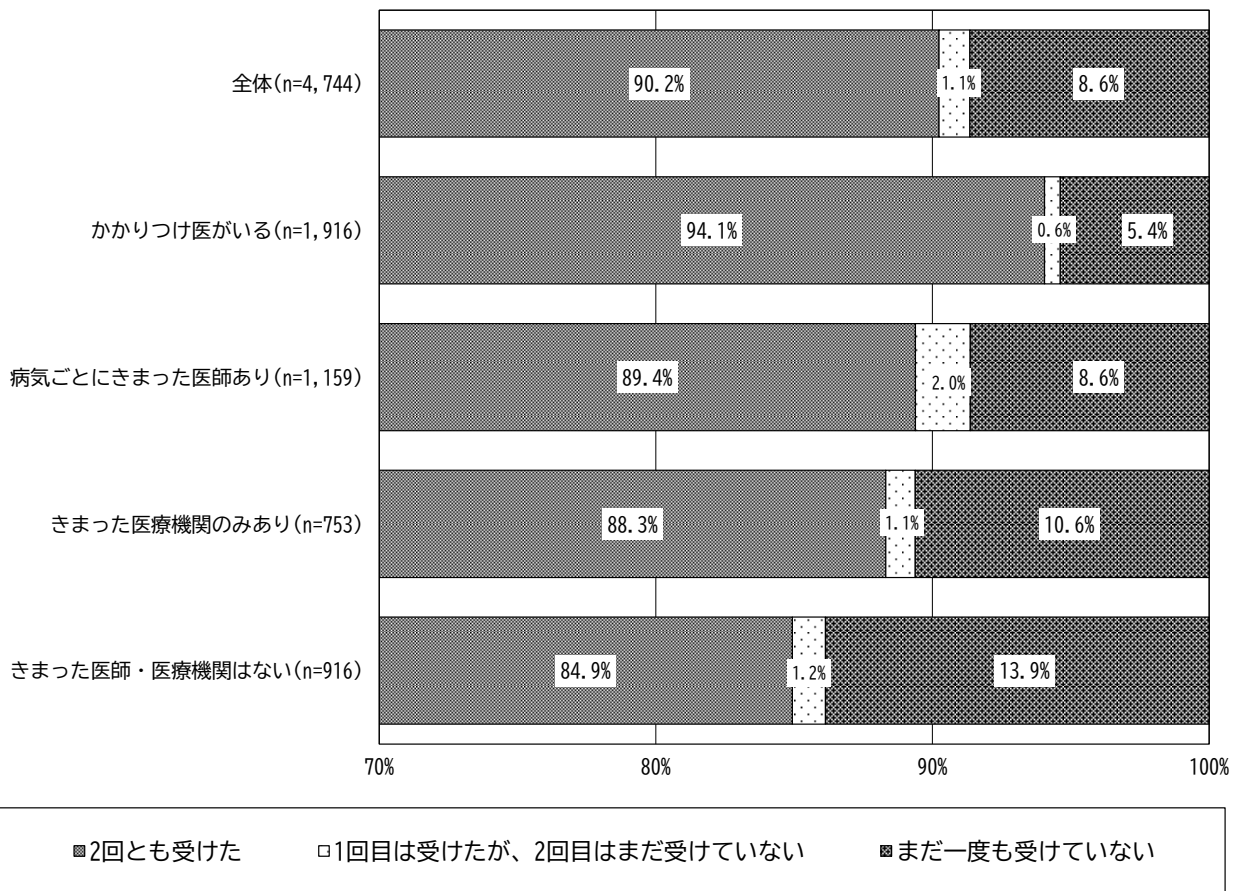
図表 8 新型コロナウイルスワクチンの接種回数（年齢階級別）



【新型コロナウイルスワクチンの接種回数(「かかりつけ医」の有無別)】

「2回とも受けた」の回答割合を「かかりつけ医」の有無別にみると、「かかりつけ医がいる」が 94.1%で最も多く、次いで「病気ごとにきまった医師あり」(89.4%)、「きまった医療機関のみあり」(88.3%)と続き、「きまった医師・医療機関はない」は 84.9%となった。一方で、きまった医師がいない者(「きまった医療機関のみあり」「きまった医師・医療機関はない」のいずれかを回答)で「まだ一度も受けていない」との回答が1割を超えた。

図表 9 新型コロナウイルスワクチンの接種回数(「かかりつけ医」の有無別)



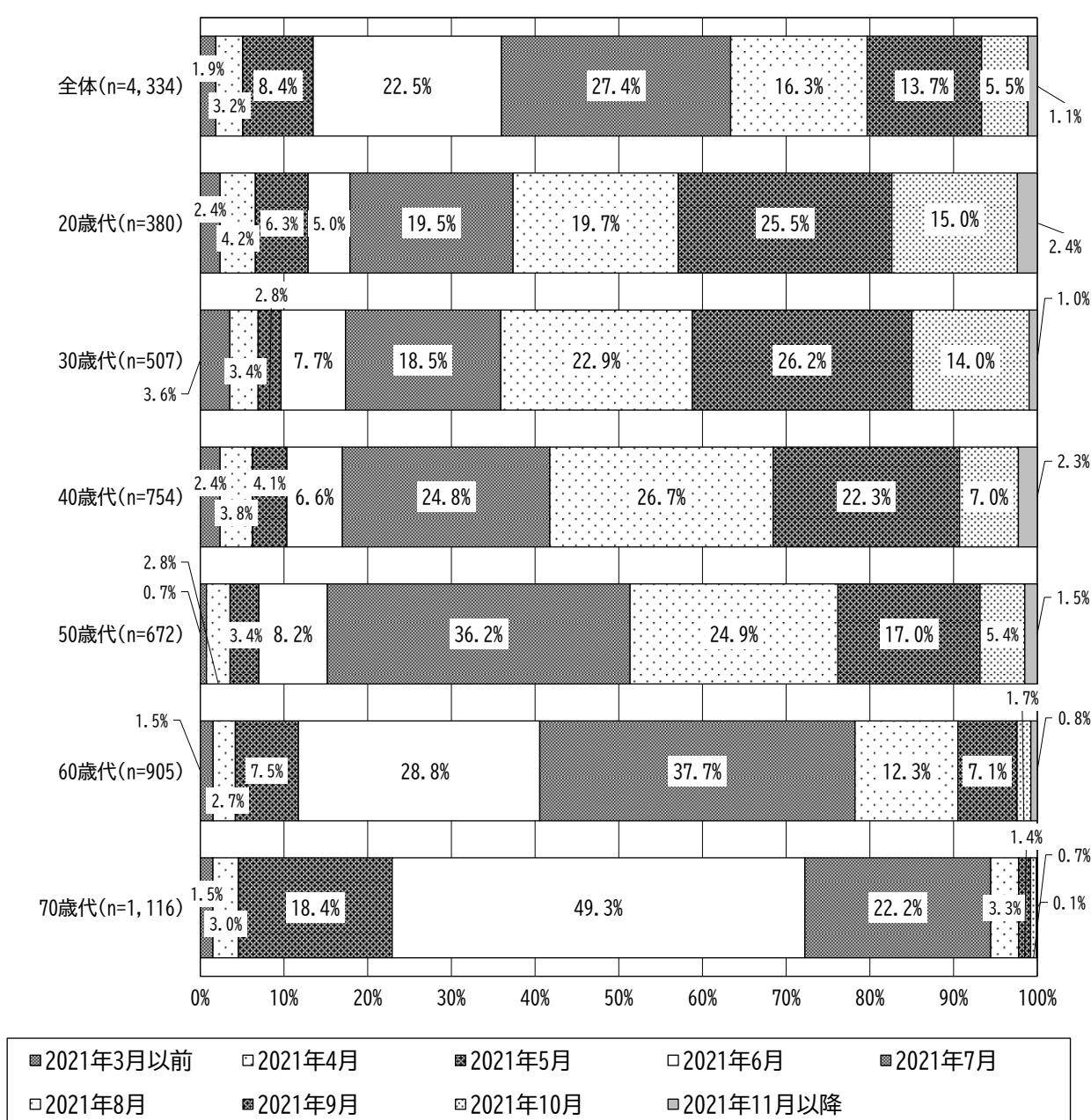
2. 新型コロナウイルスワクチンの接種時期

(1) 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期

回答者全体における、1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期は、2021年7月までは増加傾向にあり、「2021年7月」が27.4%で最多、2021年7月以降は減少傾向がみられた。

1回目の接種時期として最も回答割合の高かった2021年7月時点の内訳をみると、20歳代～60歳代では年齢階級が高くなるにつれて回答割合に概ね増加傾向(18.5%～37.7%)がみられた。一方、60歳代～70歳代の回答割合に減少傾向(37.7%～22.2%)がみられた。

図表 10 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期（年齢階級別）

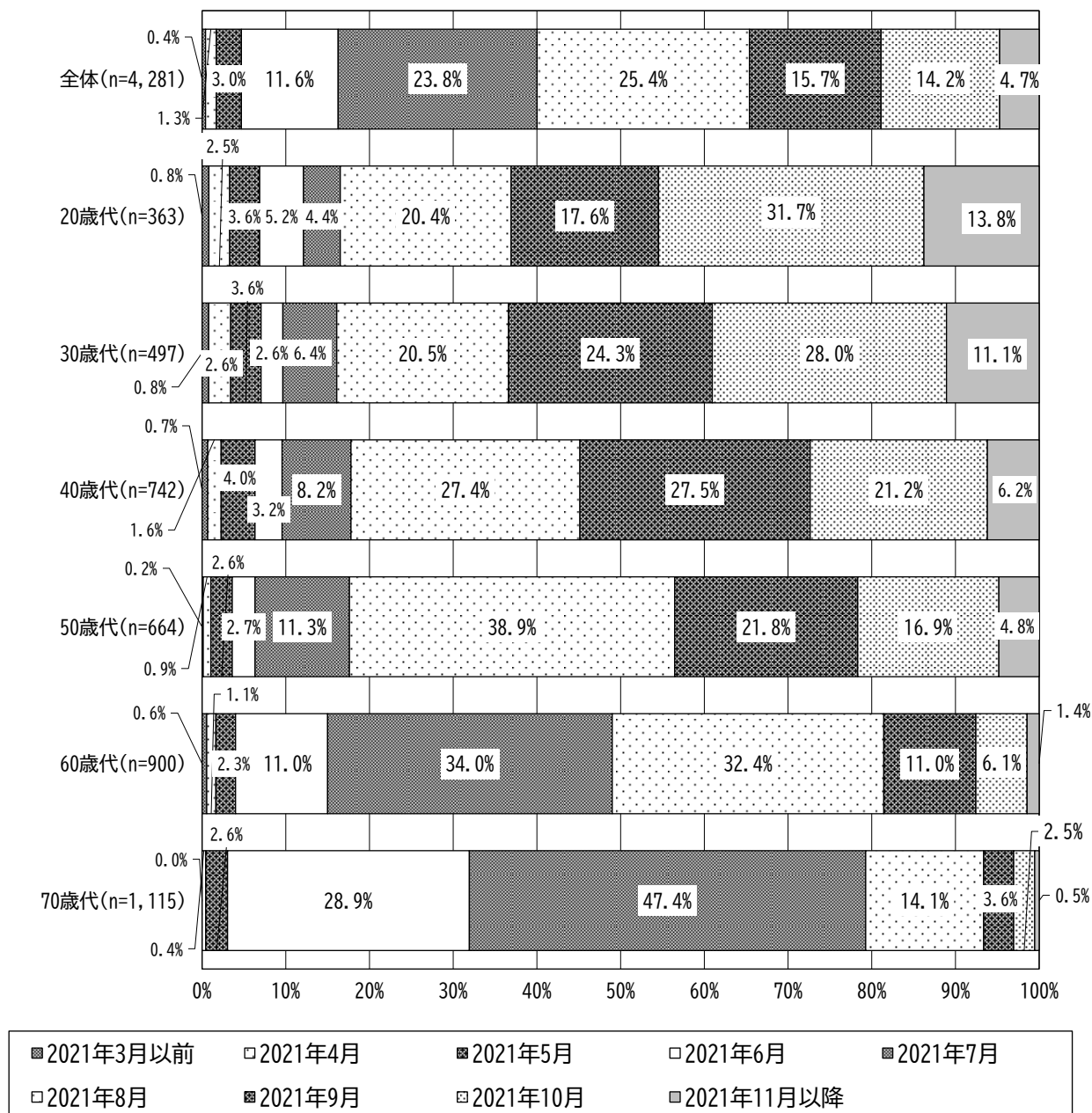


(2)2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期

回答者全体における、2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期は、2021年8月までは増加傾向にあり、「2021年8月」が25.4%で最多、2021年8月以降は減少傾向がみられた。

2回目の接種時期として最も回答割合の高かった2021年8月時点の内訳をみると、20歳代～50歳代では年齢階級が高くなるにつれて回答割合に増加傾向(20.4%～38.9%)がみられた。一方、50歳代～70歳代の回答割合に減少傾向(38.9%～14.1%)がみられた。

図表 11 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種時期（年齢階級別）



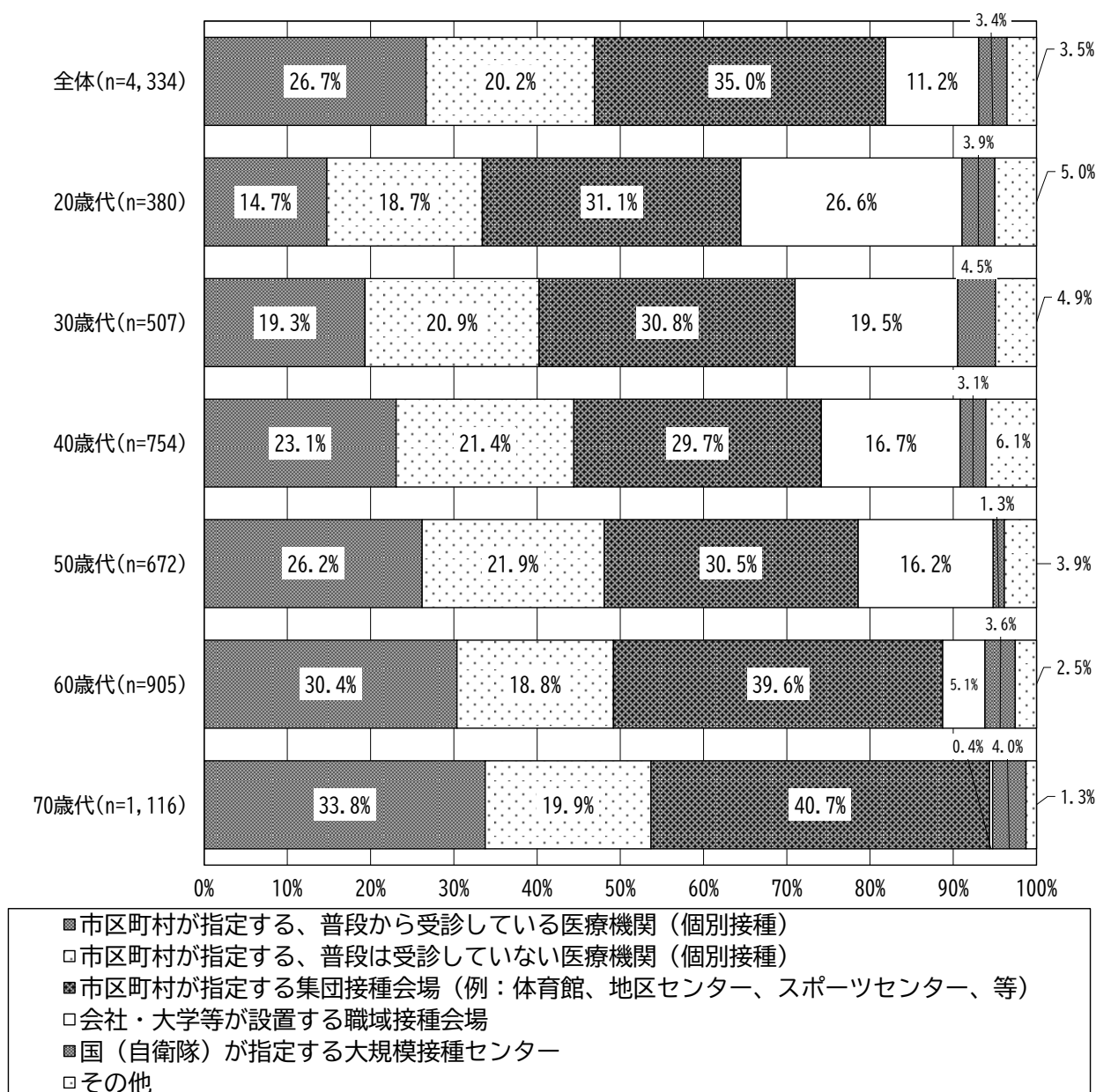
3. 新型コロナウイルスワクチンの接種場所

(1) 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所

回答者全体における1回目のワクチンの接種場所は、「市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が35.0%で最も多く、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」(26.7%)、「市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)」(20.2%)と続き、「会社・大学等が設置する職域接種会場」は11.2%となった。

職域接種会場における回答者の内訳を年齢階級別にみると、「20歳代」が26.6%と最も多く、「30歳代」(19.5%)、「40歳代」(16.7%)、「50歳代」(16.2%)と続き、現役世代を中心に全体より高い割合を占めた。また、若年層ほど「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」の割合が低かった。

図表 12 1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所 (年齢階級別)

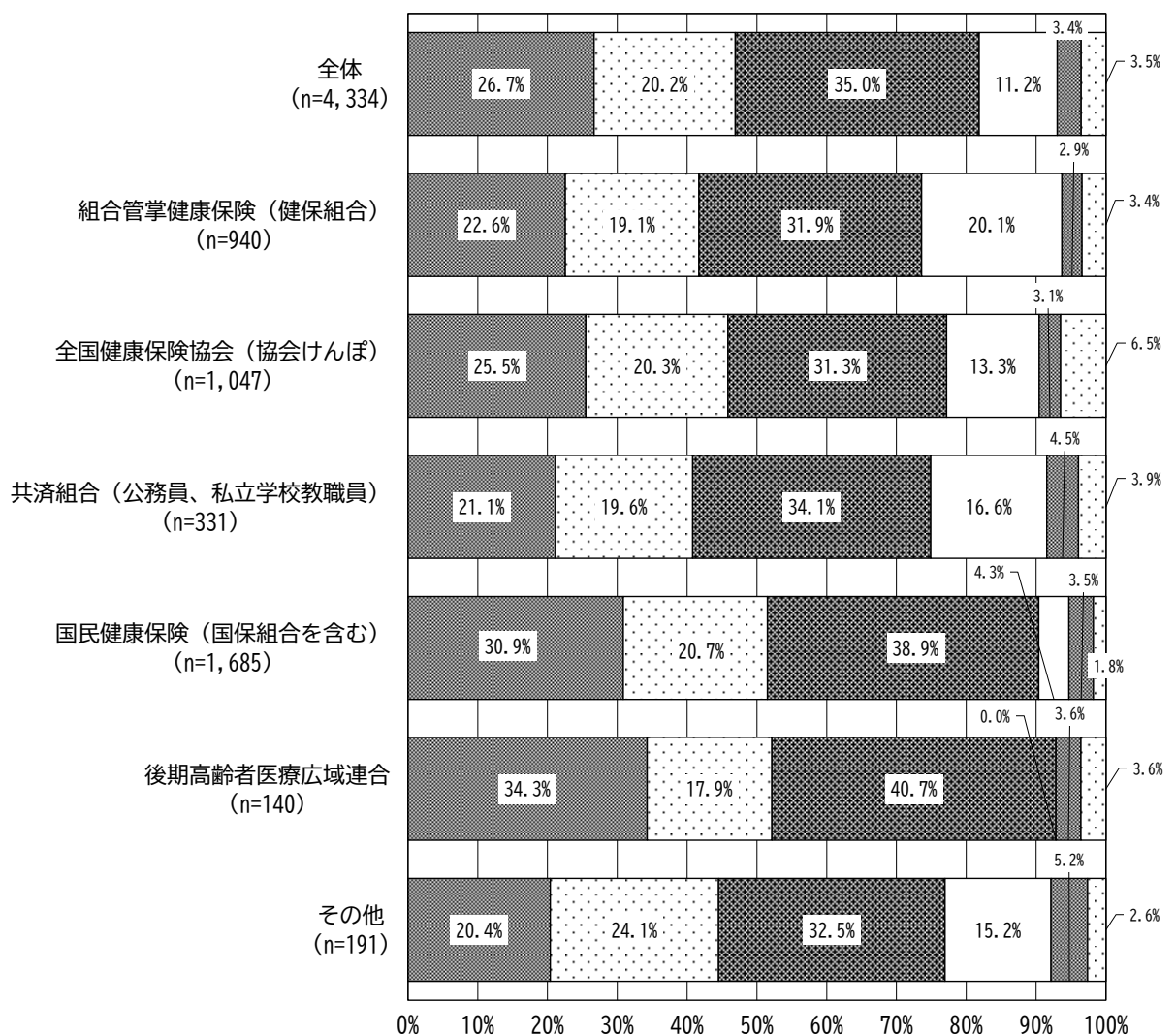


【1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(加入している医療保険別)】

1 回目のワクチンの接種場所について、加入している医療保険別にみると、「市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が全体(35.0%)よりも多かったのは、「後期高齢者広域連合」(40.7%)、「国民健康保険(国保組合を含む)」(38.9%)だった。両制度は、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」がそれぞれ 34.3%、30.9%となり、全体(26.7%)より高い割合を占めた。

また、「会社・大学等が設置する職域接種会場」(全体 11.2%)の制度別の状況は、「組合管掌健康保険(健保組合)」が 20.1%と最も多く、「共済組合(公務員、私立学校教職員)」(16.6%)、「その他」(15.2%)、「全国健康保険協会(協会けんぽ)」(13.3%)などと続いた。

図表 13 1 回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所 (加入している医療保険別)



- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関 (個別接種)
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関 (個別接種)
- 市区町村が指定する集団接種会場 (例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国(自衛隊)が指定する大規模接種センター
- その他

【1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(都道府県別)】

1回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所を都道府県別にみると、結果は以下のとおりだった。

図表 14 1 回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所 (都道府県別)

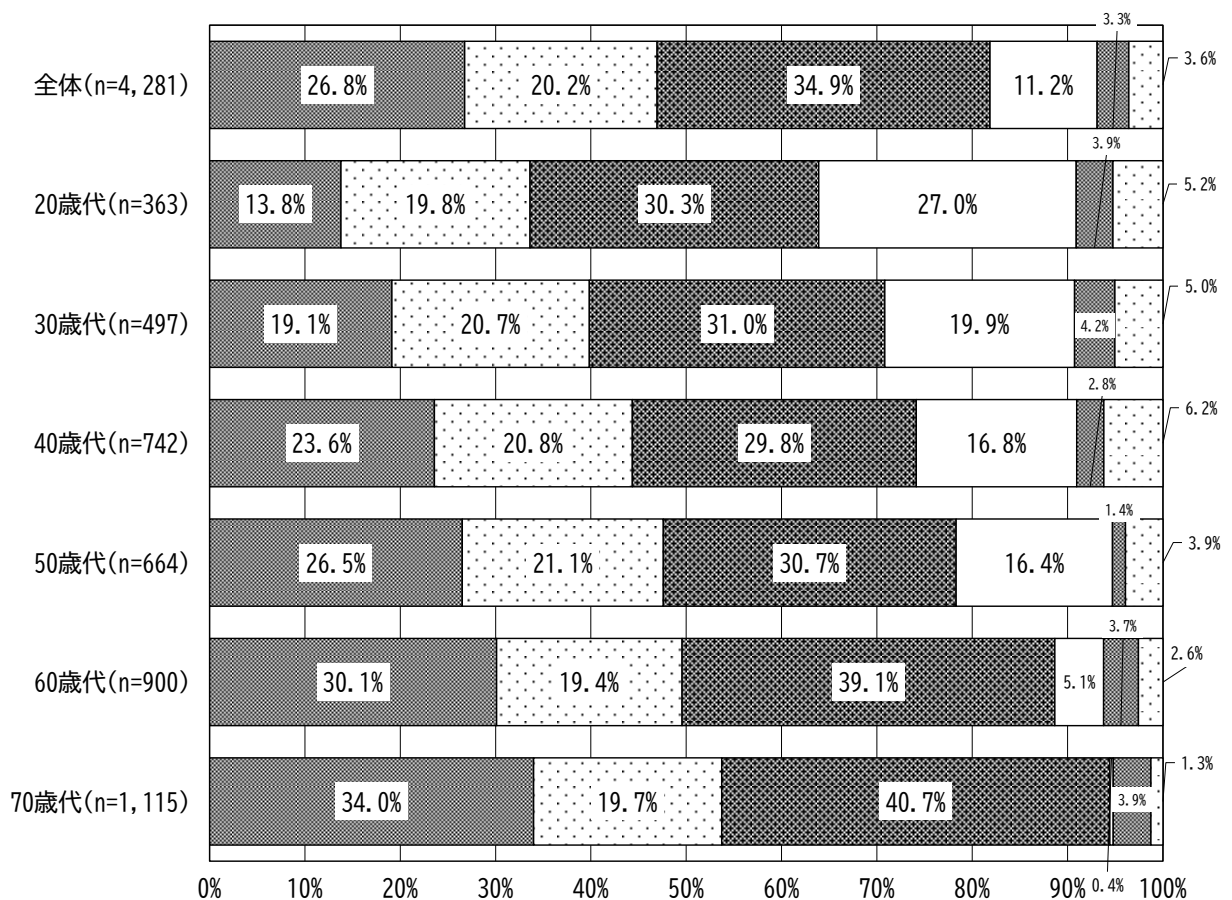
	市区町村が指定する、普段から受診している医療機関 (個別接種)	市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関 (個別接種)	市区町村が指定する集団接種会場 (例: 体育館、地区センター、スポーツセンター、等)	会社・大学等が設置する職域接種会場	国 (自衛隊) が指定する大規模接種センター	その他
新型コロナウイルスワクチン接種を2回とも接種済み又は1回のみ接種済み群全体 (n=4,334)	26.7%	20.2%	35.0%	11.2%	3.4%	3.5%
北海道 (n=191)	28.8%	20.4%	33.0%	11.0%	1.6%	5.2%
青森県 (n=20)	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
岩手県 (n=27)	33.3%	18.5%	29.6%	7.4%	0.0%	11.1%
宮城県 (n=95)	30.5%	13.7%	35.8%	9.5%	8.4%	2.1%
秋田県 (n=26)	26.9%	19.2%	38.5%	3.8%	0.0%	11.5%
山形県 (n=21)	23.8%	9.5%	57.1%	4.8%	0.0%	4.8%
福島県 (n=37)	40.5%	16.2%	27.0%	8.1%	0.0%	8.1%
茨城県 (n=70)	24.3%	24.3%	32.9%	10.0%	2.9%	5.7%
栃木県 (n=46)	34.8%	19.6%	39.1%	4.3%	2.2%	0.0%
群馬県 (n=49)	30.6%	18.4%	42.9%	2.0%	2.0%	4.1%
埼玉県 (n=275)	24.7%	29.1%	27.3%	12.0%	3.6%	3.3%
千葉県 (n=237)	31.2%	21.9%	30.4%	12.7%	1.7%	2.1%
東京都 (n=578)	20.1%	18.0%	39.4%	14.2%	5.4%	2.9%
神奈川県 (n=390)	22.6%	19.5%	34.6%	15.1%	5.1%	3.1%
新潟県 (n=45)	15.6%	20.0%	55.6%	8.9%	0.0%	0.0%
富山県 (n=33)	24.2%	30.3%	30.3%	12.1%	0.0%	3.0%
石川県 (n=30)	36.7%	26.7%	23.3%	13.3%	0.0%	0.0%
福井県 (n=20)	35.0%	10.0%	20.0%	25.0%	5.0%	5.0%
山梨県 (n=9)	11.1%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%
長野県 (n=64)	31.3%	15.6%	37.5%	12.5%	0.0%	3.1%
岐阜県 (n=58)	43.1%	19.0%	25.9%	6.9%	0.0%	5.2%
静岡県 (n=124)	19.4%	18.5%	50.0%	8.9%	0.0%	3.2%
愛知県 (n=303)	32.0%	16.5%	35.3%	13.9%	0.7%	1.7%
三重県 (n=48)	16.7%	31.3%	39.6%	10.4%	0.0%	2.1%
滋賀県 (n=41)	26.8%	17.1%	39.0%	17.1%	0.0%	0.0%
京都府 (n=109)	32.1%	22.9%	32.1%	8.3%	1.8%	2.8%
大阪府 (n=408)	24.3%	19.9%	31.6%	9.8%	12.5%	2.0%
兵庫県 (n=277)	25.6%	19.9%	37.9%	8.7%	3.2%	4.7%
奈良県 (n=66)	19.7%	18.2%	48.5%	6.1%	0.0%	7.6%
和歌山県 (n=26)	38.5%	19.2%	26.9%	7.7%	3.8%	3.8%
鳥取県 (n=13)	46.2%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%
島根県 (n=13)	23.1%	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%
岡山県 (n=57)	52.6%	26.3%	12.3%	8.8%	0.0%	0.0%
広島県 (n=98)	25.5%	14.3%	37.8%	12.2%	1.0%	9.2%
山口県 (n=30)	43.3%	16.7%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%
徳島県 (n=12)	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
香川県 (n=33)	30.3%	27.3%	27.3%	3.0%	0.0%	12.1%
愛媛県 (n=33)	42.4%	21.2%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
高知県 (n=14)	35.7%	35.7%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%
福岡県 (n=159)	19.5%	19.5%	45.3%	10.7%	0.0%	5.0%
佐賀県 (n=10)	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
長崎県 (n=24)	16.7%	25.0%	37.5%	8.3%	4.2%	8.3%
熊本県 (n=25)	40.0%	16.0%	32.0%	12.0%	0.0%	0.0%
大分県 (n=23)	34.8%	26.1%	30.4%	8.7%	0.0%	0.0%
宮崎県 (n=18)	27.8%	16.7%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
鹿児島県 (n=28)	32.1%	32.1%	21.4%	3.6%	0.0%	10.7%
沖縄県 (n=21)	9.5%	9.5%	52.4%	9.5%	0.0%	19.0%

(2)2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所

回答者全体における2回目のワクチンの接種場所は、「市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が34.9%で最も多く、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」(26.8%)、「市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)」(20.2%)と続き、「会社・大学等が設置する職域接種会場」は11.2%となった。

職域接種会場における回答者の内訳を年齢階級別にみると、「20歳代」が27.0%と最も多く、「30歳代」(19.9%)、「40歳代」(16.8%)、「50歳代」(16.4%)と続き、現役世代を中心に全体より高い割合を占めた。また、若年層ほど「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」の割合が低かった。

図表 15 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所 (年齢階級別)



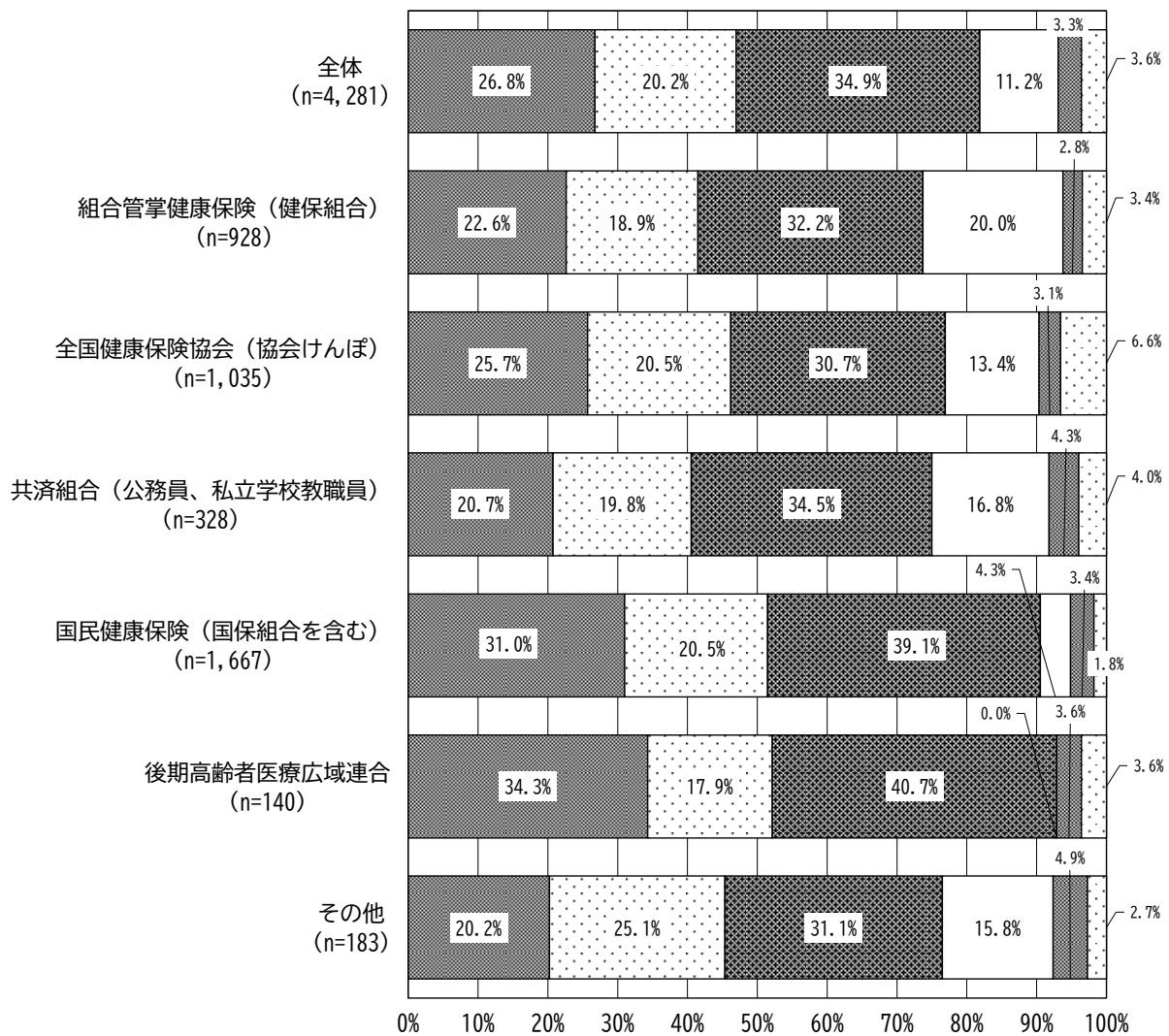
- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関 (個別接種)
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関 (個別接種)
- 市区町村が指定する集団接種会場 (例: 体育館、地区センター、スポーツセンター、等)
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国 (自衛隊) が指定する大規模接種センター
- その他

【2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(加入している医療保険別)】

2回目のワクチンの接種場所について、加入している医療保険別にみると、「市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が全体(34.9%)よりも多かったのは、「後期高齢者広域連合」(40.7%)、「国民健康保険(国保組合を含む)」(39.1%)だった。両制度は、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」がそれぞれ34.3%、31.0%となり、全体(26.8%)より高い割合を占めた。

また、「会社・大学等が設置する職域接種会場」(全体11.2%)の制度別の状況は、「組合管掌健康保険(健保組合)」が20.0%と最も多く、「共済組合(公務員、私立学校教職員)」(16.8%)、「その他」(15.8%)、「全国健康保険協会(協会けんぽ)」(13.4%)などと続いた。

図表 16 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(加入している医療保険別)



- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国(自衛隊)が指定する大規模接種センター
- その他

【2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(都道府県別)】

2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所を都道府県別にみると、結果は以下のとおりだった。

図表 17 2回目の新型コロナウイルスワクチンの接種場所(都道府県別)

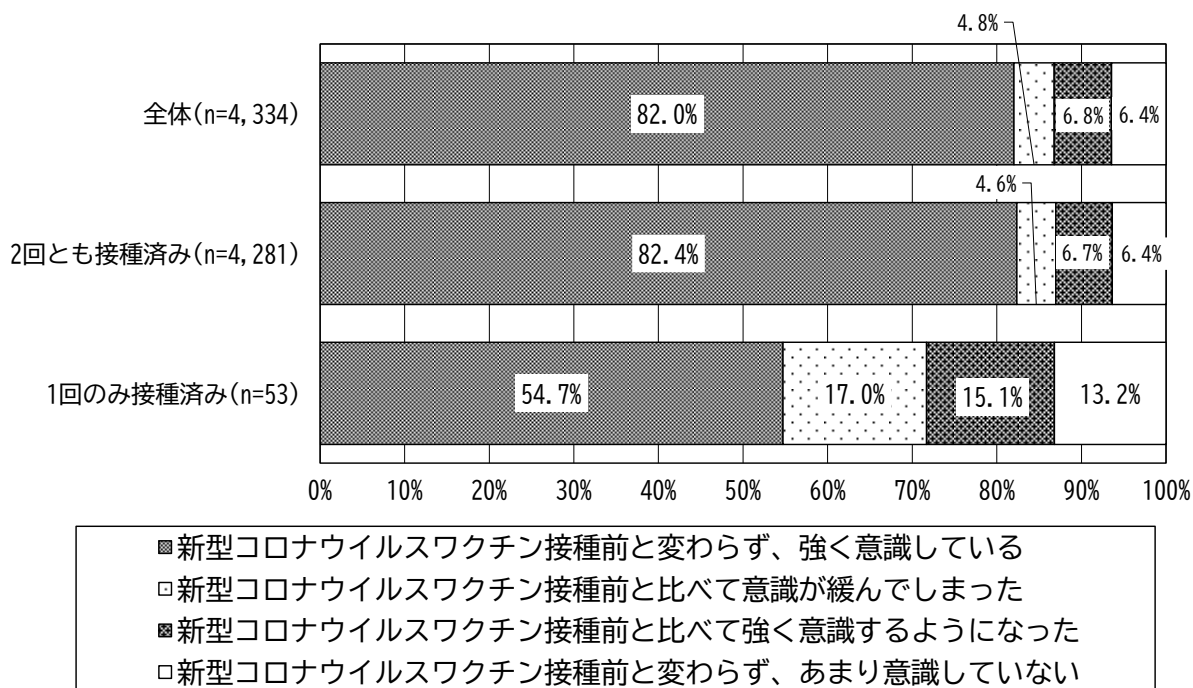
	市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)	市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)	市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)	会社・大学等が設置する職域接種会場	国(自衛隊)が指定する大規模接種センター	その他	
新型コロナウイルスワクチン接種を2回とも接種済み群全体(n=4,281)	26.8%	20.2%	34.9%	11.2%	3.3%	3.6%	
都道府県	北海道(n=189)	29.6%	20.6%	32.3%	11.1%	1.1%	5.3%
	青森県(n=20)	55.0%	35.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	岩手県(n=27)	33.3%	18.5%	29.6%	7.4%	0.0%	11.1%
	宮城県(n=94)	28.7%	14.9%	36.2%	9.6%	8.5%	2.1%
	秋田県(n=26)	26.9%	19.2%	38.5%	3.8%	0.0%	11.5%
	山形県(n=21)	23.8%	9.5%	57.1%	4.8%	0.0%	4.8%
	福島県(n=35)	37.1%	17.1%	25.7%	8.6%	2.9%	8.6%
	茨城県(n=70)	24.3%	25.7%	31.4%	11.4%	1.4%	5.7%
	栃木県(n=46)	34.8%	19.6%	39.1%	4.3%	2.2%	0.0%
	群馬県(n=48)	35.4%	14.6%	41.7%	2.1%	2.1%	4.2%
	埼玉県(n=272)	25.0%	30.5%	25.7%	12.1%	3.3%	3.3%
	千葉県(n=228)	31.1%	21.9%	30.7%	12.3%	1.8%	2.2%
	東京都(n=568)	19.9%	17.1%	40.7%	14.1%	5.3%	3.0%
	神奈川県(n=390)	22.6%	19.7%	34.6%	15.1%	4.9%	3.1%
	新潟県(n=45)	15.6%	20.0%	55.6%	8.9%	0.0%	0.0%
	富山県(n=33)	24.2%	30.3%	30.3%	12.1%	0.0%	3.0%
	石川県(n=30)	33.3%	26.7%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	福井県(n=20)	40.0%	10.0%	20.0%	25.0%	0.0%	5.0%
	山梨県(n=9)	11.1%	22.2%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%
	長野県(n=63)	31.7%	15.9%	36.5%	12.7%	0.0%	3.2%
	岐阜県(n=58)	41.4%	19.0%	25.9%	6.9%	1.7%	5.2%
	静岡県(n=121)	19.0%	18.2%	50.4%	9.1%	0.0%	3.3%
	愛知県(n=301)	32.6%	15.9%	35.5%	14.0%	0.3%	1.7%
	三重県(n=47)	19.1%	27.7%	40.4%	10.6%	0.0%	2.1%
	滋賀県(n=40)	25.0%	17.5%	40.0%	17.5%	0.0%	0.0%
	京都府(n=106)	31.1%	23.6%	32.1%	8.5%	1.9%	2.8%
	大阪府(n=404)	24.5%	20.0%	30.9%	9.9%	12.6%	2.0%
	兵庫県(n=275)	25.5%	19.6%	37.8%	9.1%	3.3%	4.7%
	奈良県(n=66)	19.7%	18.2%	48.5%	6.1%	0.0%	7.6%
	和歌山県(n=26)	42.3%	15.4%	26.9%	7.7%	3.8%	3.8%
	鳥取県(n=13)	46.2%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	7.7%
	島根県(n=13)	23.1%	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%
	岡山県(n=55)	52.7%	27.3%	12.7%	7.3%	0.0%	0.0%
	広島県(n=96)	26.0%	13.5%	38.5%	12.5%	0.0%	9.4%
	山口県(n=30)	43.3%	16.7%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%
	徳島県(n=12)	50.0%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	香川県(n=33)	30.3%	27.3%	27.3%	3.0%	0.0%	12.1%
	愛媛県(n=33)	42.4%	21.2%	27.3%	9.1%	0.0%	0.0%
	高知県(n=14)	28.6%	35.7%	28.6%	7.1%	0.0%	0.0%
	福岡県(n=156)	21.2%	19.9%	43.6%	10.3%	0.0%	5.1%
	佐賀県(n=10)	40.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	長崎県(n=24)	16.7%	25.0%	37.5%	8.3%	4.2%	8.3%
	熊本県(n=25)	40.0%	16.0%	32.0%	12.0%	0.0%	0.0%
	大分県(n=23)	34.8%	26.1%	30.4%	8.7%	0.0%	0.0%
	宮崎県(n=18)	27.8%	16.7%	33.3%	22.2%	0.0%	0.0%
	鹿児島県(n=28)	32.1%	32.1%	21.4%	3.6%	0.0%	10.7%
	沖縄県(n=20)	5.0%	15.0%	50.0%	10.0%	0.0%	20.0%

4. 新型コロナウイルスワクチンの接種を契機とした感染予防対策の意識変化

(1)外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底

回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している」が 82.0%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった」が 6.8%の順だった。

図表 18 外出先や屋内で人と近い距離で会話するときのマスク着用の徹底（接種回数別）

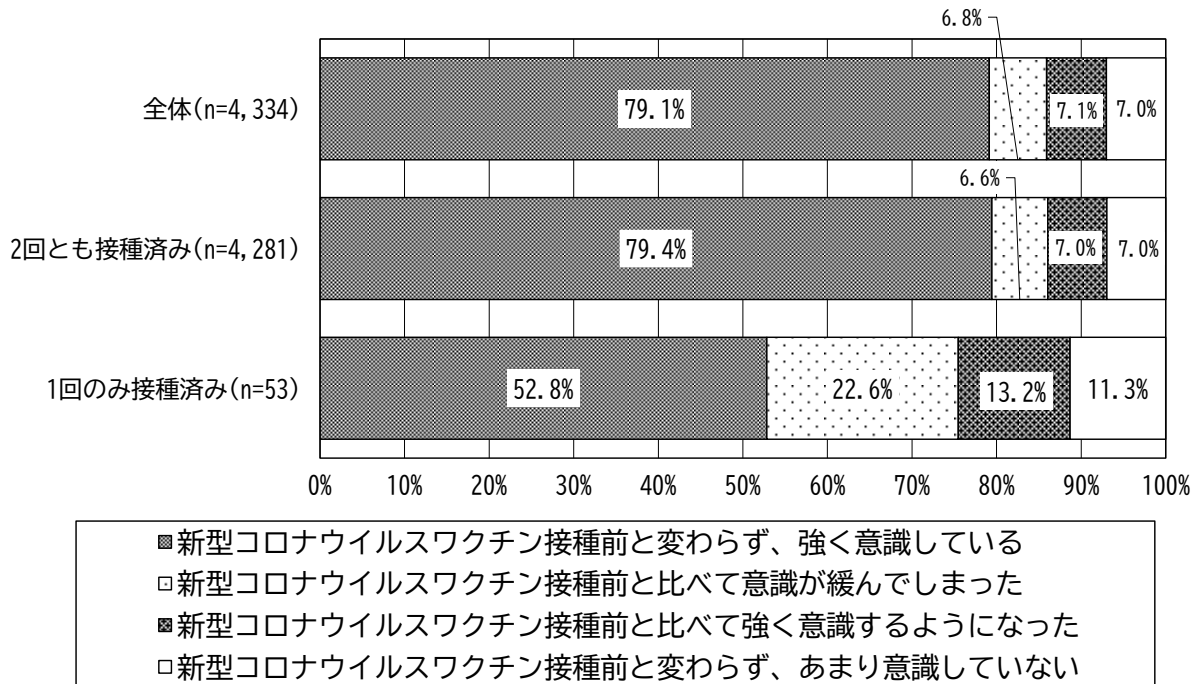


(2)手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底

回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している」が79.1%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった」が7.1%の順だった。

一方、「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった」の回答割合は6.8%を占めており、接種回数別にみると「1回のみ接種済み」(22.6%)が「2回とも接種済み」(6.6%)を16.0ポイント上回った。

図表 19 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底（接種回数別）



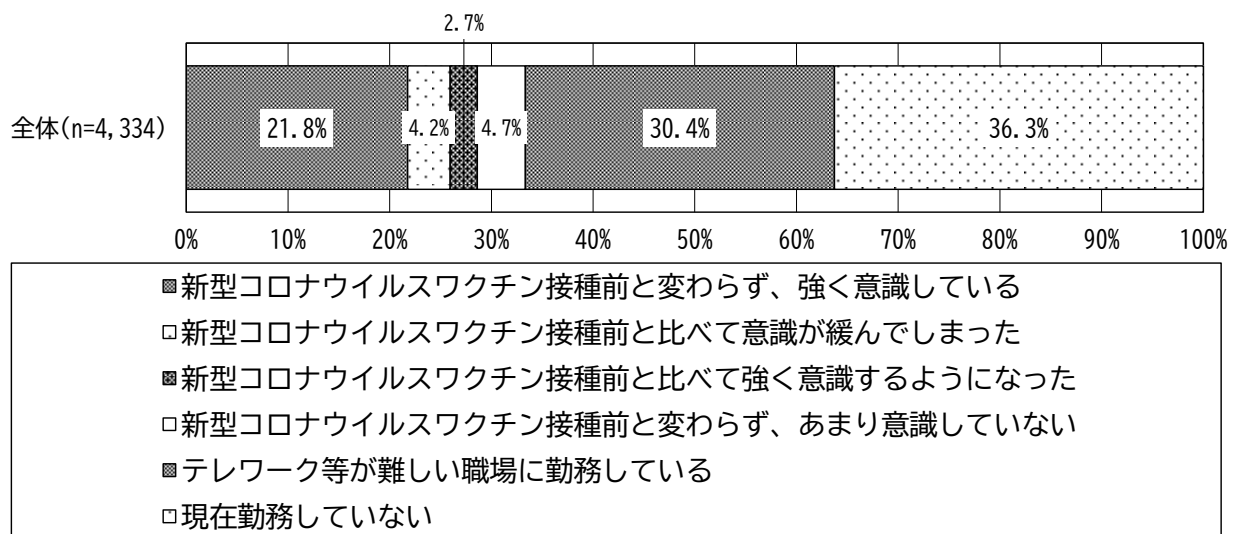
(3)テレワークやローテーション勤務の実施

回答者全体では、テレワーク等が可能な職場に勤務している者(「テレワーク等が難しい職場に勤務している」、「現在勤務していない」のいずれにも非該当)は1,445人(33.3%)だった。

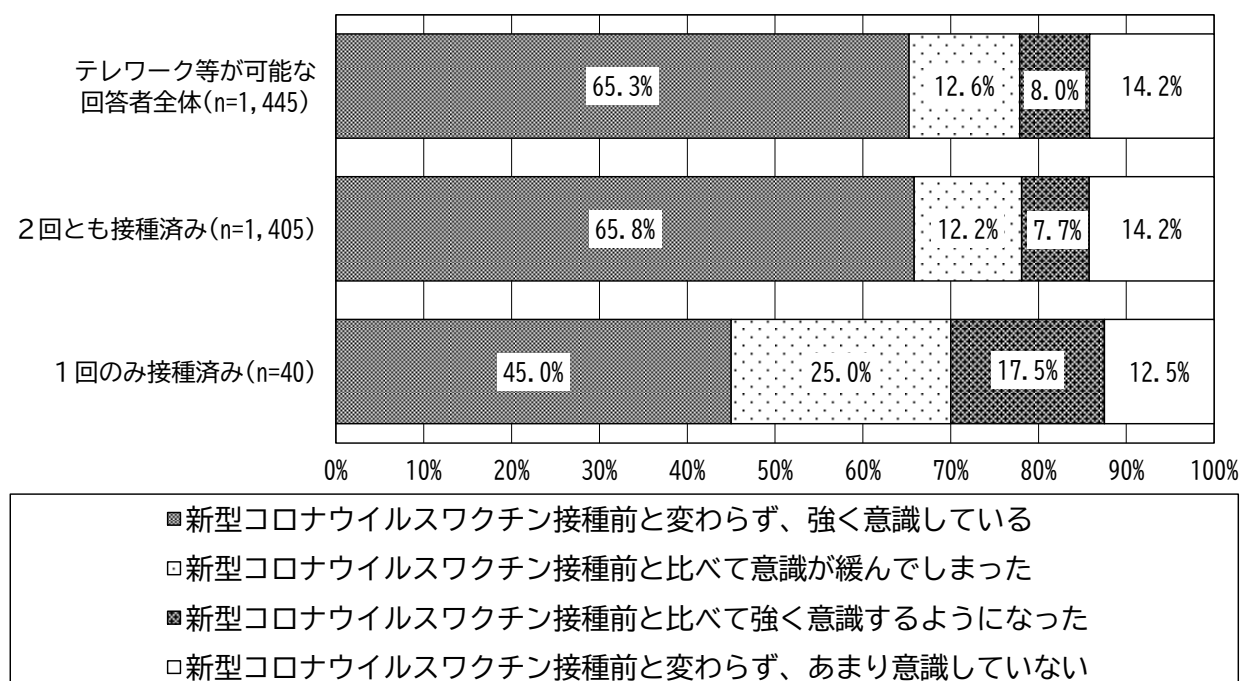
テレワーク等が可能な職場に勤務している回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している」が65.3%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、あまり意識していない」が14.2%の順だった。

一方、「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった」の回答割合は12.6%を占めており、接種回数別にみると「1回のみ接種済み」(25.0%)が「2回とも接種済み」(12.2%)を12.8ポイント上回った。

図表 20 テレワークやローテーション勤務の実施



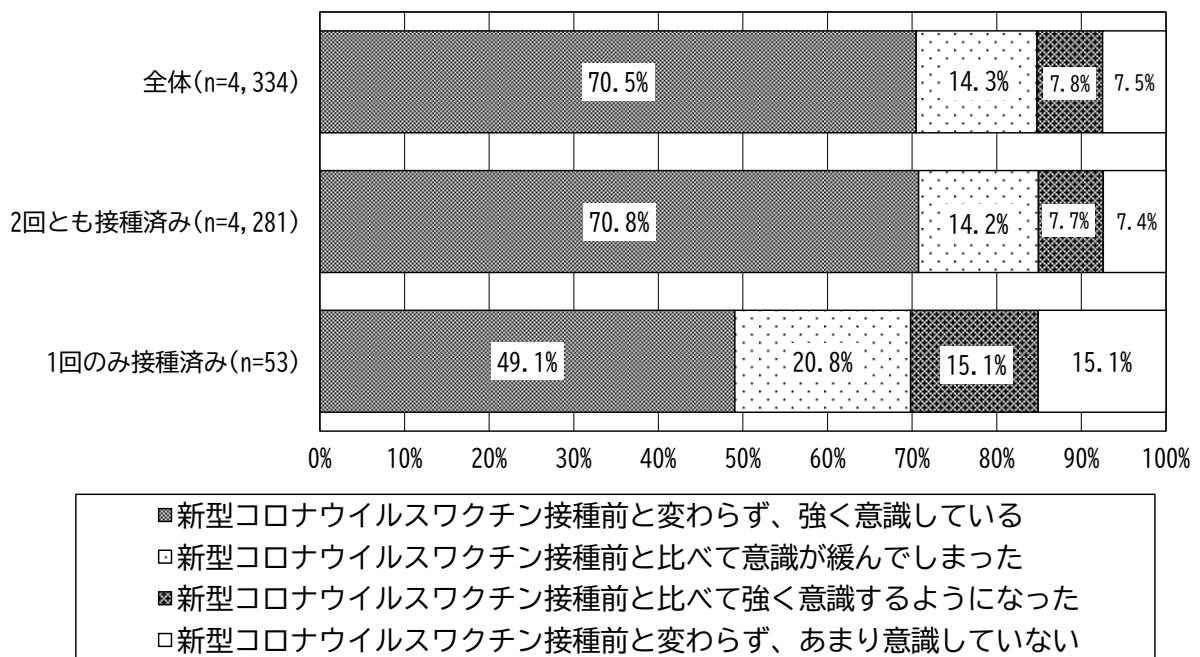
図表 21 テレワークやローテーション勤務の実施（接種回数別）



(4)外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底

回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している」が 70.5%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった」が 14.3%の順だった。「新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった」の回答割合を接種回数別にみると「1回のみ接種済み」(20.8%)が「2回とも接種済み」(14.2%)を 6.6 ポイント上回った。

図表 22 外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底(接種回数別)



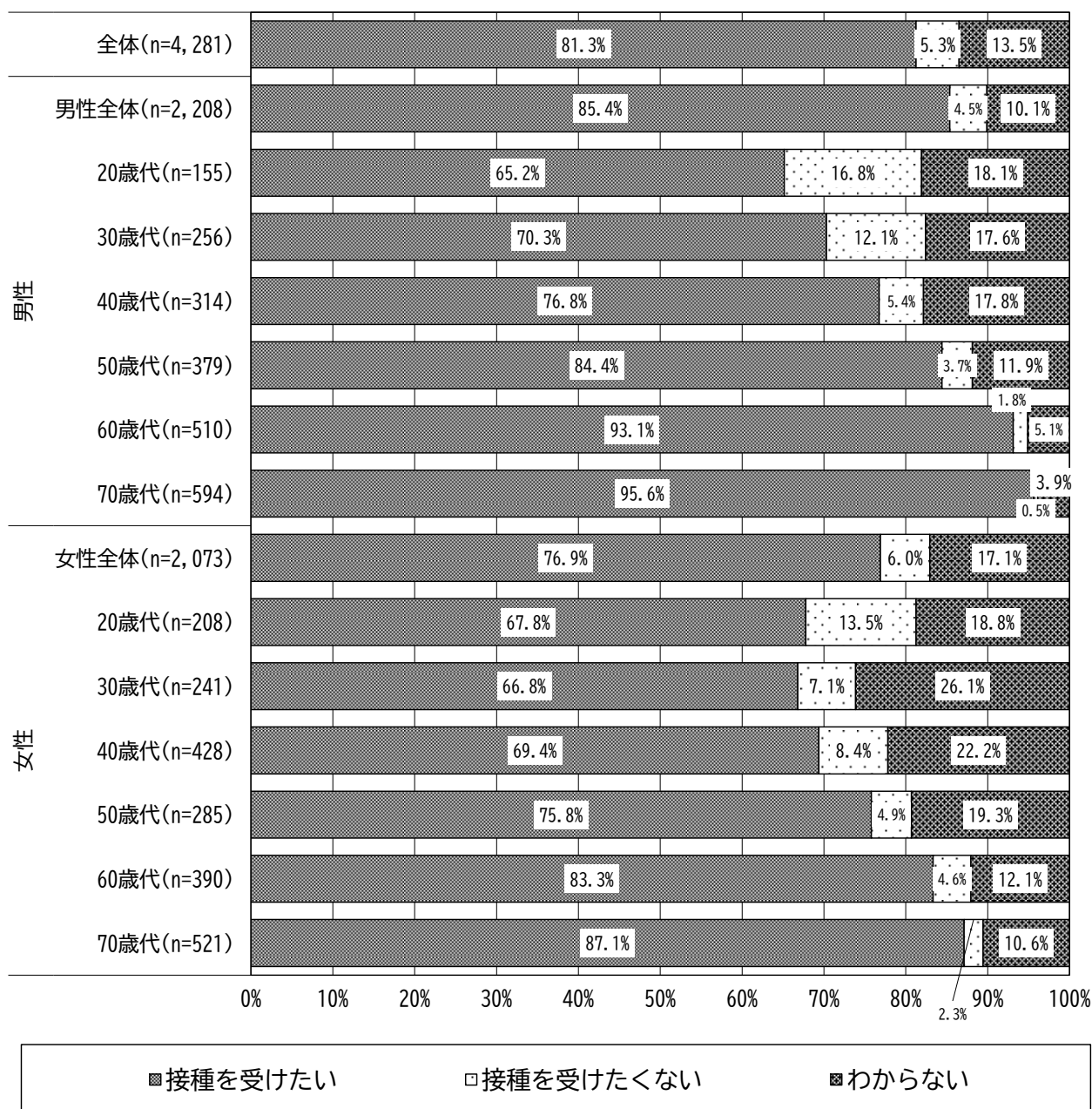
5. 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向等

(1) 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向

ワクチンの接種を2回とも受けた回答者に3回目の接種(費用負担が発生しない前提)意向を聞いたところ、「接種を受けたい」が81.3%、「接種を受けたくない」が5.3%を占めた。

また、「接種を受けたくない」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、男性・女性ともに「20歳代」が最も多く(男性=16.8%、女性=13.5%)、「女性・40歳代」を除いて、年齢階級が高くなるにつれておおむね減少する傾向がみられた。

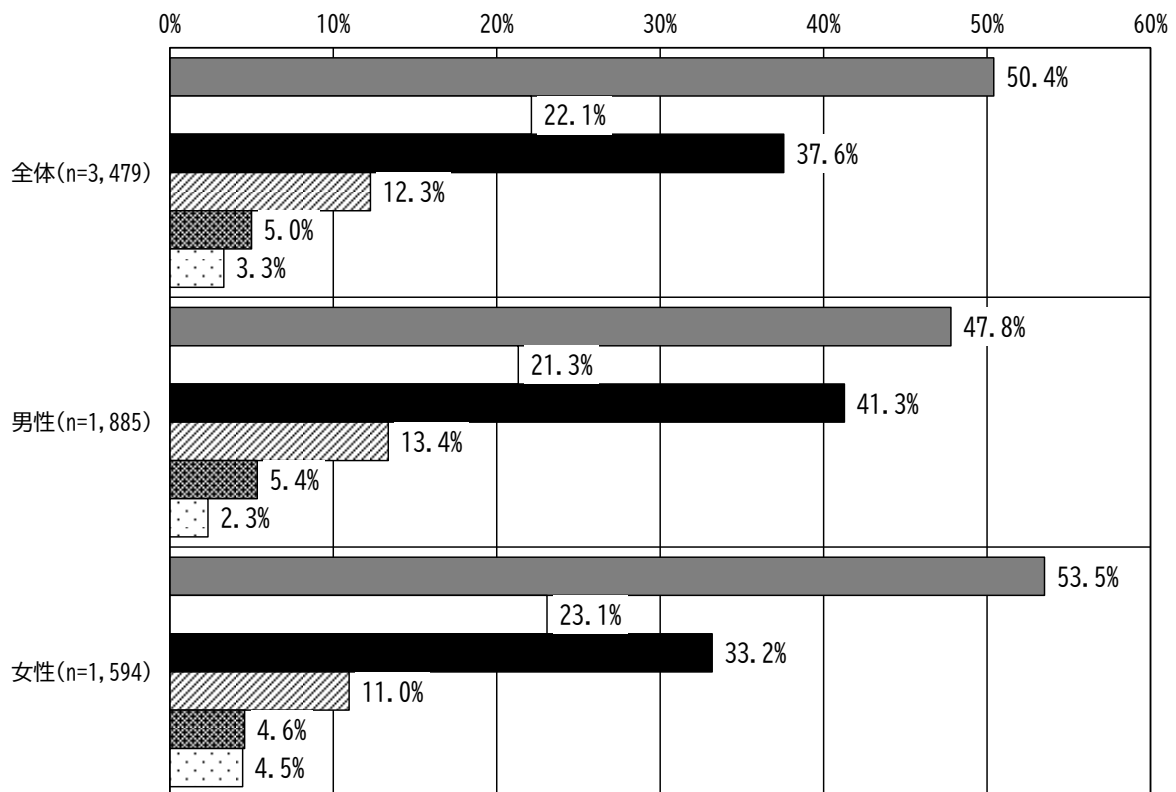
図表 23 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種に対する意向(性年齢階級別)



(2)3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所

新型コロナワクチンの3回目の接種(費用負担が発生しない前提)を受けたいと回答した者に接種したい場所を聞いたところ、回答者全体では、「市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)」が50.4%で最も多く、次いで「市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)」が37.6%の順だった。性別の回答割合でも同様の傾向がみられた。

図表 24 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所(男女別)



- 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関(個別接種)
- 市区町村が指定する集団接種会場(例:体育館、地区センター、スポーツセンター、等)
- 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 国(自衛隊)が指定する大規模接種センター
- その他

【3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所(都道府県別)】

新型コロナウイルスワクチンの3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所を都道府県別にみると、結果は以下のとおりだった。

図表 25 3 回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたい場所 (群別)

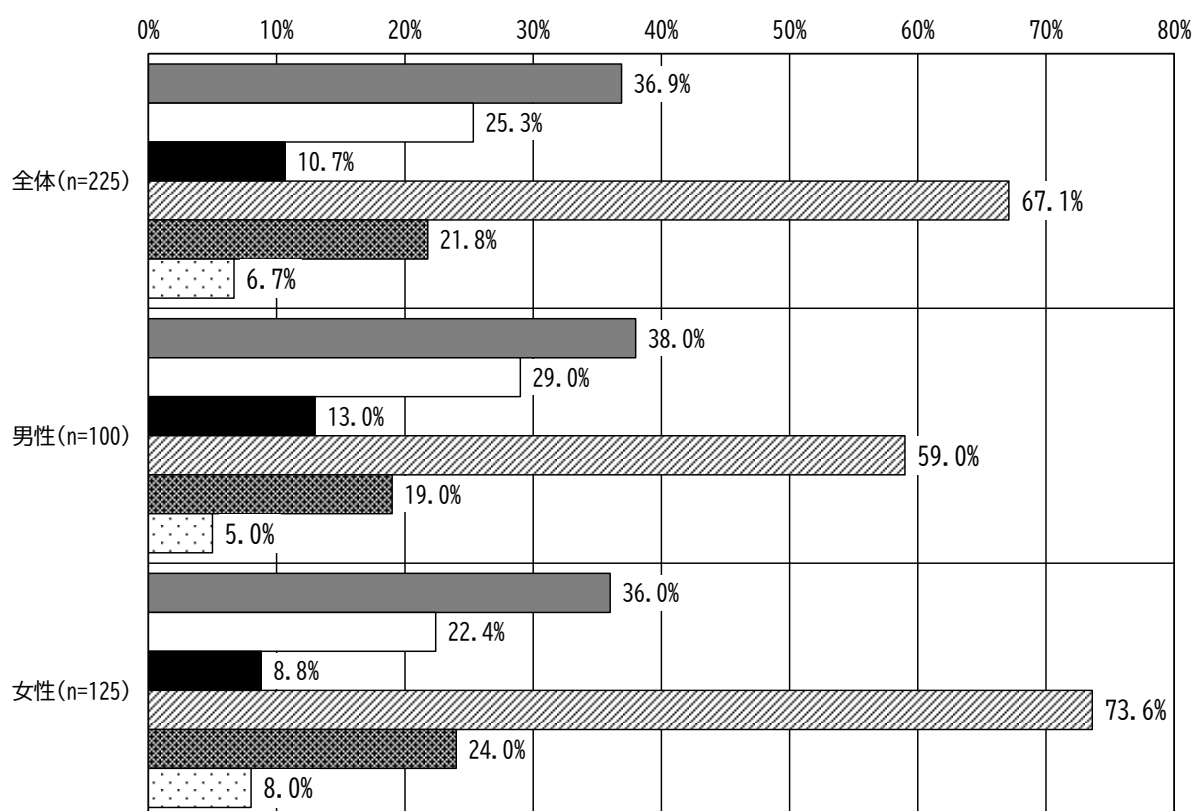
	市区町村が指定する、普段から受診している医療機関 (個別接種)	市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関 (個別接種)	市区町村が指定する集団接種会場 (例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等)	会社・大学等が設置する職域接種会場	国(自衛隊)が指定する大規模接種センター	その他	
新型コロナウイルスワクチン接種を2回とも受けた、かつ接種を受けたい群全体(n=3,479)	50.4%	22.1%	37.6%	12.3%	5.0%	3.3%	
都道府県	北海道(n=151)	54.3%	20.5%	33.8%	9.3%	5.3%	4.6%
	青森県(n=14)	57.1%	50.0%	21.4%	7.1%	7.1%	0.0%
	岩手県(n=21)	52.4%	14.3%	33.3%	14.3%	0.0%	9.5%
	宮城県(n=76)	51.3%	18.4%	42.1%	17.1%	10.5%	1.3%
	秋田県(n=22)	40.9%	13.6%	36.4%	9.1%	0.0%	4.5%
	山形県(n=18)	27.8%	5.6%	61.1%	5.6%	0.0%	5.6%
	福島県(n=28)	67.9%	17.9%	35.7%	10.7%	3.6%	0.0%
	茨城県(n=57)	57.9%	24.6%	38.6%	12.3%	5.3%	1.8%
	栃木県(n=37)	59.5%	18.9%	35.1%	8.1%	5.4%	0.0%
	群馬県(n=37)	59.5%	18.9%	35.1%	2.7%	5.4%	2.7%
	埼玉県(n=223)	51.6%	27.8%	30.0%	11.2%	3.1%	2.2%
	千葉県(n=180)	55.6%	19.4%	36.7%	10.6%	2.8%	1.1%
	東京都(n=475)	48.2%	23.2%	42.5%	17.3%	6.5%	2.3%
	神奈川県(n=327)	46.8%	22.6%	41.0%	15.9%	7.6%	2.8%
	新潟県(n=34)	50.0%	20.6%	58.8%	8.8%	2.9%	0.0%
	富山県(n=28)	53.6%	25.0%	35.7%	14.3%	0.0%	7.1%
	石川県(n=22)	54.5%	27.3%	27.3%	18.2%	0.0%	0.0%
	福井県(n=15)	73.3%	20.0%	20.0%	13.3%	6.7%	6.7%
	山梨県(n=8)	37.5%	62.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%
	長野県(n=51)	54.9%	15.7%	29.4%	11.8%	0.0%	5.9%
	岐阜県(n=48)	62.5%	20.8%	27.1%	10.4%	2.1%	6.3%
	静岡県(n=97)	44.3%	21.6%	48.5%	12.4%	1.0%	2.1%
	愛知県(n=247)	52.6%	21.9%	35.6%	17.0%	4.9%	2.4%
	三重県(n=38)	28.9%	36.8%	39.5%	15.8%	2.6%	2.6%
	滋賀県(n=27)	55.6%	25.9%	51.9%	14.8%	0.0%	0.0%
	京都府(n=88)	53.4%	17.0%	23.9%	9.1%	3.4%	4.5%
	大阪府(n=325)	49.5%	24.3%	40.0%	12.0%	13.8%	2.5%
	兵庫県(n=220)	46.4%	18.2%	41.4%	8.2%	3.2%	5.5%
	奈良県(n=59)	47.5%	13.6%	40.7%	6.8%	1.7%	6.8%
	和歌山県(n=19)	57.9%	21.1%	36.8%	10.5%	5.3%	0.0%
	鳥取県(n=10)	50.0%	20.0%	30.0%	20.0%	0.0%	10.0%
	島根県(n=13)	30.8%	15.4%	46.2%	7.7%	0.0%	7.7%
	岡山県(n=45)	68.9%	31.1%	17.8%	8.9%	2.2%	0.0%
	広島県(n=81)	46.9%	14.8%	40.7%	7.4%	0.0%	8.6%
	山口県(n=22)	59.1%	9.1%	27.3%	4.5%	0.0%	4.5%
	徳島県(n=9)	66.7%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	香川県(n=29)	44.8%	20.7%	27.6%	3.4%	0.0%	10.3%
	愛媛県(n=25)	68.0%	16.0%	36.0%	12.0%	4.0%	0.0%
	高知県(n=12)	50.0%	16.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%
	福岡県(n=129)	42.6%	21.7%	41.9%	8.5%	2.3%	5.4%
	佐賀県(n=7)	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	長崎県(n=21)	28.6%	23.8%	38.1%	9.5%	0.0%	9.5%
	熊本県(n=18)	61.1%	27.8%	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%
	大分県(n=16)	50.0%	31.3%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%
	宮崎県(n=15)	53.3%	20.0%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%
	鹿児島県(n=22)	45.5%	40.9%	22.7%	4.5%	0.0%	13.6%
	沖縄県(n=13)	53.8%	30.8%	53.8%	23.1%	7.7%	15.4%

(3)3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたくない理由

ワクチンの接種を2回とも受けた回答者のうち、ワクチンの3回目の接種(費用負担が発生しない前提)を受けたくないと感じた方にその理由を聞いたところ、回答者全体では、「接種後の副反応(腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等)が怖いと感じるから」が67.1%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから」が36.9%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「接種後の副反応(腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等)が怖いと感じるから」の内訳を性別でみると、女性が男性を14.6ポイント上回った。

図表 26 3回目の新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたくない理由(男女別)



- 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 新型コロナウイルスワクチンの有効性(発症予防効果等)がまだ十分に検証されていないから
- 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 接種後の副反応(腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等)が怖いと感じるから
- 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬(飲み薬)に期待したいから
- その他

6. 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向等

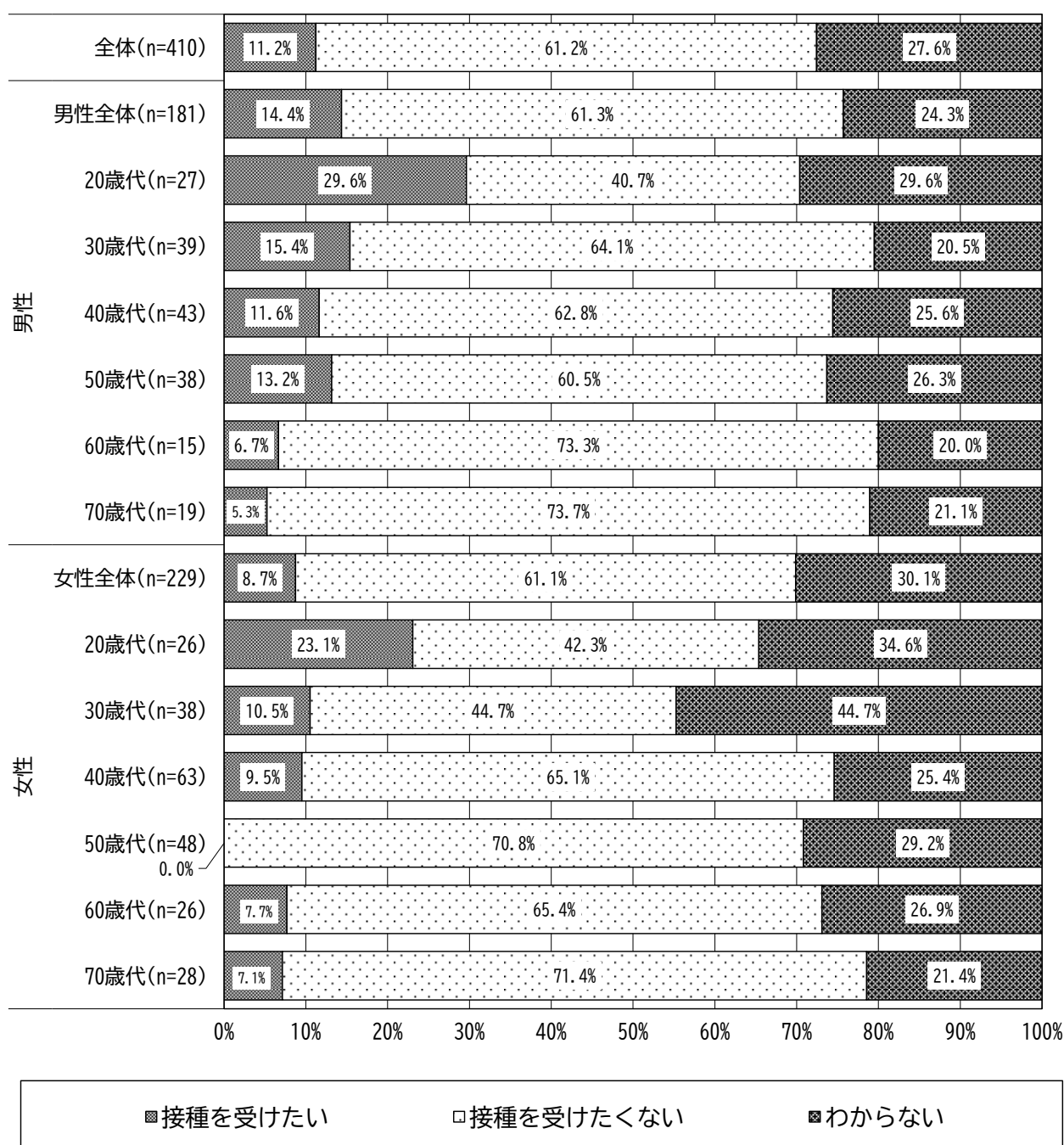
(1) 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向

ワクチンの接種をまだ一度も受けていない回答者に今後の接種意向を聞いたところ、「接種を受けたい」が11.2%、「接種を受けたくない」が61.2%を占めた。

「接種を受けたい」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、「20歳代」が最も多く、男性が29.6%、女性が23.1%を占めた。

「接種を受けたくない」の回答割合の内訳を性年齢階級別にみると、男性・女性ともに「20歳代」が4割程度(40.7%、42.3%)と最も少なかった。

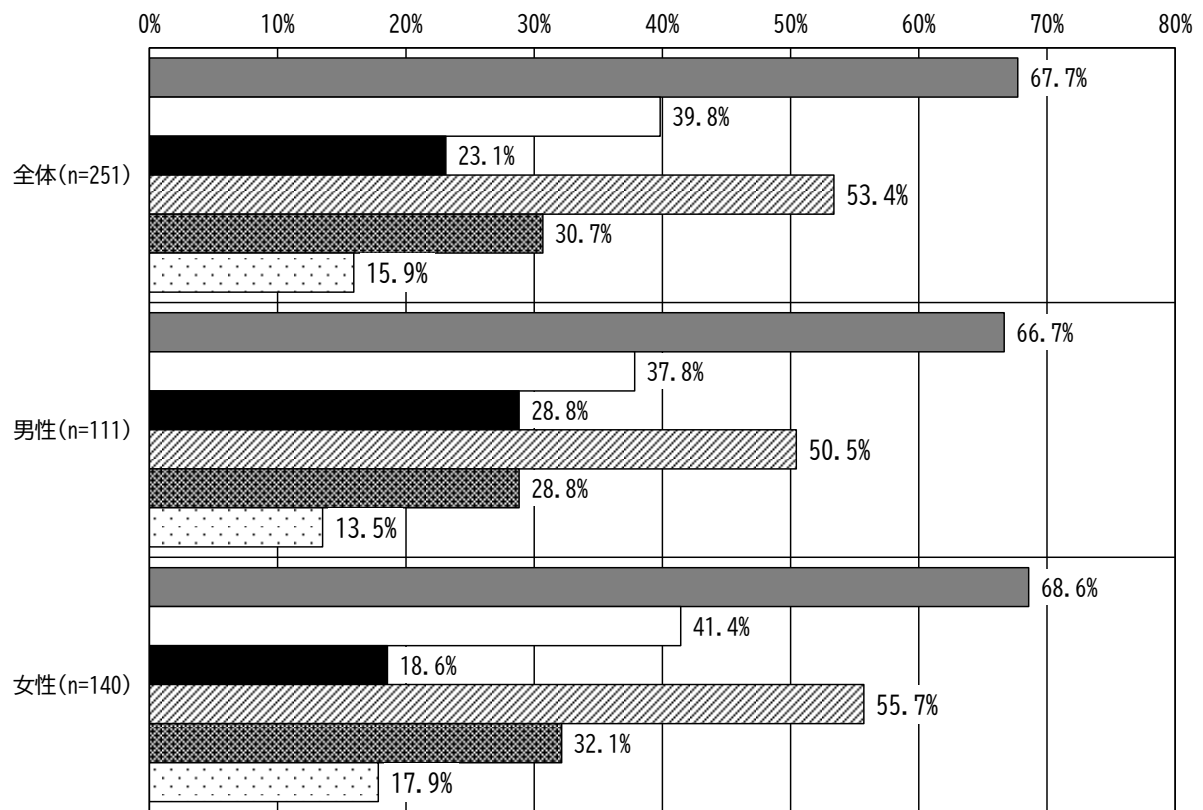
図表 27 新型コロナウイルスワクチンの未接種者の今後の接種に対する意向（性年齢階級別）



(2)新型コロナウイルスワクチン接種の未接種者が今後も接種を受けたくない理由

ワクチン接種をまだ一度も受けていない回答者に今後も接種を受けたくない理由を聞いたところ、回答者全体では、「新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから」が67.7%で最も多く、次いで「接種後の副反応(腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等)が怖いと感じるから」が53.4%の順だった。性別の回答割合でも同様の傾向がみられた。

図表 28 新型コロナウイルスワクチン接種の未接種者が今後も接種を受けたくない理由（男女別）



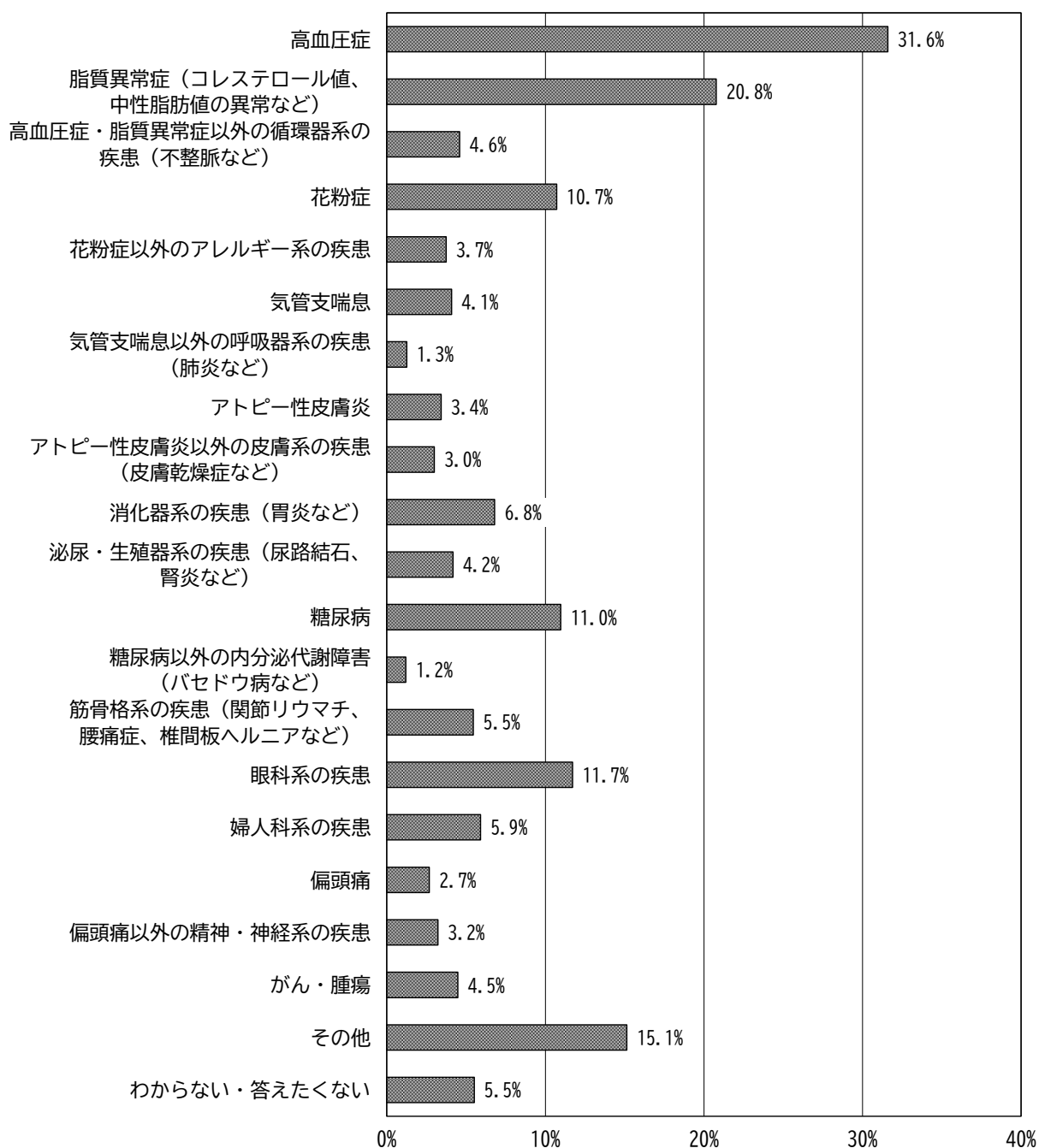
- 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 新型コロナウイルスワクチンの有効性（発症予防効果等）がまだ十分に検証されていないから
- 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから
- 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬（飲み薬）に期待したいから
- その他

第4章 新型コロナウイルス感染症が確認される前の受診状況等

1. 定期的な通院を行っていた原因疾患(持病あり群)

持病あり群の回答者における、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)の定期的な通院について、その病気(けがを除く)の種類の構成割合は、「高血圧症」が31.6%で最も多く、次いで「脂質異常症」が20.8%の順だった。

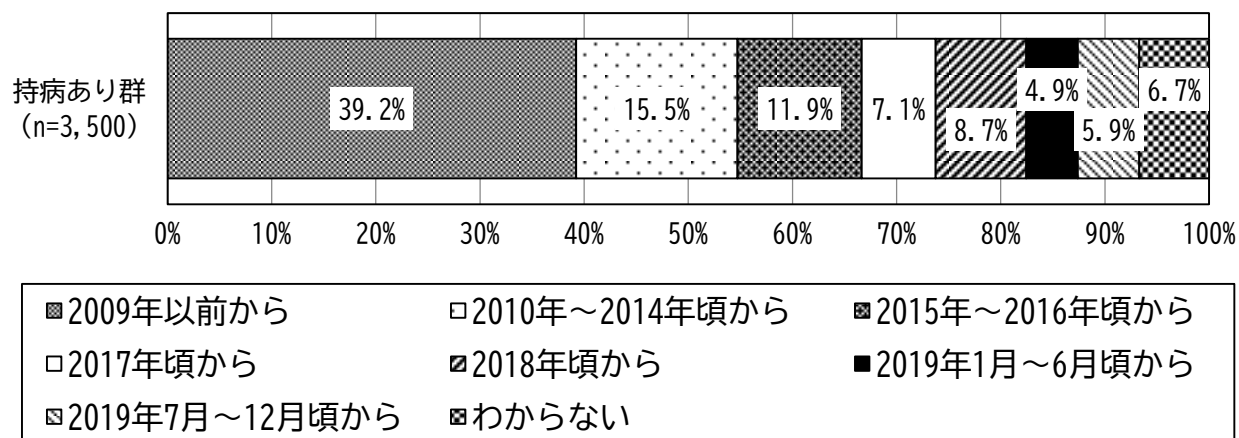
図表 29 定期的な通院を行っていた原因疾患(持病あり群 (n=3,500))



2. 定期的な通院を開始した時期(持病あり群)

持病あり群の回答者における、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)の定期的な通院について、定期的な通院を開始した時期は、「2009年以前から」が39.2%で最も多かった。

図表 30 定期的な通院を開始した時期(持病あり群)



3. 通院する日の決め方(持病あり群)

持病あり群の回答者に対して新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)において通院する日の決め方を聞いたところ、「医師に受診するように指示された日に通院していた(定期的な通院を含む)」が52.3%で最も多く、次いで「処方された薬がなくなりそう、またはなくなった時に通院していた」が48.4%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった医師に受診するように指示された日に通院していた(定期的な通院を含む)の内訳を定期的な通院を行っていた疾患別にみると、「がん・腫瘍」が87.9%で最も多く、次いで「糖尿病以外の内分泌代謝障害(バセドウ病など)」が81.0%、「気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)」が75.0%の順だった。

図表 31 通院する日の決め方 (持病あり群・原因疾患別)

	回答者数	通院する日を決定していた理由 (どのような時に通院していたか)							感染者数等、新型コロナウイルスの状況を判断材料として通院していた	その他
		医師に受診するように指示された日に通院していた(定期的な通院を含む)	処方された薬がなくなりそう、またはなくなった時に通院していた	病状・体調が悪い日に通院していた	病状・体調が良い日に通院していた	都合がつかずに通院していた				
持病あり群全体	3,500	52.3%	48.4%	5.9%	1.0%	11.9%	1.0%	0.5%		
定期的な通院を行っていた疾患	高血圧症	1,106	47.0%	57.6%	2.9%	0.7%	8.5%	0.7%	0.3%	
	脂質異常症(コレステロール値、中性脂肪値の異常など)	727	45.1%	61.9%	4.8%	1.0%	9.8%	1.0%	0.0%	
	高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患(不整脈など)	161	65.2%	48.4%	8.7%	1.2%	11.2%	1.9%	0.0%	
	花粉症	375	39.2%	60.3%	13.9%	2.4%	19.2%	2.1%	0.5%	
	花粉症以外のアレルギー系の疾患	131	42.0%	65.6%	22.1%	4.6%	19.8%	2.3%	0.8%	
	気管支喘息	143	49.7%	59.4%	11.9%	2.8%	12.6%	0.0%	0.0%	
	気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)	44	75.0%	34.1%	6.8%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	
	アトピー性皮膚炎	120	32.5%	67.5%	16.7%	1.7%	12.5%	0.0%	0.0%	
	アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患(皮膚乾燥症など)	105	48.6%	62.9%	11.4%	1.9%	20.0%	1.9%	0.0%	
	消化器系の疾患(胃炎など)	238	57.1%	51.7%	13.9%	2.1%	14.3%	0.8%	0.4%	
	泌尿・生殖器系の疾患(尿路結石、腎炎など)	146	66.4%	44.5%	8.2%	0.7%	8.9%	0.7%	0.7%	
	糖尿病	384	62.8%	46.4%	1.6%	0.5%	8.1%	0.3%	0.3%	
	糖尿病以外の内分泌代謝障害(バセドウ病など)	42	81.0%	28.6%	4.8%	0.0%	11.9%	0.0%	0.0%	
	筋骨格系の疾患(関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど)	191	58.6%	46.1%	12.6%	0.0%	21.5%	1.6%	0.5%	
	眼科系の疾患	410	63.7%	48.5%	7.6%	1.5%	16.3%	2.0%	0.2%	
	婦人科系の疾患	207	58.9%	45.9%	12.1%	2.4%	21.3%	1.4%	0.0%	
	偏頭痛	94	46.8%	54.3%	22.3%	7.4%	18.1%	3.2%	1.1%	
	偏頭痛以外の精神・神経系の疾患	113	71.7%	46.9%	10.6%	2.7%	10.6%	0.9%	0.0%	
	がん・腫瘍	157	87.9%	23.6%	4.5%	1.3%	7.6%	1.3%	0.6%	
	その他	530	64.2%	39.1%	7.0%	0.6%	12.3%	1.3%	1.1%	
わからない・答えたくない	193	53.9%	26.9%	4.7%	1.6%	18.1%	1.0%	0.5%		

第5章 「第4波」、「第5波」による感染拡大期の受診状況等

1. 通院頻度の変化(持病あり群、2019年12月/2021年8月)

持病あり群の回答者における、新型コロナウイルス感染症が確認される前の1か月間(2019年12月)(=(A)の時期)の外来受診回数は、平均1.48回だった。年齢階級別にみると、「70歳代」が平均1.56回で最多、「60歳代」が平均1.39回で最少だった。

持病あり群の回答者における、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期の1か月間(2021年8月)(=(B)の時期)の外来受診回数は、平均1.38回だった。年齢階級別にみると、「70歳代」が平均1.54回で最多、「20歳代」が平均1.22回で最少だった。

【外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2019年12月/2021年8月)】

持病あり群の回答者における、外来受診回数を比較したところ、(B)の時期は(A)の時期よりも平均0.10回の減少傾向がみられ、帰無仮説 H_0 (外来の平均受診回数は(A)(B)の時期で等しい)および対立仮説 H_1 (外来の平均受診回数は(A)の方が(B)よりも大きい)のもとで仮説検定<有意水準5%>を行った結果、両時点の間には有意差がみられた(t値=2.59、P値=0.95%)。また、年齢階級別にみると、「40歳代」において有意差が確認された(t値=1.99、P値=4.7%)となった。

図表 32 外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2019年12月/2021年8月)

		外来の平均受診回数			t 値	P 値
		(A)の時期	(B)の時期	(A) - (B)		
(A):新型コロナウイルス感染症が確認される前の1か月間(2019年12月)						
(B):全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期 (「第4波」「第5波」)の感染拡大期の1か月間(2021年8月)						
「持病あり群」全体		1.48	1.38	0.10	2.59	0.95%
年齢階級	20歳代(n=219)	1.42	1.22	0.20	1.38	16.8%
	30歳代(n=264)	1.49	1.37	0.13	0.85	39.3%
	40歳代(n=514)	1.48	1.30	0.18	1.99	4.7%
	50歳代(n=611)	1.48	1.32	0.16	1.49	13.6%
	60歳代(n=832)	1.39	1.31	0.07	1.03	30.1%
	70歳代(n=1,060)	1.56	1.54	0.03	0.37	70.8%

※統計学では、P値が有意水準 α よりも小さい場合、帰無仮説 H_0 が誤りであると考え、これを棄却する。すなわち、P値とは、仮説検定で下した結論が誤りである確率を指す。

※上記の仮説検定は、一方が他方よりも大きい(もしくは小さい)ことが明確なので、片側検定を行う。平均値の差の検定ではt分布を用いる。t値とは、平均値の差分を標準偏差で除した値を指す。

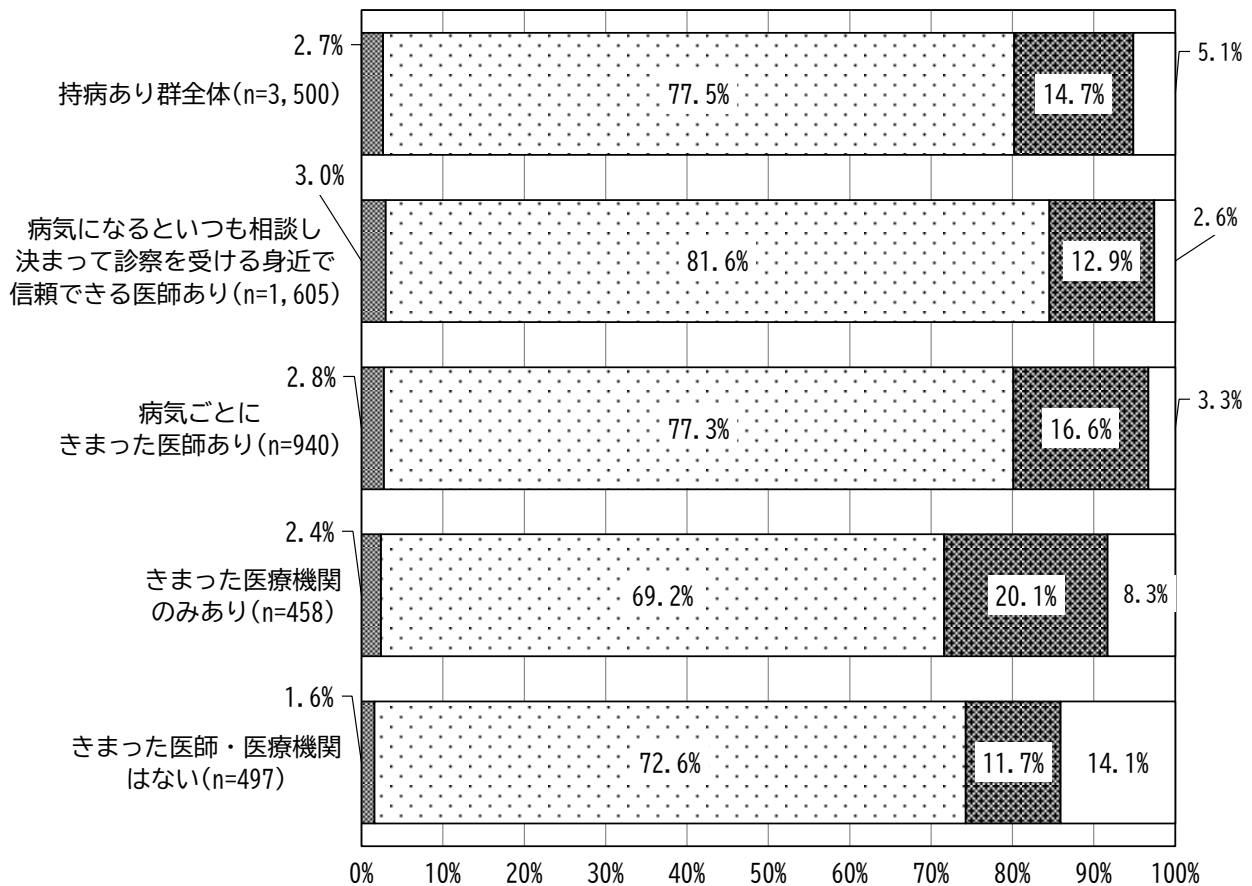
【通院頻度の変化(持病あり群、2019年12月/2021年5月～9月)】

持病あり群の回答者に対して全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(2021年5月～9月)の通院頻度を聞いたところ、「新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度は変わらなかった」が77.5%で最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度を少なくしていた(通院間隔を長くしていた)」が14.7%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度は変わらなかった」の内訳を「かかりつけ医」の有無別にみると、「かかりつけ医あり」が81.6%で最も多く、次いで「病院ごとにきまった医師あり」が77.3%の順だった。

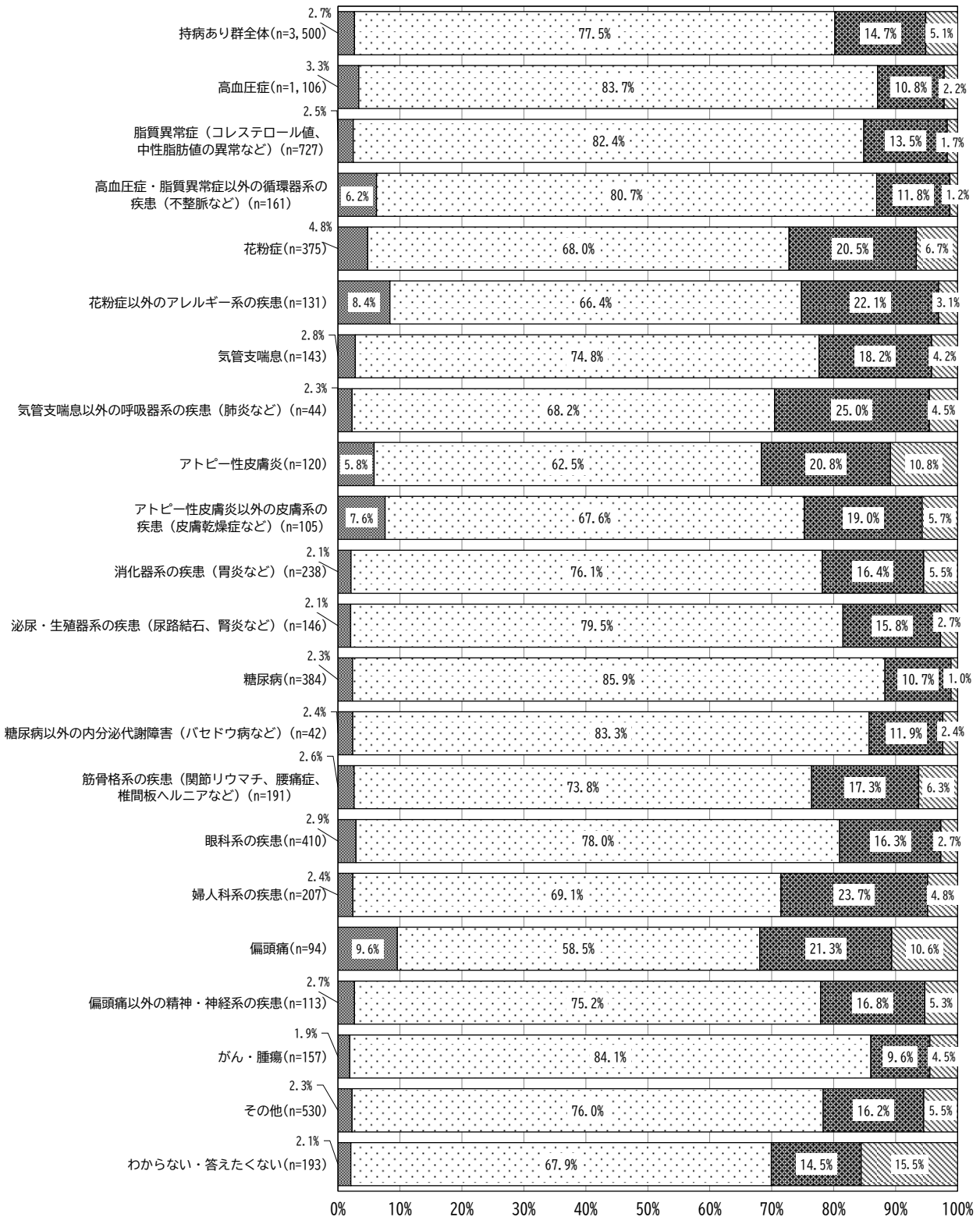
また、定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「糖尿病」が85.9%で最も多く、次いで「がん・腫瘍」が84.1%の順だった。回答割合が80%以上の原因疾患は以下「高血圧症」、「糖尿病以外の内分泌代謝障害」、「脂質異常症」、「高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患」の順だった。

図表 33 通院頻度の変化(持病あり群・「かかりつけ医」の有無別、2019年12月/2021年5月～9月)



- 新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度を多くしていた(通院間隔を短くしていた)
- 新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度は変わらなかった
- 新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と比べて、通院する頻度を少なくしていた(通院間隔を長くしていた)
- 通院するのをやめていた

図表 34 通院頻度の変化（持病あり群・原因疾患別、2019年12月／2021年5月～9月）



■新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度を多くしていた（通院間隔を短くしていた）
 □新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度は変わらなかった
 ■新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度を少なくしていた（通院間隔を長くしていた）
 □通院するのをやめていた

2. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に通院を抑制した理由(持病あり群)

持病あり群の回答者に対して全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(2021年5月～9月)に通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた理由を聞いたところ、「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」が57.7%で最も多く、次いで「外出自体をしないようにしていたから」が24.8%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」の内訳について、定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「脂質異常症」が72.7%で最も多く、次いで「気管支喘息」が71.9%、「泌尿・生殖器系の疾患」が70.4%の順だった。

図表 35 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に通院を抑制した理由(持病あり群、原因疾患別)

集計対象 = 全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(2021年5月～9月)に通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた者	回答者数	通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた理由															
		医療機関で新型コロナウイルスに感染する	他の人に新型コロナウイルスを感染させ	医師や看護師から通院しないように言われた	家族から通院しないように言われた	家族から通院しないように言われた	病状・体調が悪かったから	病状・体調が回復したから	電話やオンラインで診療を受けていたから	普段よりも長い日数分の薬の処方を受けていたから	市販の薬を飲んで症状に対処していたから	自身を管理し、通院する必要を減らした	通院する時間が取れなかったから	外出自体をしないようにしていたから	入院していたから	その他	特に理由はない
通院を抑制していた持病あり群全体	693	57.7%	13.9%	15.0%	7.4%	1.0%	5.5%	4.2%	18.8%	1.9%	7.8%	3.5%	24.8%	0.4%	2.9%	5.3%	
定期的な通院を行っていた疾患	高血圧症	143	60.1%	14.7%	16.1%	4.9%	1.4%	2.1%	6.3%	26.6%	0.7%	6.3%	2.1%	13.3%	0.7%	2.8%	4.2%
	脂質異常症(コレステロール値、中性脂肪値の異常など)	110	72.7%	13.6%	11.8%	3.6%	0.9%	2.7%	4.5%	26.4%	1.8%	5.5%	1.8%	21.8%	0.0%	3.6%	1.8%
	高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患(不整脈など)	21	61.9%	4.8%	28.6%	14.3%	4.8%	0.0%	14.3%	19.0%	9.5%	4.8%	4.8%	19.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	花粉症	102	65.7%	16.7%	6.9%	10.8%	0.0%	5.9%	1.0%	23.5%	4.9%	8.8%	2.9%	32.4%	1.0%	2.0%	2.9%
	花粉症以外のアレルギー系の疾患	33	63.6%	15.2%	6.1%	12.1%	3.0%	15.2%	3.0%	30.3%	3.0%	6.1%	0.0%	24.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	気管支喘息	32	71.9%	15.6%	12.5%	9.4%	0.0%	6.3%	9.4%	25.0%	0.0%	9.4%	0.0%	28.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)	13	38.5%	0.0%	30.8%	15.4%	0.0%	15.4%	0.0%	38.5%	0.0%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%
	アトピー性皮膚炎	38	55.3%	15.8%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	15.8%	2.6%	7.9%	7.9%	21.1%	0.0%	2.6%	5.3%
	アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患(皮膚乾燥症など)	26	42.3%	15.4%	11.5%	3.8%	0.0%	7.7%	15.4%	23.1%	3.8%	3.8%	3.8%	30.8%	0.0%	7.7%	3.8%
	消化器系の疾患(胃炎など)	52	67.3%	17.3%	9.6%	7.7%	5.8%	9.6%	5.8%	23.1%	5.8%	17.3%	3.8%	32.7%	1.9%	1.9%	0.0%
	泌尿・生殖器系の疾患(尿路結石、腎炎など)	27	70.4%	11.1%	25.9%	3.7%	3.7%	3.7%	11.1%	33.3%	7.4%	11.1%	0.0%	18.5%	0.0%	3.7%	0.0%
	糖尿病	45	68.9%	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	4.4%	6.7%	31.1%	0.0%	6.7%	2.2%	22.2%	0.0%	2.2%	4.4%
	糖尿病以外の内分泌代謝障害(パセドウ病など)	6	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	筋骨格系の疾患(関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど)	45	64.4%	24.4%	17.8%	4.4%	4.4%	11.1%	2.2%	13.3%	0.0%	8.9%	0.0%	35.6%	0.0%	4.4%	0.0%
	眼科系の疾患	78	65.4%	12.8%	12.8%	7.7%	1.3%	1.3%	2.6%	21.8%	1.3%	5.1%	1.3%	39.7%	1.3%	1.3%	2.6%
	婦人科系の疾患	59	57.6%	16.9%	10.2%	8.5%	3.4%	6.8%	8.5%	16.9%	3.4%	18.6%	13.6%	40.7%	1.7%	0.0%	1.7%
	偏頭痛	30	66.7%	26.7%	10.0%	13.3%	0.0%	3.3%	6.7%	16.7%	3.3%	6.7%	0.0%	30.0%	0.0%	3.3%	6.7%
	偏頭痛以外の精神・神経系の疾患	25	52.0%	20.0%	32.0%	8.0%	4.0%	0.0%	16.0%	24.0%	4.0%	0.0%	0.0%	28.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	がん・腫瘍	22	36.4%	9.1%	22.7%	4.5%	0.0%	13.6%	4.5%	13.6%	0.0%	4.5%	4.5%	9.1%	0.0%	13.6%	13.6%
	その他	115	57.4%	13.0%	19.1%	8.7%	0.0%	4.3%	3.5%	24.3%	1.7%	7.8%	2.6%	28.7%	0.0%	1.7%	3.5%
わからない・答えたくない	58	43.1%	13.8%	12.1%	12.1%	0.0%	5.2%	3.4%	1.7%	1.7%	3.4%	1.7%	12.1%	0.0%	3.4%	29.3%	

3. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期における通院方法(持病あり群)

持病あり群の回答者に対して全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(2021年5月～9月)の通院方法を聞いたところ、「電話を利用して、医師の診療を受けた(以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む)」が6.6%、「インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた(以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む)」が1.9%、「普段とは異なる医療機関に通院していた」が6.8%、「上記に当てはまるものはない」が85.3%だった。

定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「電話を利用して、医師の診療を受けた」では「気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)」が最も多く14.0%、「インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた」、「普段とは異なる医療機関に通院していた」では「片頭痛」が最も多く、それぞれ9.4%～14.1%を占めていた。

図表 36 「第4波」、「第5波」による感染拡大期における通院方法(持病あり群、原因疾患別)

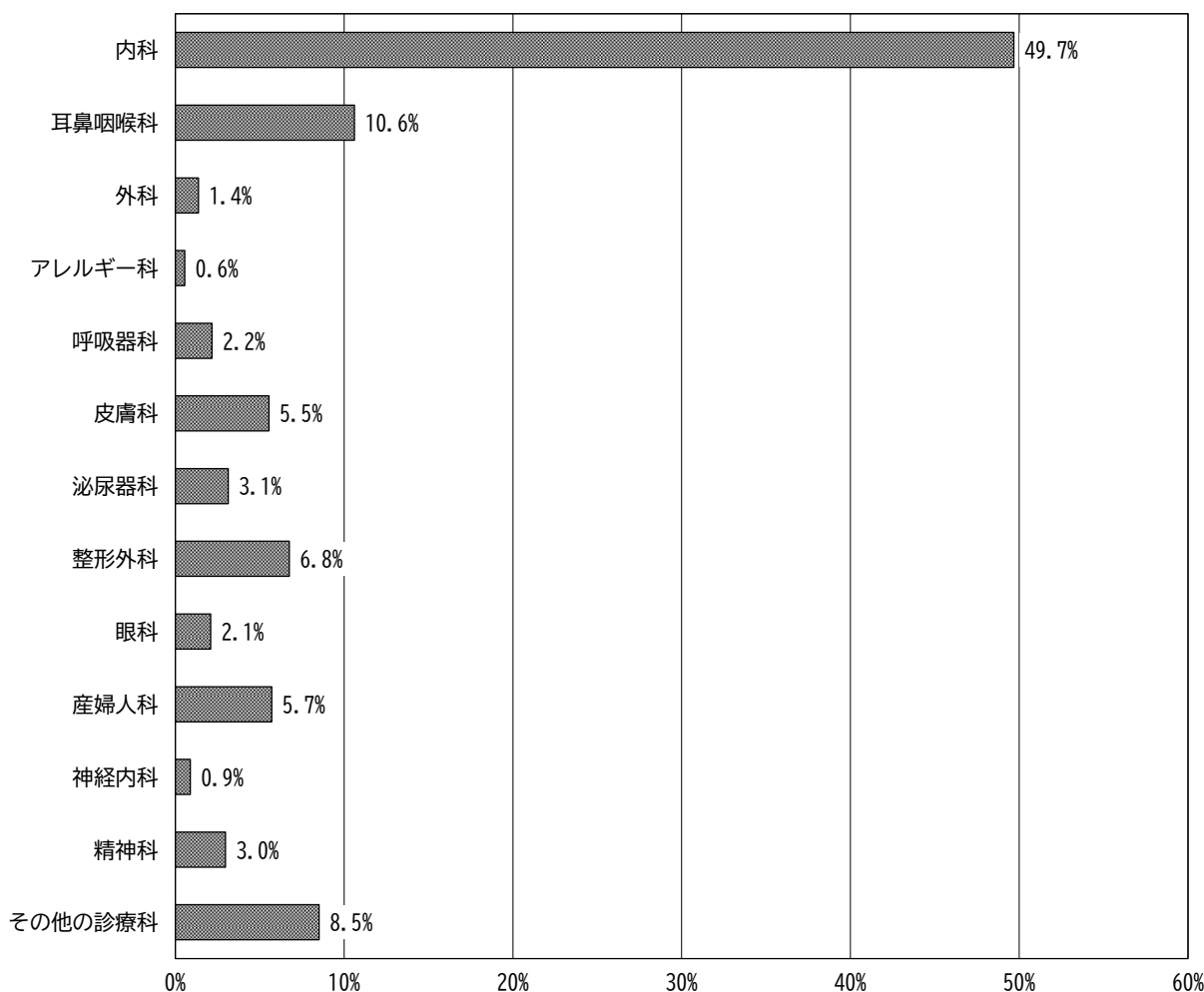
	回答者数	通院方法				
		電話を利用して、医師の診療を受けた(以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む)	インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた(以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む)	普段とは異なる医療機関に通院していた	上記に当てはまるものはない	
持病あり群全体	3,500	6.6%	1.9%	6.8%	85.3%	
定期的な通院を行っていた疾患	高血圧症	1,085	7.2%	1.5%	6.7%	85.1%
	脂質異常症(コレステロール値、中性脂肪値の異常など)	670	6.1%	2.1%	8.2%	84.2%
	高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患(不整脈など)	172	5.8%	4.1%	8.7%	84.3%
	花粉症	272	11.8%	7.4%	9.2%	72.8%
	花粉症以外のアレルギー系の疾患	143	9.8%	7.0%	9.1%	79.0%
	気管支喘息	131	13.7%	3.8%	6.1%	80.2%
	気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)	57	14.0%	7.0%	8.8%	77.2%
	アトピー性皮膚炎	107	9.3%	7.5%	8.4%	77.6%
	アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患(皮膚乾燥症など)	102	9.8%	4.9%	9.8%	80.4%
	消化器系の疾患(胃炎など)	215	9.3%	2.3%	9.8%	80.9%
	泌尿・生殖器系の疾患(尿路結石、腎炎など)	139	3.6%	2.9%	6.5%	88.5%
	糖尿病	416	7.0%	1.2%	6.7%	86.3%
	糖尿病以外の内分泌代謝障害(パセドウ病など)	31	9.7%	3.2%	9.7%	83.9%
	筋骨格系の疾患(関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど)	202	7.4%	2.0%	7.4%	84.2%
	眼科系の疾患	361	5.8%	1.9%	3.0%	89.8%
	婦人科系の疾患	179	5.0%	2.8%	6.1%	87.7%
	偏頭痛	85	10.6%	9.4%	14.1%	70.6%
	偏頭痛以外の精神・神経系の疾患	130	12.3%	3.8%	7.7%	78.5%
	がん・腫瘍	181	7.2%	1.1%	5.0%	88.4%
	その他	608	5.9%	1.0%	4.8%	89.0%
わからない・答えたくない	186	8.1%	1.6%	7.5%	83.9%	

4. 体調不良があった時期及び受診を検討した診療科(持病なし・体調不良あり群)

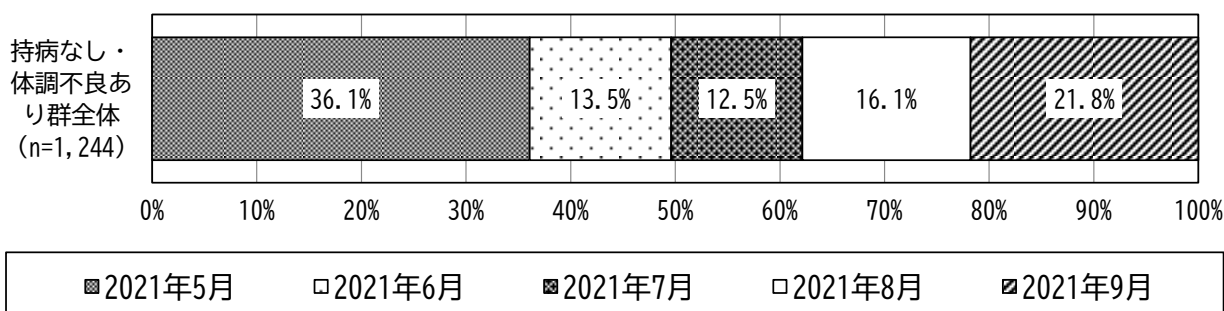
持病なし・体調不良あり群の回答者における、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月~9月))の期間中に医療機関の受診を検討するような体調不良を経験した際に受診を検討した診療科を聞いたところ、「内科」が49.7%で最も多く、次いで「耳鼻咽喉科」が10.6%、「その他の診療科」が8.5%の順だった。

当該期間中に医療機関の受診を検討するような体調不良を経験した時期を聞いたところ、「2021年5月」が36.1%で最も多く、次いで「2021年9月」が21.8%の順だった。

図表 37 体調不良があった際に医療機関の受診を検討した診療科【単数回答】
(持病なし・体調不良あり群 (n=1,244))



図表 38 体調不良があった際に医療機関の受診を検討した時期 (持病なし・体調不良あり群)



5. 体調不良があった際の受診方法(持病なし・体調不良あり群)

持病なし・体調不良あり群の回答者における、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月~9月))の期間中に医療機関の受診を検討するような体調不良を経験した際の受診方法を聞いたところ、「普段受診することが多い医療機関を、外来で受診した」が65.0%で最も多く、次いで「普段受診することが多い医療機関とは別の医療機関を、外来で受診した」が26.2%の順だった。

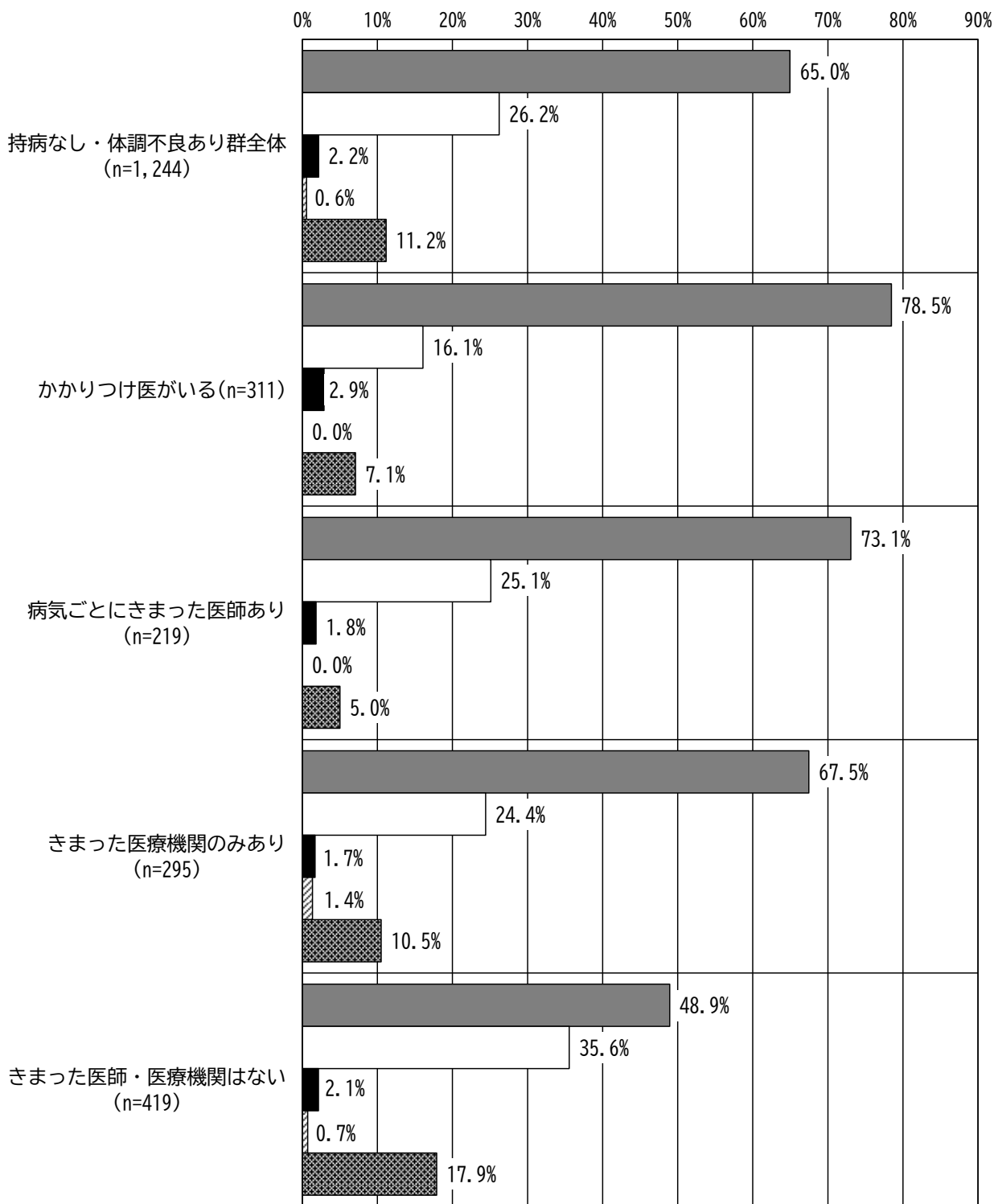
回答者全体の回答割合が最も高かった「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」の内訳について受診を検討した診療科別にみると、「アレルギー科」が85.7%で最も多く、次いで「耳鼻咽喉科」が73.5%、「産婦人科」が70.4%の順だった。

また、回答者全体の回答割合が最も高かった「普段受診することが多い医療機関を、外来で受診した」の内訳を「かかりつけ医」の有無別にみると、「かかりつけ医がいる」が78.5%で最も多く、次いで「病気ごとにきまった医師がいる」が73.1%の順だった。

図表 39 体調不良があった際の受診方法(持病なし・体調不良あり群、受診を検討した診療科別)

	回答者数	医療機関の受診を検討するような体調不良があった際の受診方法					
		普段受診することが多い医療機関を、外来で受診した	普段受診することが多い医療機関とは別の医療機関を、外来で受診した	電話を利用して、医師の診療を受けた	インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた	外来での受診はしなかった	
持病なし・体調不良あり群全体	1,244	65.0%	26.2%	2.2%	0.6%	11.2%	
受診を検討した診療科	内科	618	66.0%	21.8%	2.9%	0.8%	13.9%
	耳鼻咽喉科	132	73.5%	24.2%	0.0%	0.0%	3.8%
	外科	17	52.9%	29.4%	5.9%	0.0%	17.6%
	アレルギー科	7	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%
	呼吸器科	27	63.0%	29.6%	7.4%	0.0%	11.1%
	皮膚科	69	66.7%	33.3%	1.4%	0.0%	4.3%
	泌尿器科	39	46.2%	56.4%	0.0%	0.0%	2.6%
	整形外科	84	67.9%	23.8%	1.2%	1.2%	10.7%
	眼科	26	65.4%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%
	産婦人科	71	70.4%	22.5%	1.4%	0.0%	9.9%
	神経内科	11	63.6%	36.4%	9.1%	9.1%	9.1%
	精神科	37	56.8%	45.9%	0.0%	0.0%	5.4%
	その他の診療科	106	51.9%	34.0%	1.9%	0.0%	15.1%

図表 40 体調不良があった際の受診方法（持病なし・体調不良あり群、「かかりつけ医」の有無別）

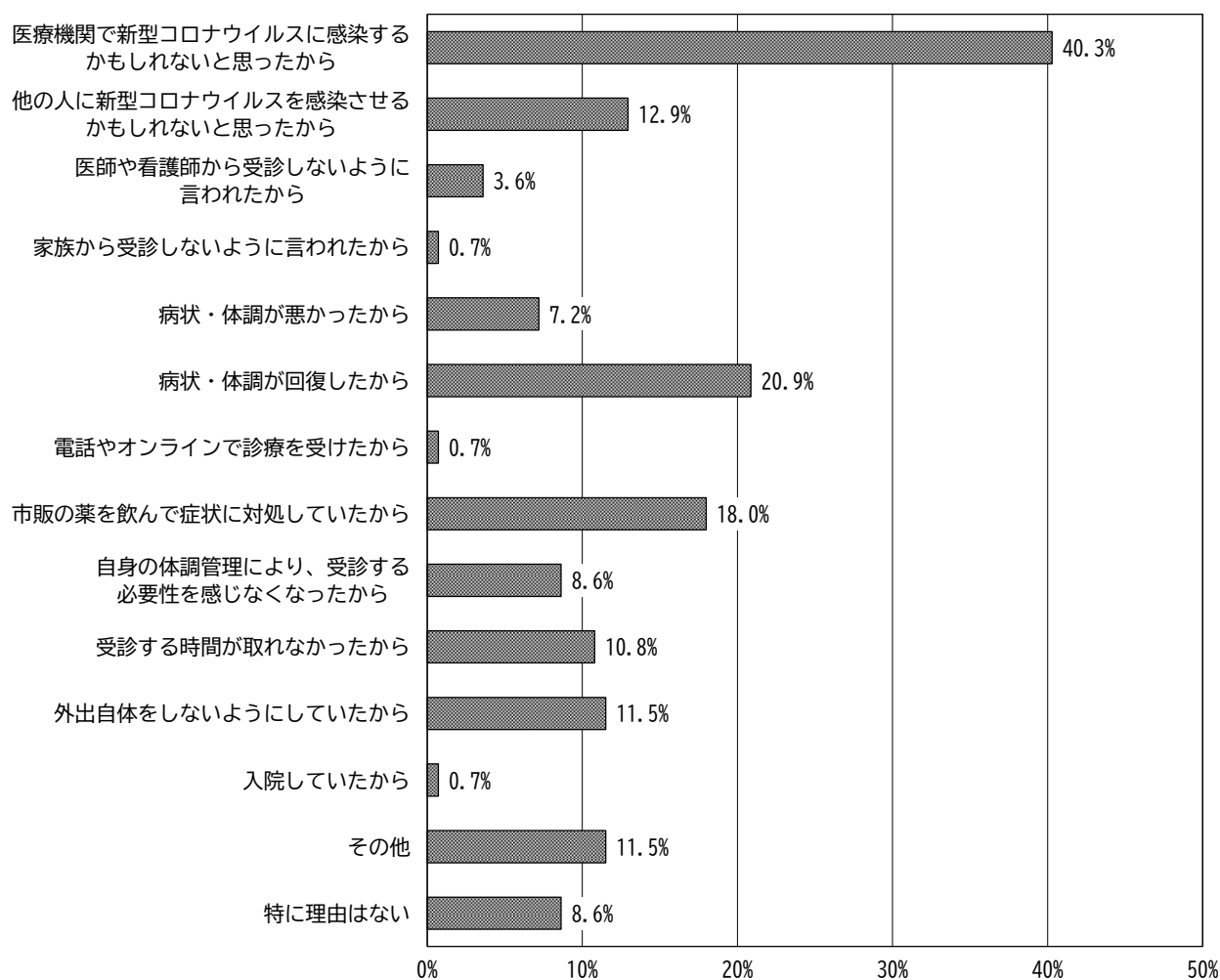


- 普段受診することが多い医療機関を、外来で受診した
- 普段受診することが多い医療機関とは別の医療機関を、外来で受診した
- 電話を利用して、医師の診療を受けた
- ▨ インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた
- ▩ 外来での受診はしなかった

6. 体調不良があった際に外来受診しなかった理由(持病なし・体調不良あり群)

持病なし・体調不良あり群の回答者における、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月~9月))の期間中に医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したにもかかわらず、医療機関を外来受診しなかった理由を聞いたところ、「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」が40.3%で最も多く、次いで「病状・体調が回復したから」が20.9%、「市販の薬を飲んで症状に対処していたから」が18.0%の順だった。

図表 41 外来受診しなかった理由(持病なし・体調不良あり群)



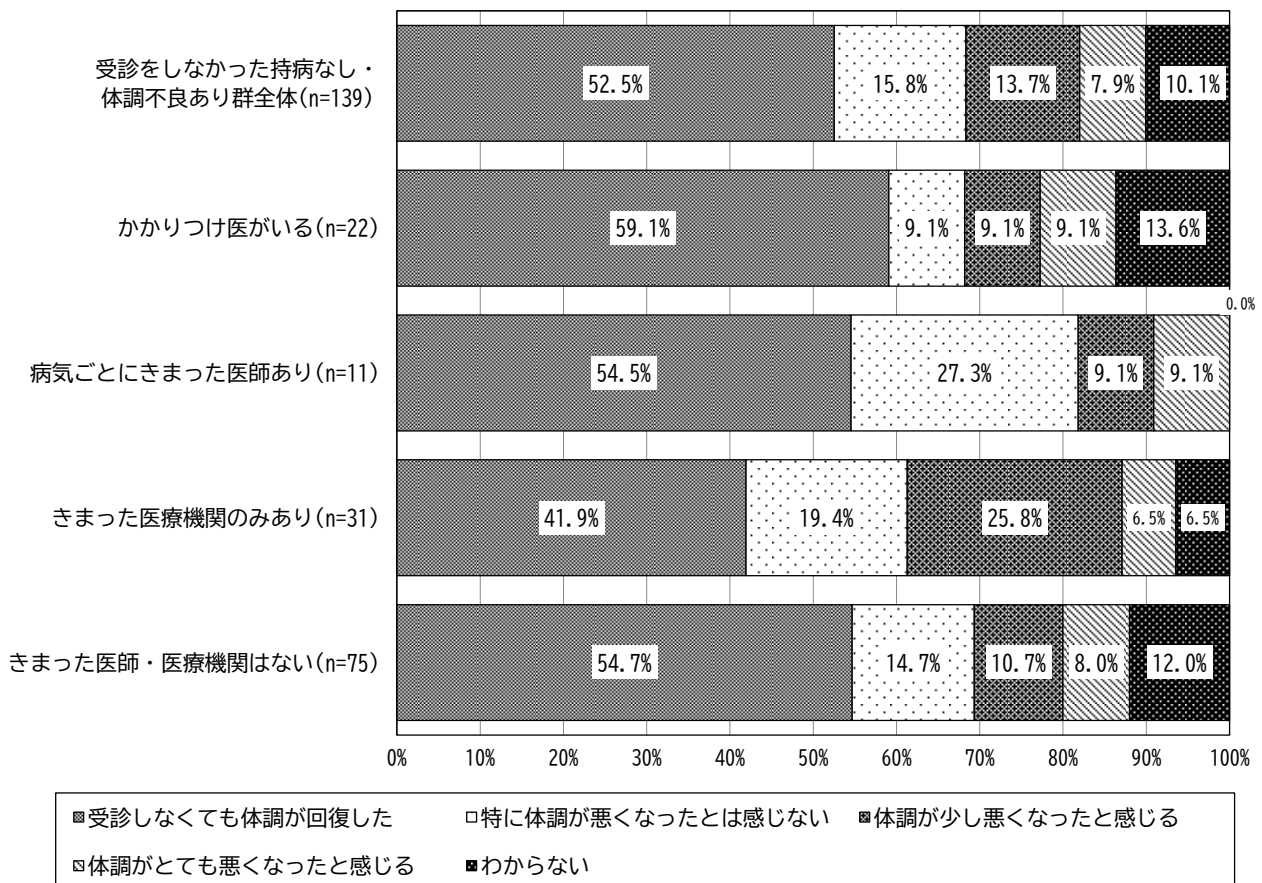
7. 体調不良があった際に受診控えによる体調の変化(持病なし・体調不良あり群)

持病なし・体調不良あり群の回答者における、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月~9月))の期間中に医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したにもかかわらず、医療機関を外来受診しなかったことにより体調の変化を聞いたところ、「受診しなくても体調が回復した」が52.5%で最も多く、次いで「特に体調が悪くなったとは感じない」が15.8%の順だった。

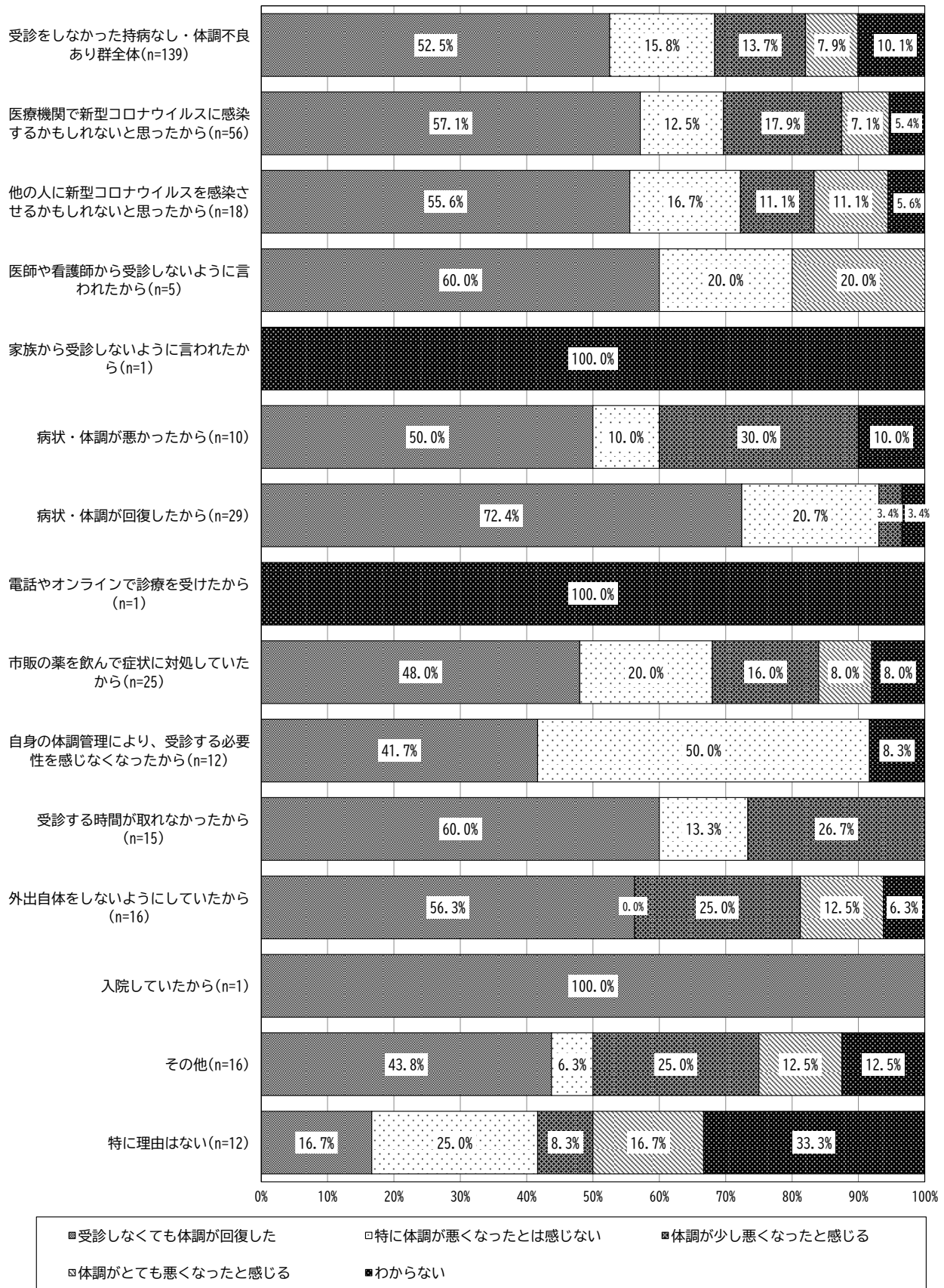
また、回答者全体の回答割合が最も高かった「受診しなくても体調が回復した」の内訳を「かかりつけ医」の有無別にみると、「かかりつけ医がいる」が59.1%で最も多く、次いで「きまった医師・医療機関はない」が54.7%の順だった。

さらに、回答者全体の回答割合が最も高かった「受診しなくても体調が回復した」の内訳を受診控えの理由別(ただし $n \geq 10$ に限る)にみると、「病状・体調が回復したから」が72.4%で最も多く、次いで「受診する時間が取れなかったから」が60.0%、「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」が57.1%の順だった。

図表 42 受診控えによる体調の変化(持病なし・体調不良あり群、「かかりつけ医」の有無別)



図表 43 受診控えによる体調の変化（持病なし・体調不良あり群、受診控えの理由別）



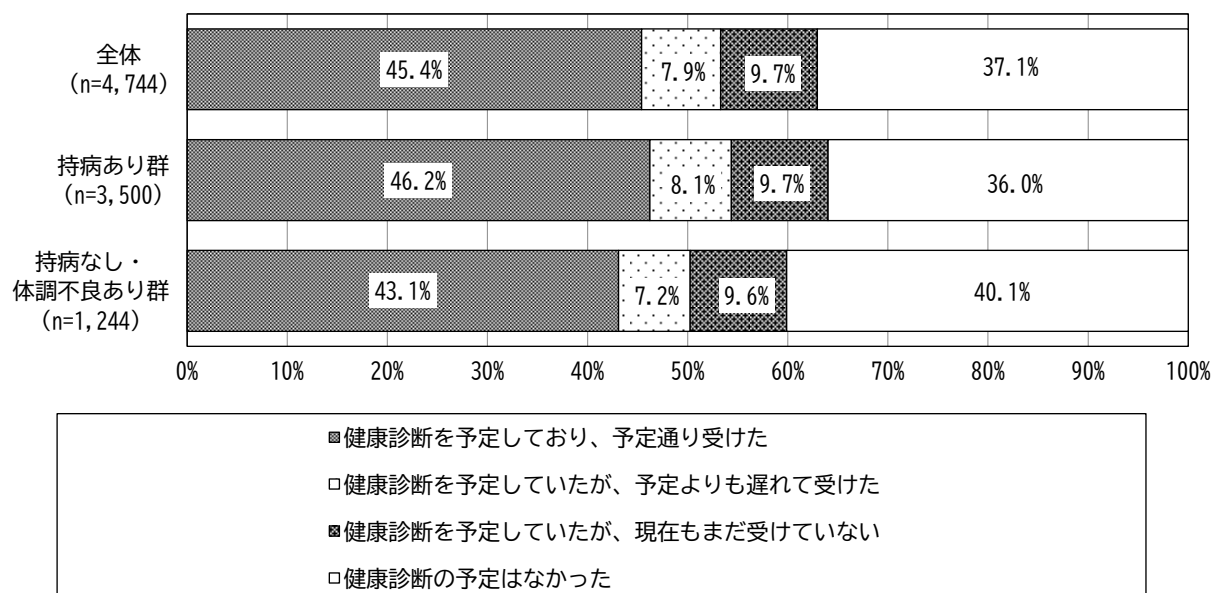
8. 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に予定していた健診等の受診状況

(1) 健康診断の受診状況

全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月~9月))に予定していた健康診断の受診状況を聞いたところ、持病あり群では、「健康診断を予定しており、予定通り受けた」が46.2%で最も多かった。それ以外では、「健康診断を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「健康診断を予定していたが、現在もまだ受けていない」が17.8%、「健康診断の予定はなかった」が36.0%を占めていた。

一方、持病なし・体調不良あり群も同様の傾向がみられ、「健康診断を予定しており、予定通り受けた」が43.1%で最も多かった。それ以外では、「健康診断を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「健康診断を予定していたが、現在もまだ受けていない」が16.8%、「健康診断の予定はなかった」が40.1%を占めていた。

図表 44 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に予定していた健康診断の受診状況(群別)

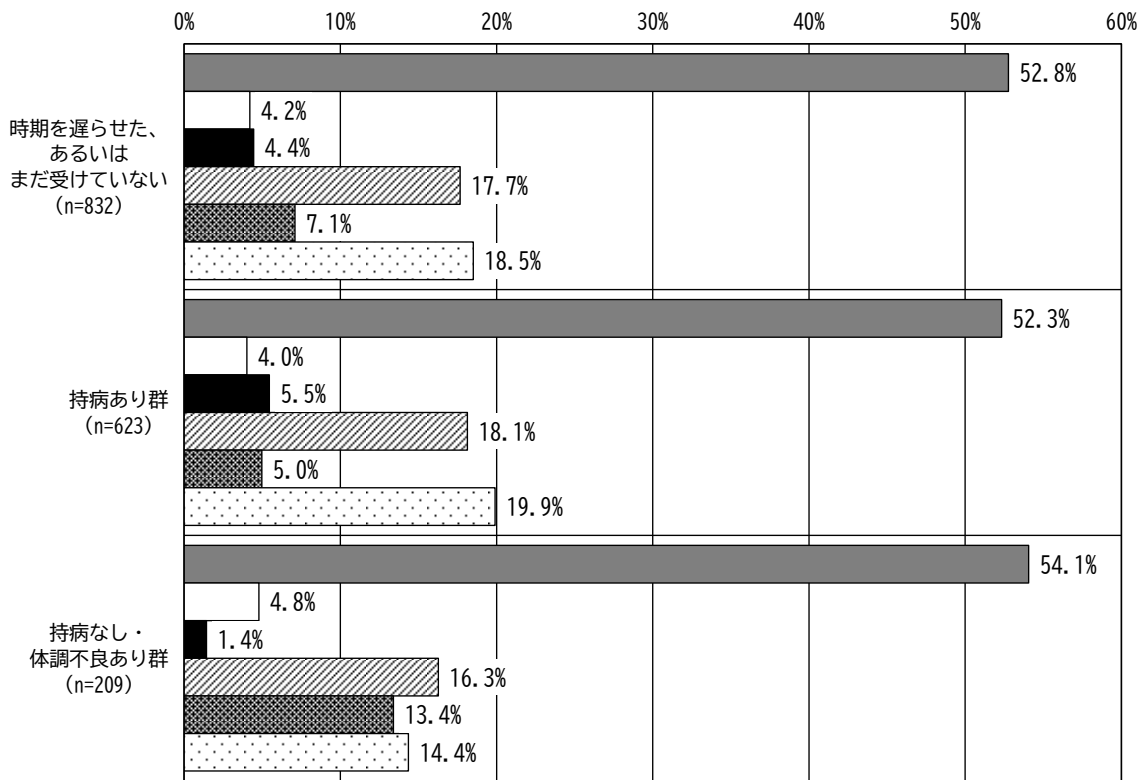


【定期健診の時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由】

「健康診断を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「健康診断を予定していたが、現在もまだ受けていない」と回答した 832 人(持病あり群 623 人、持病なし・体調不良あり群 209 人)に予定していた健康診断について時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由を聞いたところ、持病あり群では「自分自身の判断で延期しようと考えた」が 52.3%で最も多く、次いで「その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)」が 19.9%、「健診機関側の都合によって延期することとなった」が 18.1%の順だった。

一方、持病なし・体調不良あり群では「自分自身の判断で延期しようと考えた」が 54.1%で最も多く、次いで「健診機関側の都合によって延期することとなった」が 16.3%、「その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)」が 14.4%の順だった。

図表 45 予定していた定期診断の時期を遅らせた、あるいは受けていない理由 (群別)



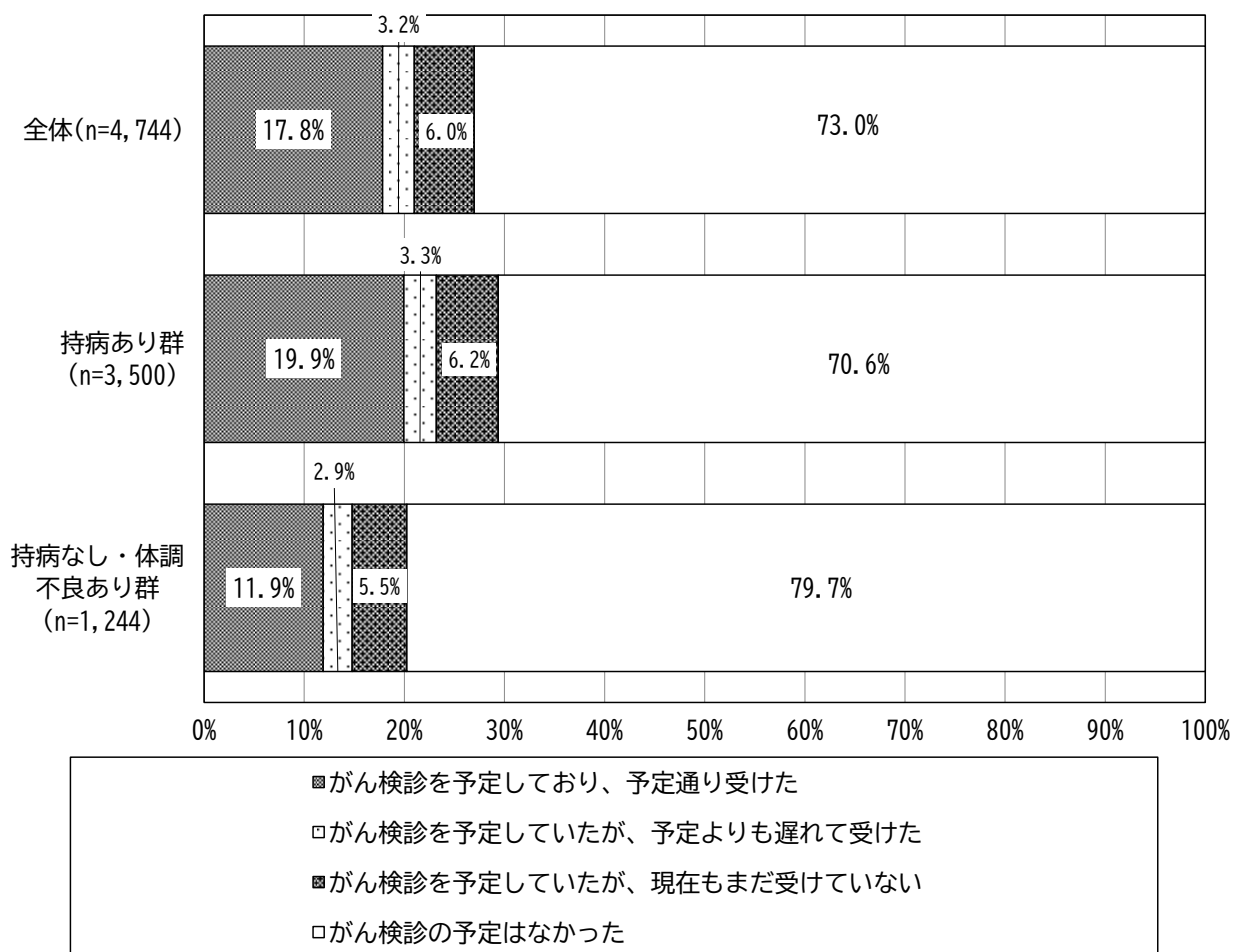
- 自分自身の判断で延期しようと考えた
- まわりの人の勧めで延期しようと考えた
- 医師の指示によって延期することとなった
- 健診機関側の都合(受付可能数の減少のため予約できないなど)によって延期することとなった
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職場等の指示によって延期することとなった
- その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)

(2)がん検診の受診状況

全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月～9月))に予定していたがん検診の受診状況を聞いたところ、持病あり群では、「がん検診の予定はなかった」が70.6%で最も多かった。それ以外では、「がん検診を予定しており、予定通り受けた」が19.9%、「がん検診を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「がん検診を予定していたが、現在もまだ受けていない」が9.5%を占めていた。

一方、持病なし・体調不良あり群では、「がん検診の予定はなかった」が79.7%で最も多かった。それ以外では、「がん検診を予定しており、予定通り受けた」が11.9%、「がん検診を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「がん検診を予定していたが、現在もまだ受けていない」が8.4%を占めていた。

図表 46 「第4波」、「第5波」による感染拡大期に予定していたがん検診の受診状況(群別)

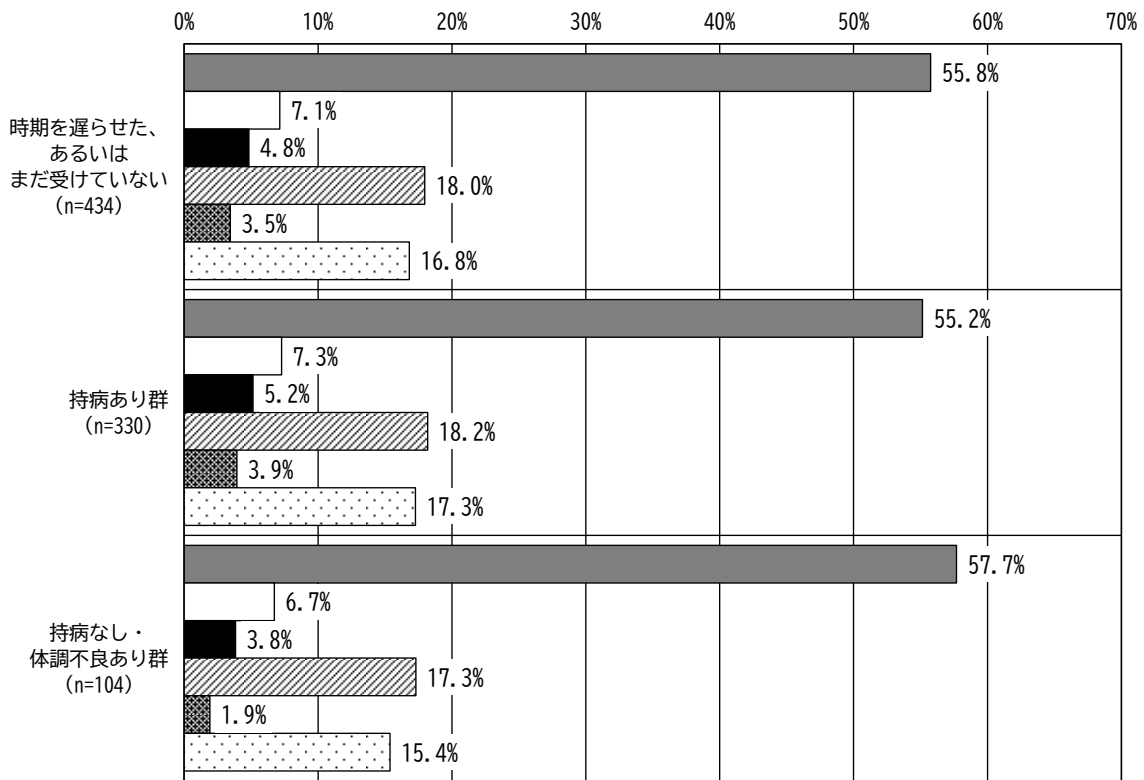


【がん検診の時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由】

「がん検診を予定していたが、予定よりも遅れて受けた」または「がん検診を予定していたが、現在もまだ受けていない」と回答した434人(持病あり群330人、持病なし・体調不良あり群104人)に予定していたがん検診について時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由を聞いたところ、持病あり群では「自分自身の判断で延期しようと考えた」が55.2%で最も多く、次いで「健診機関側の都合によって延期することとなった」が18.2%、「その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)」が17.3%の順だった。

一方、持病なし・体調不良あり群では、持病あり群と同様の傾向がみられ、「自分自身の判断で延期しようと考えた」が57.7%で最も多く、次いで「健診機関側の都合によって延期することとなった」が17.3%、「その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)」が15.4%の順だった。

図表 47 予定していた定期診断の時期を遅らせた、あるいは受けていない理由(群別)



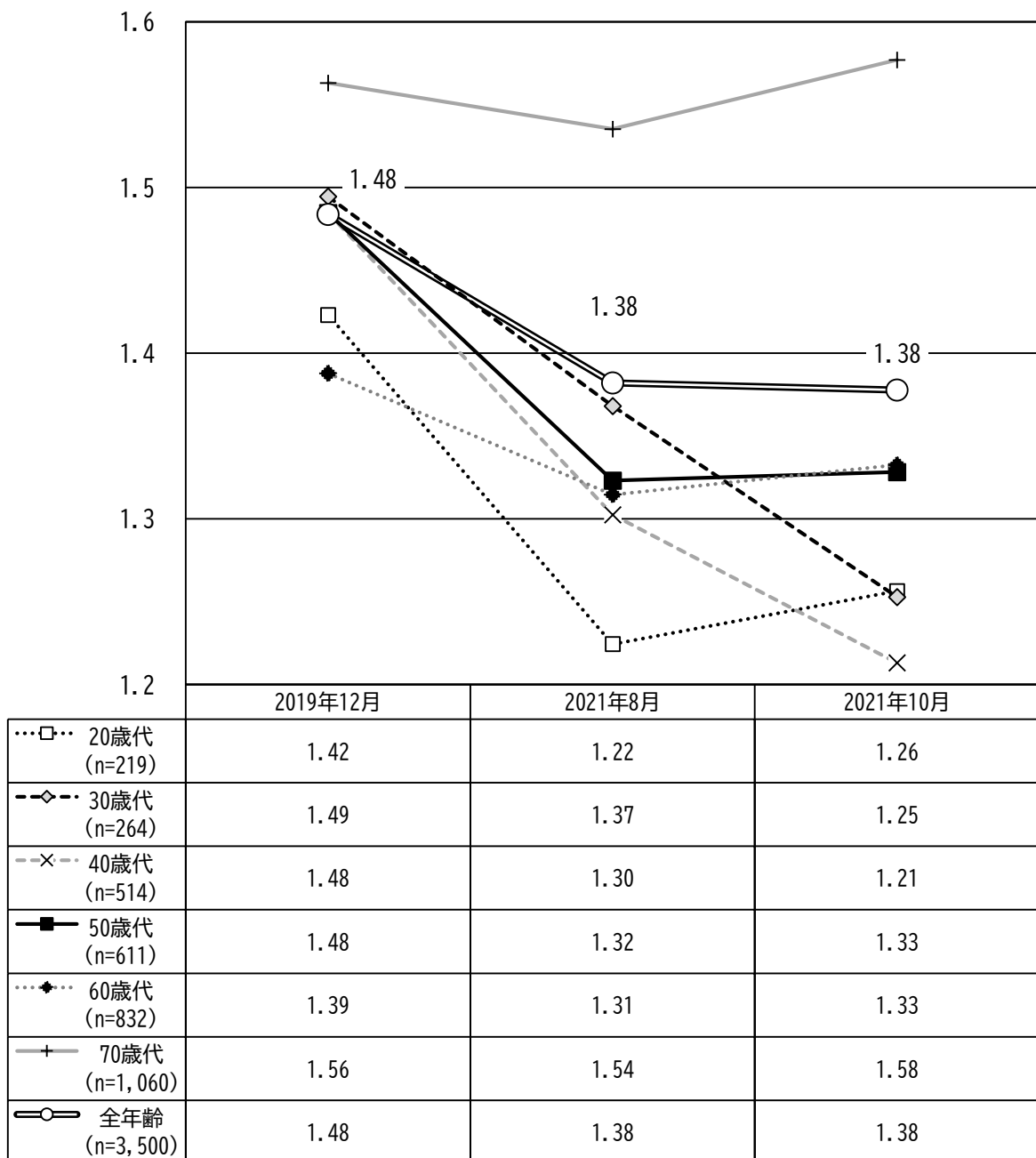
- 自分自身の判断で延期しようと考えた
- まわりの人の勧めで延期しようと考えた
- 医師の指示によって延期することとなった
- 健診機関側の都合(受付可能数の減少のため予約できないなど)によって延期することとなった
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職場等の指示によって延期することとなった
- その他(新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など)

第6章 「第5波」の小康期～緊急事態宣言の解除後の受診状況等

1. 通院頻度の変化(持病あり群、2019年12月/2021年8月/同年10月)

持病あり群の回答者における、「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期の1か月間(2021年10月)(= (C)の時期)の外来受診回数は、平均1.38回だった。年齢階級別にみると、「70歳代」が平均1.58回で最多、「40歳代」が平均1.21回で最少だった。

図表 48 外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2021年8月/2021年8月/同年10月)



【外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2019年12月/2021年10月)】

持病あり群の回答者における、外来受診回数を比較したところ、(C)の時期は(A)の時期よりも平均0.11回の減少傾向がみられ、帰無仮説 H_0 (外来の平均受診回数は(A)(C)の時期で等しい)および対立仮説 H_1 (外来の平均受診回数は(A)の方が(C)よりも大きい)のもとで仮説検定<有意水準5%>を行った結果、両時点の間には有意差がみられた(t値=2.45、P値=1.36%)。また、年齢階級別にみると、「40歳代」において有意差が確認された(t値=3.10、P値=2.0%)となった。

図表 49 外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2019年12月/2021年10月)

		外来の平均受診回数			t 値	P 値
		(A)の時期	(C)の時期	(A)-(C)		
(A):新型コロナウイルス感染症が確認される前の1か月間(2019年12月)						
(C):「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月)						
「持病あり群」全体		1.48	1.38	0.11	2.45	1.36%
年齢階級	20歳代(n=219)	1.42	1.26	0.17	1.19	23.7%
	30歳代(n=264)	1.49	1.25	0.24	1.70	9.01%
	40歳代(n=514)	1.48	1.21	0.27	3.10	2.0%
	50歳代(n=611)	1.48	1.33	0.16	1.43	15.4%
	60歳代(n=832)	1.39	1.33	0.06	0.77	44.3%
	70歳代(n=1,060)	1.56	1.58	-0.01	-0.15	88.3%

※統計学では、P値が有意水準 α よりも小さい場合、帰無仮説 H_0 が誤りであると考え、これを棄却する。すなわち、P値とは、仮説検定で下した結論が誤りである確率を指す。

※上記の仮説検定は、一方が他方よりも大きい(もしくは小さい)ことが明確なので、片側検定を行う。平均値の差の検定ではt分布を用いる。t値とは、平均値の差分を標準偏差で除した値を指す。

【外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2019年12月/2021年10月)】

持病あり群の回答者における、外来受診回数を比較したところ、(C)の時期と(B)の時期で差異はみられなかった。また、帰無仮説 H_0 (外来の平均受診回数は(B)(C)の時期で等しい)および対立仮説 H_1 (外来の平均受診回数は(B)の方が(C)よりも大きい)のもとで仮説検定<有意水準5%>を行った結果、両時点の間には全年齢・年齢階級別ともに有意差がみられなかった。

図表 50 外来の平均受診回数の変化(持病あり群、2021年8月/同年10月)

		外来の平均受診回数			t 値	P 値
		(B)の時期	(C)の時期	(B) - (C)		
「持病あり群」全体		1.38	1.38	0.00	0.11	91.5%
年齢階級	20 歳代(n=219)	1.22	1.26	-0.03	-0.25	80.6%
	30 歳代(n=264)	1.37	1.25	-0.12	0.94	34.7%
	40 歳代(n=514)	1.30	1.21	0.09	1.21	22.8%
	50 歳代(n=611)	1.32	1.33	-0.01	-0.06	95.6%
	60 歳代(n=832)	1.31	1.33	-0.02	-0.24	80.9%
	70 歳代(n=1,060)	1.54	1.58	-0.04	-0.46	64.8%

※統計学では、P値が有意水準 α よりも小さい場合、帰無仮説 H_0 が誤りであると考え、これを棄却する。すなわち、P値とは、仮説検定で下した結論が誤りである確率を指す。

※上記の仮説検定は、一方が他方よりも大きい(もしくは小さい)ことが明確なので、片側検定を行う。平均値の差の検定ではt分布を用いる。t値とは、平均値の差分を標準偏差で除した値を指す。

【通院頻度の変化(持病あり群、2019年12月/2021年5月～9月)】

持病あり群の回答者に対して(ハ)の時期の通院頻度を聞いたところ、回答者全体では「(イ)の時期と比べて、通院する頻度は変わらなかった」が79.8%を占めていた。

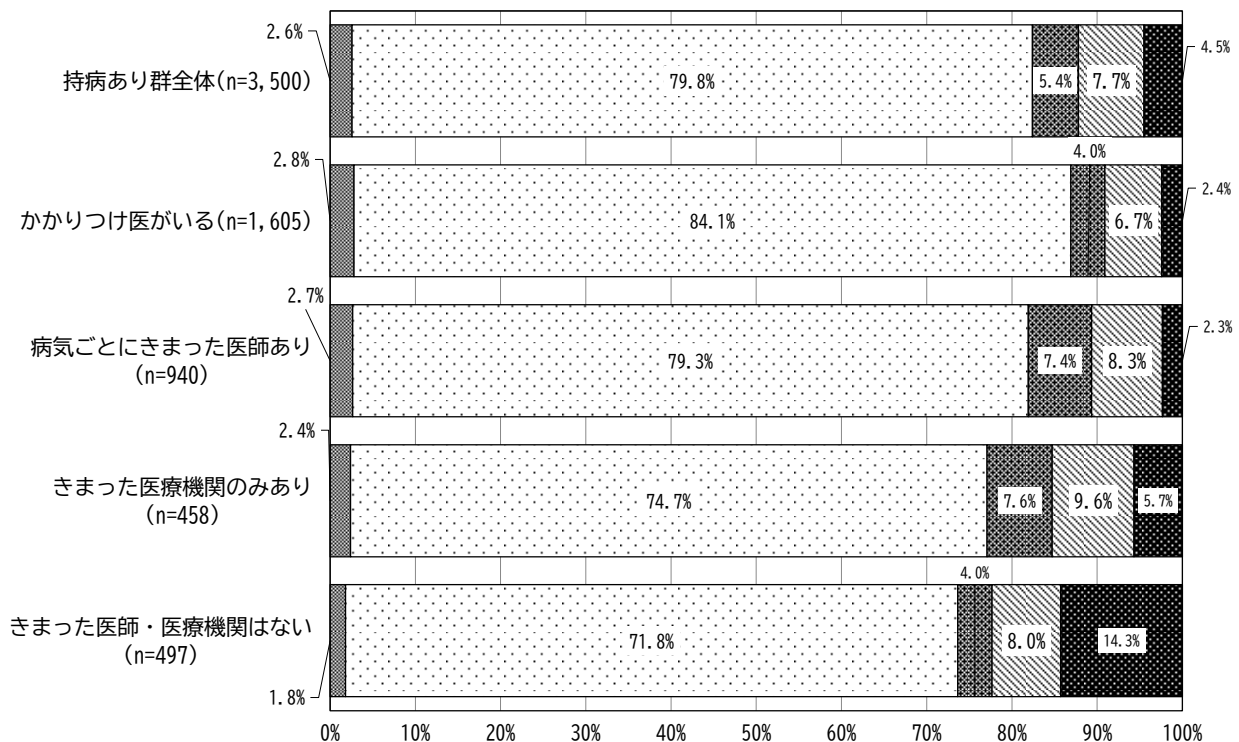
回答者全体で最も回答割合が高かった「(イ)の時期と比べて、通院する頻度は変わらなかった」の内訳を「かかりつけ医」の有無別にみると、「かかりつけ医がいる」が84.1%で最も多く、次いで「病気ごとにきまった医師あり」が79.3%の順だった。

同様に、定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「糖尿病」が88.3%で最も多く、次いで「がん・腫瘍」が87.3%、「高血圧症」が87.0%の順だった。回答割合が80%以上の原因疾患は以下「脂質異常症」、「高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患」、「泌尿・生殖器系の疾患」、「糖尿病以外の内分泌代謝障害」、「その他」、「眼科系の疾患」の順だった。

図表 51 通院頻度の変化 (持病あり群・「かかりつけ医」の有無別)

(イ)の時期:新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期:全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
(「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月～9月)

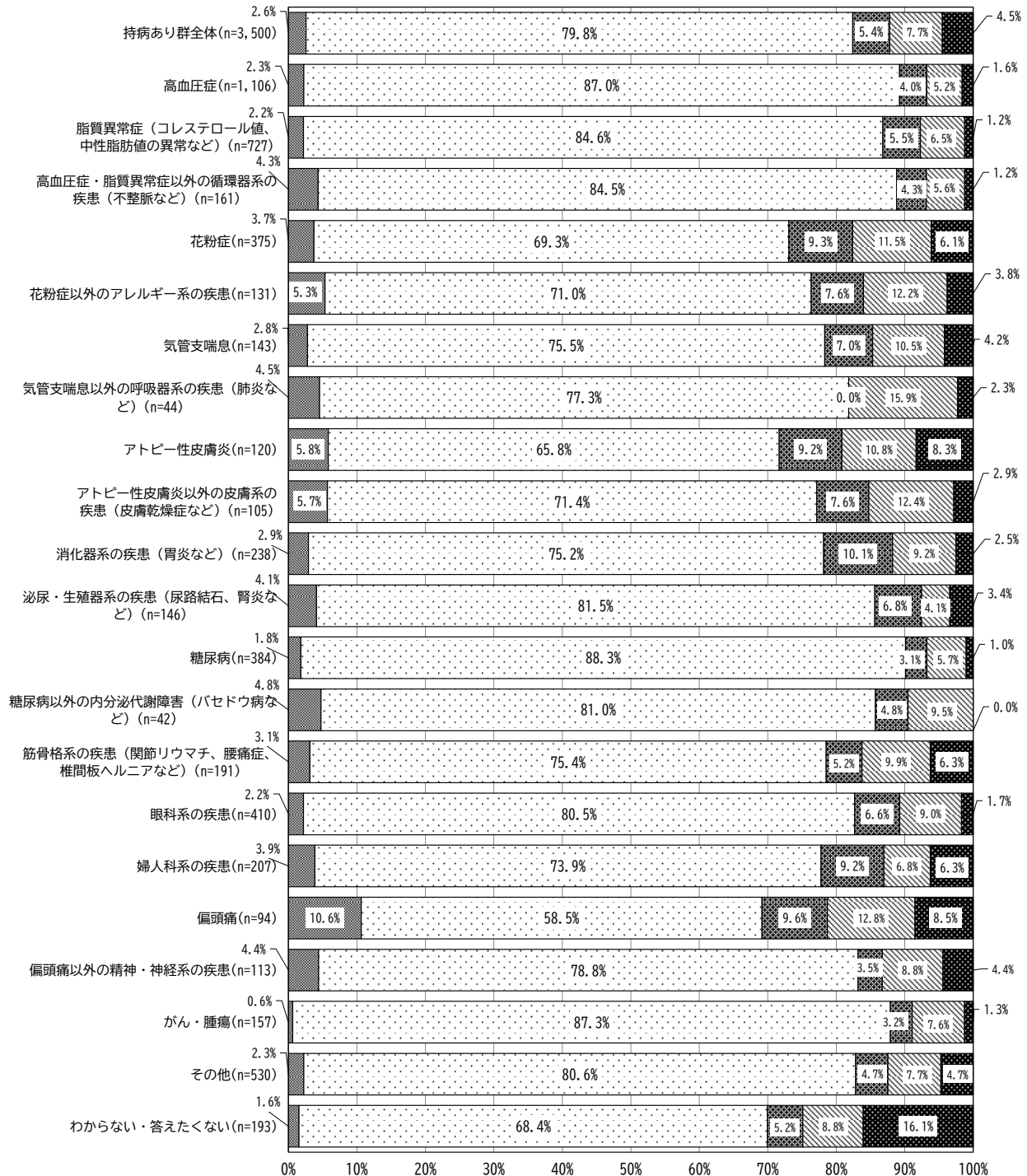


- (イ)の時期と比べて、通院する頻度を多くしていた
- (イ)の時期と比べて、通院する頻度は変わらなかった
- ▨(イ)の時期よりも通院する頻度は少ないが(ロ)の時期に比べれば頻度は戻った
- ▩(イ)の時期よりも通院する頻度を少なくしたままであった
- 通院するのをやめていた

図表 52 通院頻度の変化（持病あり群・原因疾患別）

(イ)の時期:新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期:全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
 (「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月~9月)



■(イ)の時期と比べて、通院する頻度を多くしていた
 □(イ)の時期と比べて、通院する頻度は変わらなかった
 ■(イ)の時期よりも通院する頻度は少ないが(ロ)の時期に比べれば頻度は戻った
 □(イ)の時期よりも通院する頻度を少なくしたままであった
 ■通院するのをやめていた

2. 2021年10月以降に通院を抑制した理由(持病あり群)

「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)に通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた持病あり群の回答者 616 人に対して通院を抑制した理由を聞いたところ、「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」が43.3%で最も多く、次いで「外出自体をしないようにしていたから」が19.2%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから」の内訳を定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「糖尿病以外の内分泌代謝障害」が83.3%で最も多く、次いで「眼科系の疾患」が63.4%、「偏頭痛」が62.1%の順だった。

図表 53 2021年10月以降に通院を抑制した理由(持病あり群・原因疾患別)

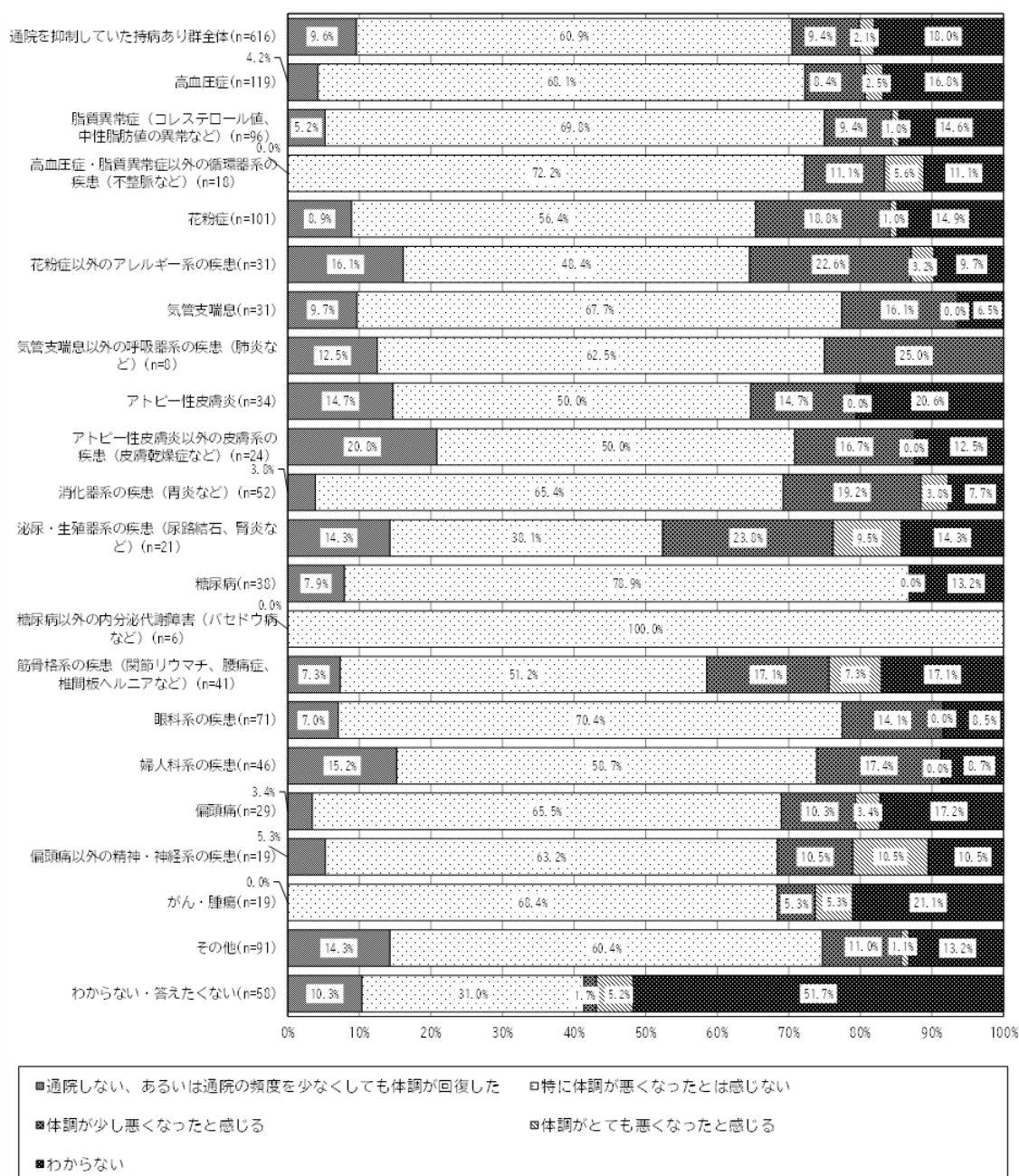
集計対象 = 「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月頃)に通院するのをやめていた、あるいは通院する頻度を少なくしていた者	回答者数	通院するのをやめていた、あるいは通院する頻度を少なくしていた理由															
		医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから	他の人に新型コロナウイルスを感染させられたから	医師や看護師から通院しないように言われたから	家族から通院しないように言われたから	家族から通院しないように言われたから	病状・体調が悪かったから	病状・体調が回復したから	電話やオンラインで診療を受けていたから	普段よりも長い日数分の薬の処方を受けていたから	市販の薬を飲んで症状に対処していたから	自身を体管理により、通院する必要を感じなくなったから	通院する時間が取れなかったから	外出自体をしないようにしていたから	入院していたから	その他	特に理由はない
通院を抑制していた持病あり群全体	616	43.3%	10.9%	8.8%	6.3%	1.6%	8.9%	4.2%	17.5%	2.8%	8.3%	4.9%	19.2%	0.0%	3.1%	11.9%	
定期的な通院を行っていた疾患	高血圧症	119	47.1%	8.4%	13.4%	8.4%	0.8%	4.2%	7.6%	26.9%	0.0%	7.6%	3.4%	11.8%	0.0%	2.5%	6.7%
	脂質異常症(コレステロール値、中性脂肪値の異常など)	96	50.0%	9.4%	11.5%	7.3%	2.1%	5.2%	4.2%	24.0%	1.0%	7.3%	6.3%	16.7%	0.0%	5.2%	8.3%
	高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患(不整脈など)	18	44.4%	11.1%	16.7%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	27.8%	0.0%	5.6%	11.1%	22.2%	0.0%	11.1%	5.6%
	花粉症	101	52.5%	11.9%	3.0%	8.9%	0.0%	5.9%	2.0%	15.8%	7.9%	4.0%	5.0%	32.7%	0.0%	2.0%	9.9%
	花粉症以外のアレルギー系の疾患	31	51.6%	9.7%	0.0%	3.2%	6.5%	19.4%	6.5%	19.4%	6.5%	3.2%	6.5%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	気管支喘息	31	48.4%	16.1%	12.9%	9.7%	0.0%	9.7%	6.5%	22.6%	0.0%	9.7%	6.5%	29.0%	0.0%	0.0%	3.2%
	気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)	8	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	アトピー性皮膚炎	34	32.4%	5.9%	5.9%	2.9%	0.0%	8.8%	2.9%	8.8%	5.9%	8.8%	20.6%	26.5%	0.0%	0.0%	11.8%
	アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患(皮膚乾燥症など)	24	37.5%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	8.3%	8.3%	29.2%	8.3%	8.3%	4.2%	25.0%	0.0%	4.2%	0.0%
	消化器系の疾患(胃炎など)	52	57.7%	13.5%	7.7%	3.8%	1.9%	11.5%	3.8%	21.2%	3.8%	9.6%	1.9%	17.3%	0.0%	3.8%	7.7%
	泌尿・生殖器系の疾患(尿路結石、腎炎など)	21	47.6%	4.8%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	4.8%	28.6%	0.0%	14.3%	0.0%	9.5%	0.0%	9.5%	4.8%
	糖尿病	38	55.3%	18.4%	26.3%	7.9%	0.0%	7.9%	13.2%	26.3%	0.0%	2.6%	5.3%	7.9%	0.0%	5.3%	7.9%
	糖尿病以外の内分泌代謝障害(バセドウ病など)	6	83.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%
	筋骨格系の疾患(関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど)	41	46.3%	9.8%	9.8%	2.4%	4.9%	9.8%	7.3%	9.8%	2.4%	14.6%	2.4%	17.1%	0.0%	9.8%	7.3%
	眼科系の疾患	71	63.4%	12.7%	7.0%	7.0%	2.8%	8.5%	4.2%	16.9%	1.4%	7.0%	2.8%	32.4%	0.0%	1.4%	8.5%
	婦人科系の疾患	46	30.4%	10.9%	4.3%	2.2%	0.0%	13.0%	4.3%	15.2%	6.5%	8.7%	15.2%	26.1%	0.0%	0.0%	8.7%
	偏頭痛	29	62.1%	17.2%	0.0%	10.3%	0.0%	6.9%	3.4%	13.8%	10.3%	3.4%	3.4%	24.1%	0.0%	0.0%	10.3%
	偏頭痛以外の精神・神経系の疾患	19	57.9%	15.8%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	10.5%	26.3%	5.3%	5.3%	0.0%	31.6%	0.0%	10.5%	5.3%
	がん・腫瘍	19	21.1%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	21.1%	0.0%	26.3%	0.0%	15.8%	10.5%	0.0%	0.0%	15.8%	15.8%
その他	91	44.0%	13.2%	12.1%	7.7%	3.3%	9.9%	4.4%	16.5%	2.2%	9.9%	5.5%	18.7%	0.0%	3.3%	5.5%	
わからない・答えたくない	58	32.8%	6.9%	5.2%	10.3%	0.0%	5.2%	1.7%	3.4%	3.4%	5.2%	3.4%	13.8%	0.0%	0.0%	46.6%	

3. 2021年10月以降に通院を抑制したことによる体調の変化(持病あり群)

「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)に通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた持病あり群の回答者616人に対して通院を抑制したことによる体調の変化を聞いたところ、「特に体調が悪くなったとは感じない」が60.9%で最も多く、次いで「わからない」が18.0%の順だった。

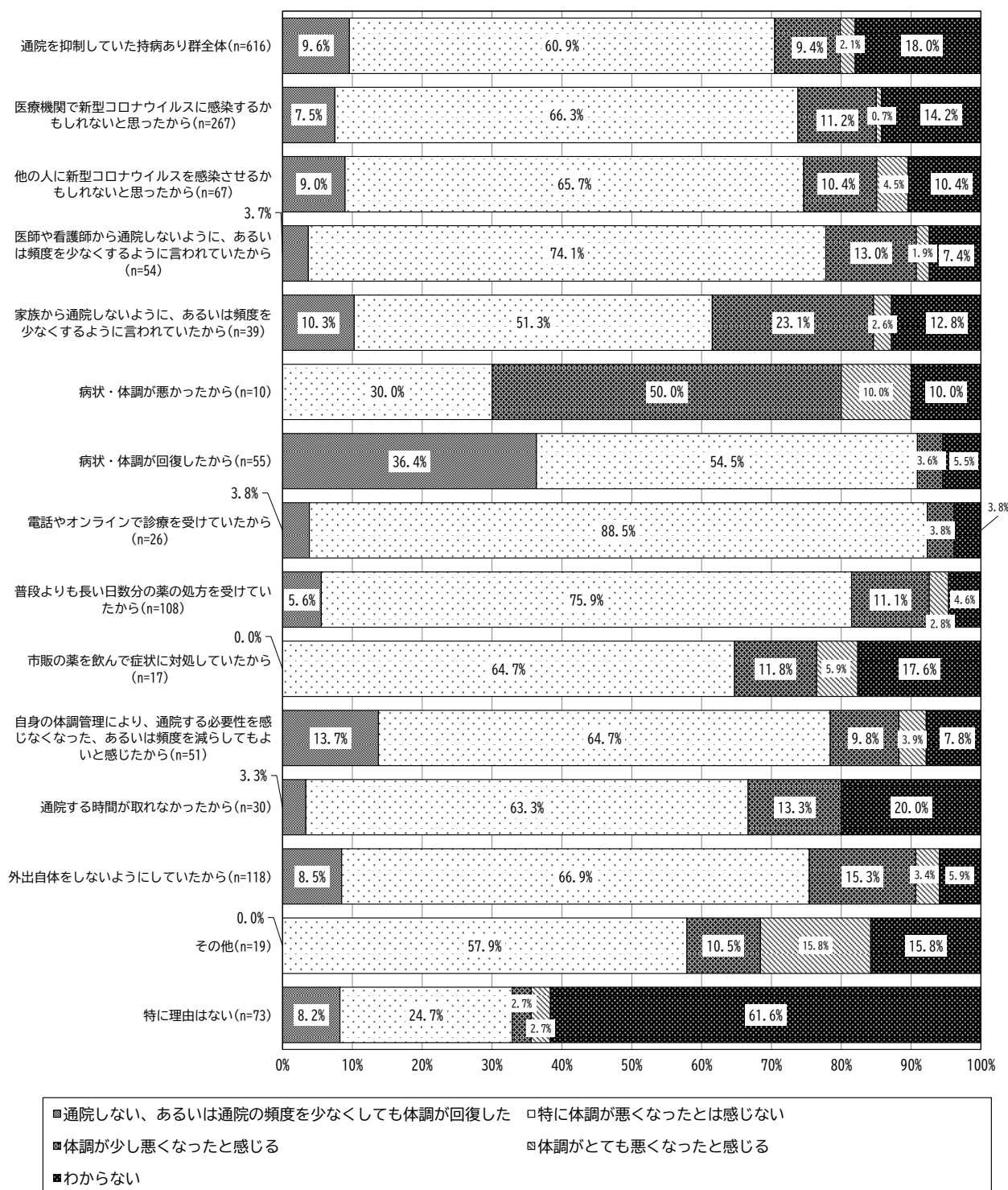
当該回答者全体の回答割合が最も高かった「特に体調が悪くなったとは感じない」の内訳を定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「糖尿病以外の内分泌代謝障害」が100.0%(6人中6人が該当)で最も多く、次いで「糖尿病」が78.9%、「高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患」が72.2%の順だった。

図表 54 2021年10月以降に通院を抑制したことによる体調の変化(持病あり群、原因疾患別)



当該回答者全体の回答割合が最も高かった「特に体調が悪くなったとは感じない」の内訳を定期的な通院を抑制していた理由別にみると、「電話やオンラインで診療を受けていたから」が 88.5%で最も多く、次いで「普段よりも長い日数分の薬の処方を受けていたから」が 75.9%、「医師や看護師から通院しないように、あるいは頻度を少なくするように言われていたから」が 74.1%の順だった。

図表 55 2021 年 10 月以降に通院を抑制したことによる体調の変化
(持病あり群、通院を抑制した理由別)



4. 2021年10月以降の通院方法(持病あり群)

持病あり群の回答者における、「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)における通院方法を聞いたところ、「電話を利用して、医師の診療を受けた(以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む)」が4.3%、「インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた(以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む)」が2.0%、「普段とは異なる医療機関に通院していた」が6.2%、「上記に当てはまるものはない」が87.9%だった。

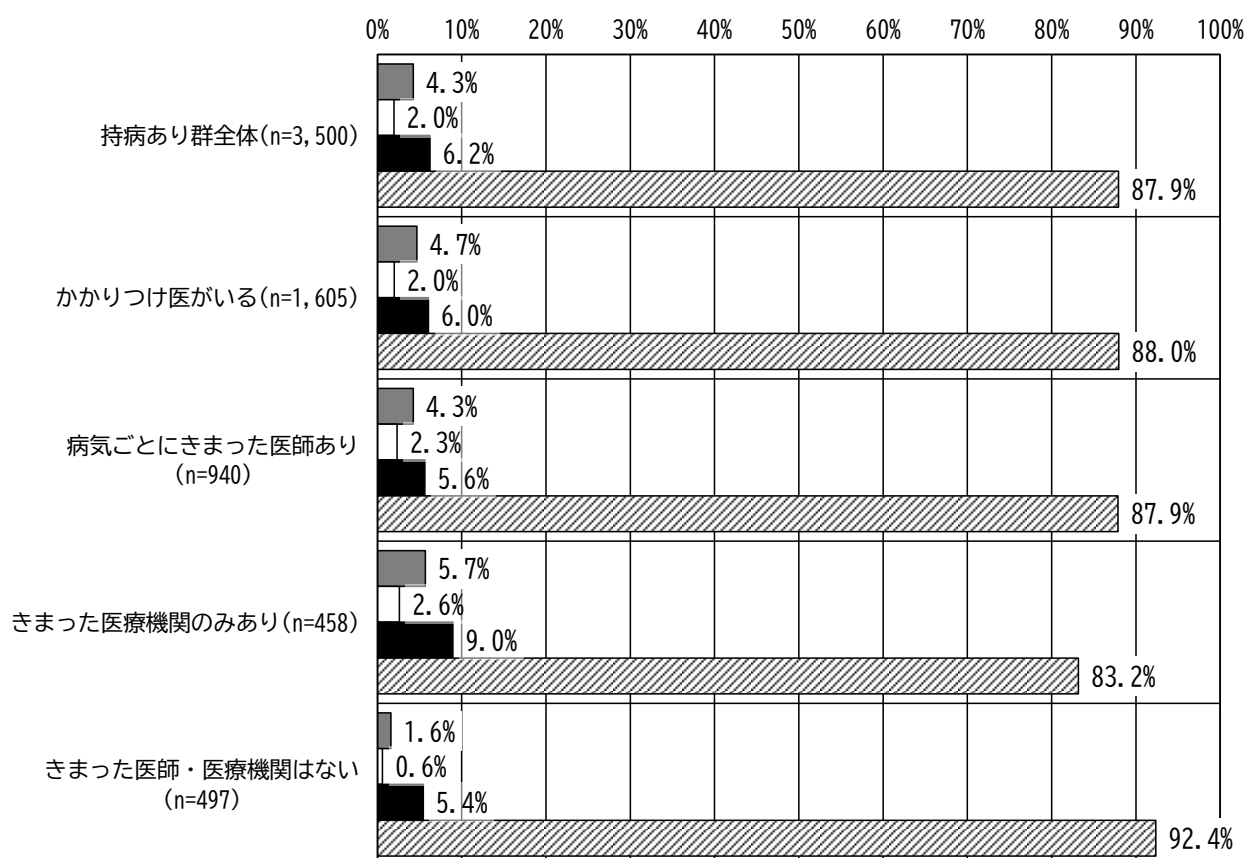
また、定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「電話を利用して、医師の診療を受けた」、「インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた」、「普段とは異なる医療機関に通院していた」のいずれも「片頭痛」が最も多く、12.8%を占めていた。

図表 56 2021年10月以降の通院方法(持病あり群、原因疾患別)

	回答者数	通院方法				
		電話を利用して、医師の診療を受けた(以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む)	インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた(以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む)	普段とは異なる医療機関に通院していた	上記に当てはまるものはない	
持病あり群全体	3,500	4.3%	2.0%	6.2%	87.9%	
定期的な通院を行っていた疾患	高血圧症	1,106	4.7%	1.5%	6.8%	87.4%
	脂質異常症(コレステロール値、中性脂肪値の異常など)	727	4.0%	1.4%	6.2%	88.7%
	高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患(不整脈など)	161	7.5%	6.2%	7.5%	82.0%
	花粉症	375	8.5%	3.2%	8.8%	80.5%
	花粉症以外のアレルギー系の疾患	131	9.2%	6.9%	7.6%	80.9%
	気管支喘息	143	6.3%	6.3%	6.3%	82.5%
	気管支喘息以外の呼吸器系の疾患(肺炎など)	44	2.3%	4.5%	4.5%	90.9%
	アトピー性皮膚炎	120	5.0%	8.3%	4.2%	85.0%
	アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患(皮膚乾燥症など)	105	8.6%	6.7%	5.7%	81.9%
	消化器系の疾患(胃炎など)	238	5.0%	3.4%	7.1%	86.1%
	泌尿・生殖器系の疾患(尿路結石、腎炎など)	146	6.2%	1.4%	5.5%	87.0%
	糖尿病	384	3.6%	1.8%	6.3%	89.1%
	糖尿病以外の内分泌代謝障害(パセドウ病など)	42	2.4%	2.4%	2.4%	92.9%
	筋骨格系の疾患(関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど)	191	4.2%	0.0%	7.9%	88.0%
	眼科系の疾患	410	4.4%	1.7%	6.8%	87.6%
	婦人科系の疾患	207	5.8%	5.3%	7.2%	82.1%
	偏頭痛	94	12.8%	12.8%	12.8%	69.1%
	偏頭痛以外の精神・神経系の疾患	113	3.5%	2.7%	3.5%	90.3%
	がん・腫瘍	157	1.3%	0.6%	7.6%	91.1%
	その他	530	2.1%	0.6%	4.7%	92.6%
わからない・答えたくない	193	6.7%	0.5%	6.7%	86.0%	

さらに、「かかりつけ医」の有無別にみると、「電話を利用して、医師の診療を受けた」、「インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた」、「普段とは異なる医療機関に通院していた」のいずれも「きまった医療機関のみあり」が最も多く、これらの回答割合は2.6%~9.0%を占めていた。

図表 57 2021年10月以降の通院方法（持病あり群、「かかりつけ医」の有無別）



- 電話を利用して、医師の診療を受けた（以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む）
- インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた（以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む）
- 普段とは異なる医療機関に通院していた
- 上記に当てはまるものはない

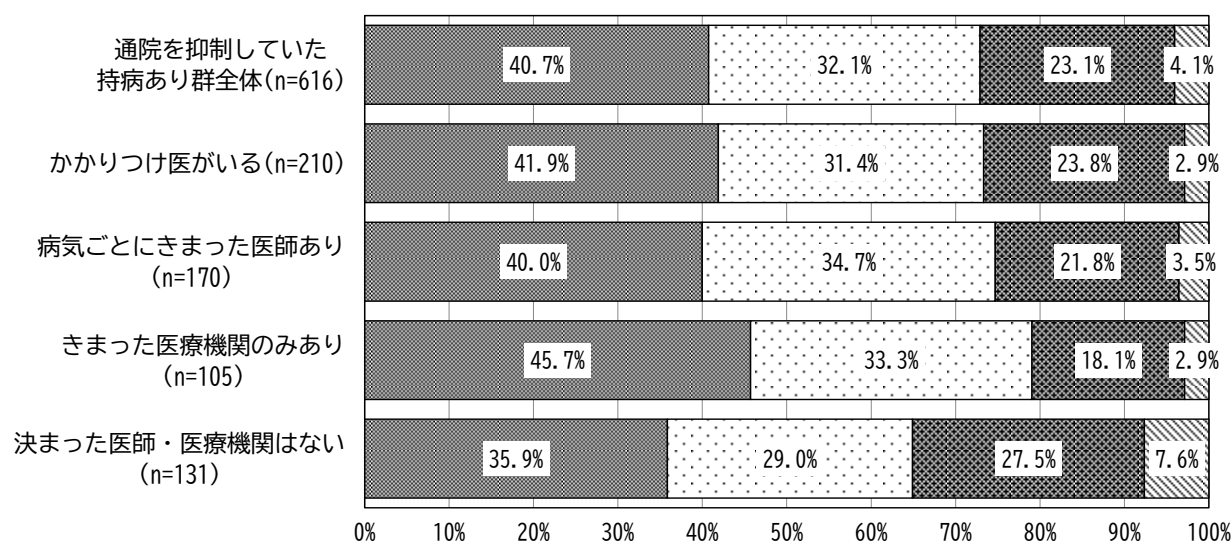
5. 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院・受診に関する考え

(1) 持病あり群による今後の通院に関する考え

「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)に通院する頻度を少なくしていた、あるいは通院するのをやめていた持病あり群の回答者616人に対して今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院に関する考えを聞いたところ、「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい」が40.7%で最も多く、次いで「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい」が32.1%、「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)の通院頻度に戻したい」が23.1%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい」の内訳を新型かかりつけ医の有無別にみると、「決まった医療機関のみあり」が45.7%で最も多く、次いで「かかりつけ医がいる」が41.9%の順だった。

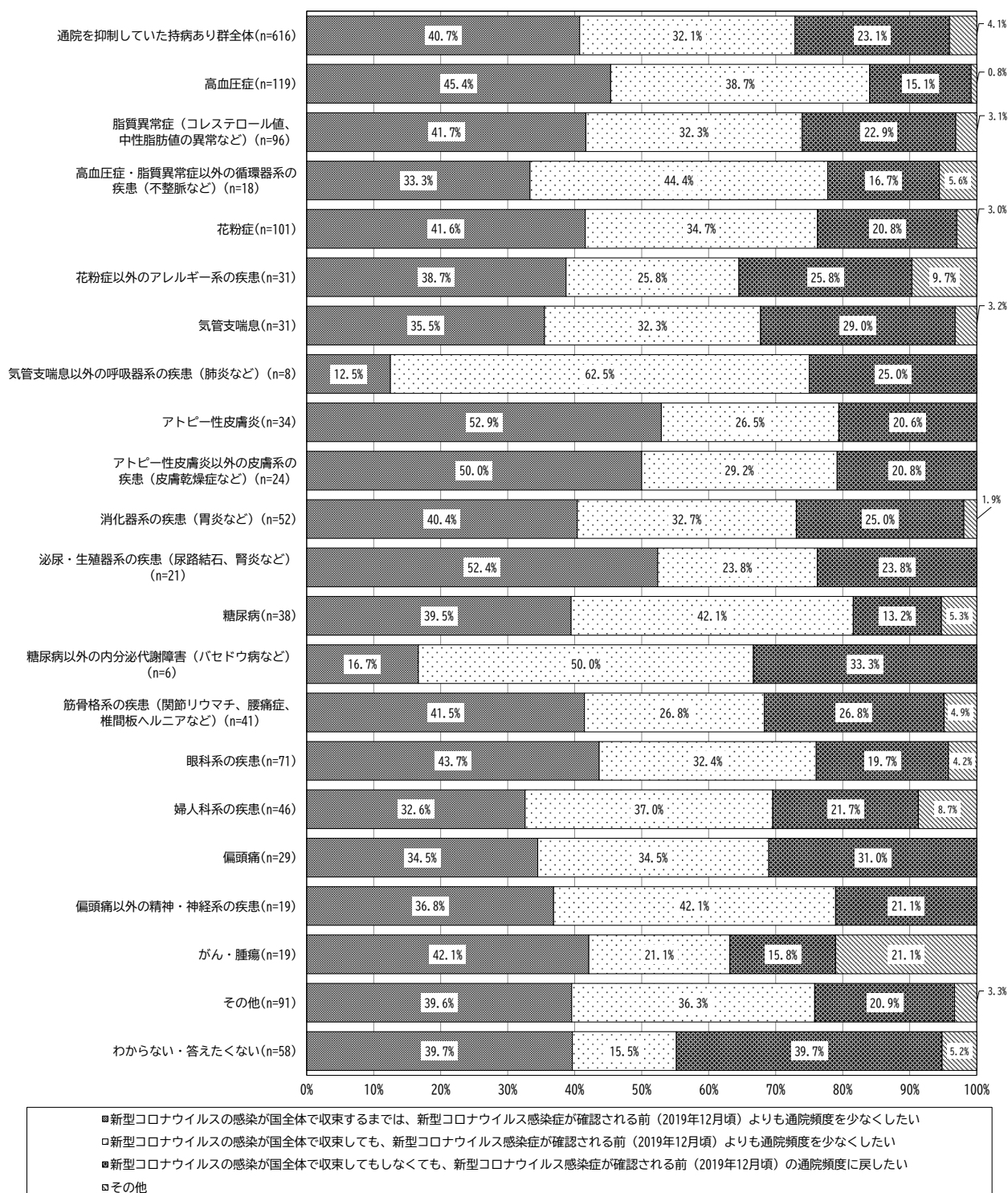
図表 58 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院に関する考え
(持病あり群・「かかりつけ医」の有無別)



- 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい
- 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい
- 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)の通院頻度に戻したい
- その他

回答者全体の回答割合が最も高かった「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも通院頻度を少なくしたい」の内訳を定期的な通院を行っていた原因疾患別にみると、「アトピー性皮膚炎」が52.9%で最も多く、次いで「泌尿・生殖器系の疾患」が52.4%、「アトピー性皮膚炎以外の皮膚炎の疾患」が50.0%の順だった。

図表 59 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた通院に関する考え
(持病あり群・原因疾患別)

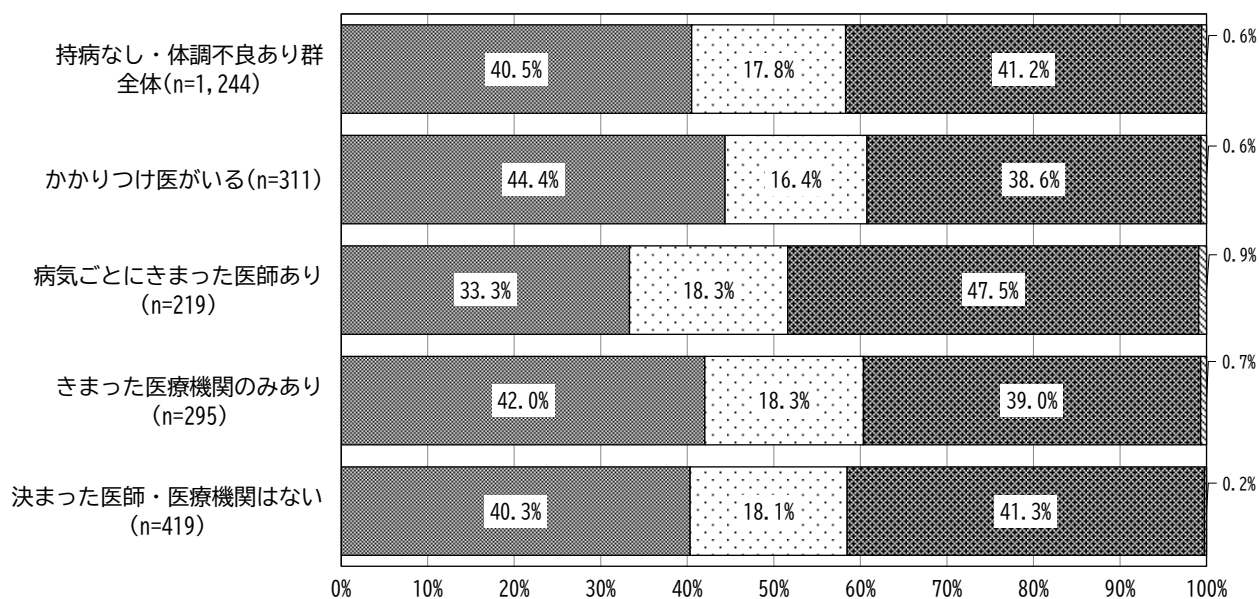


(2)持病なし・体調不良あり群による今後の医療機関の受診に関する考え

持病なし・体調不良あり群の回答者に対して、今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた受診に関する考えを聞いたところ、「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と同様に受診するか否かを判断したい」が41.2%で最も多く、「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい」が40.5%、「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい」が17.8%の順だった。

回答者全体の回答割合が最も高かった「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と同様に受診するか否かを判断したい」の内訳をかかりつけ医の有無別にみると、「病気ごとにきまった医師あり」が47.5%で最も多く、次いで「きまった医師・医療機関はない」が41.3%の順だった。

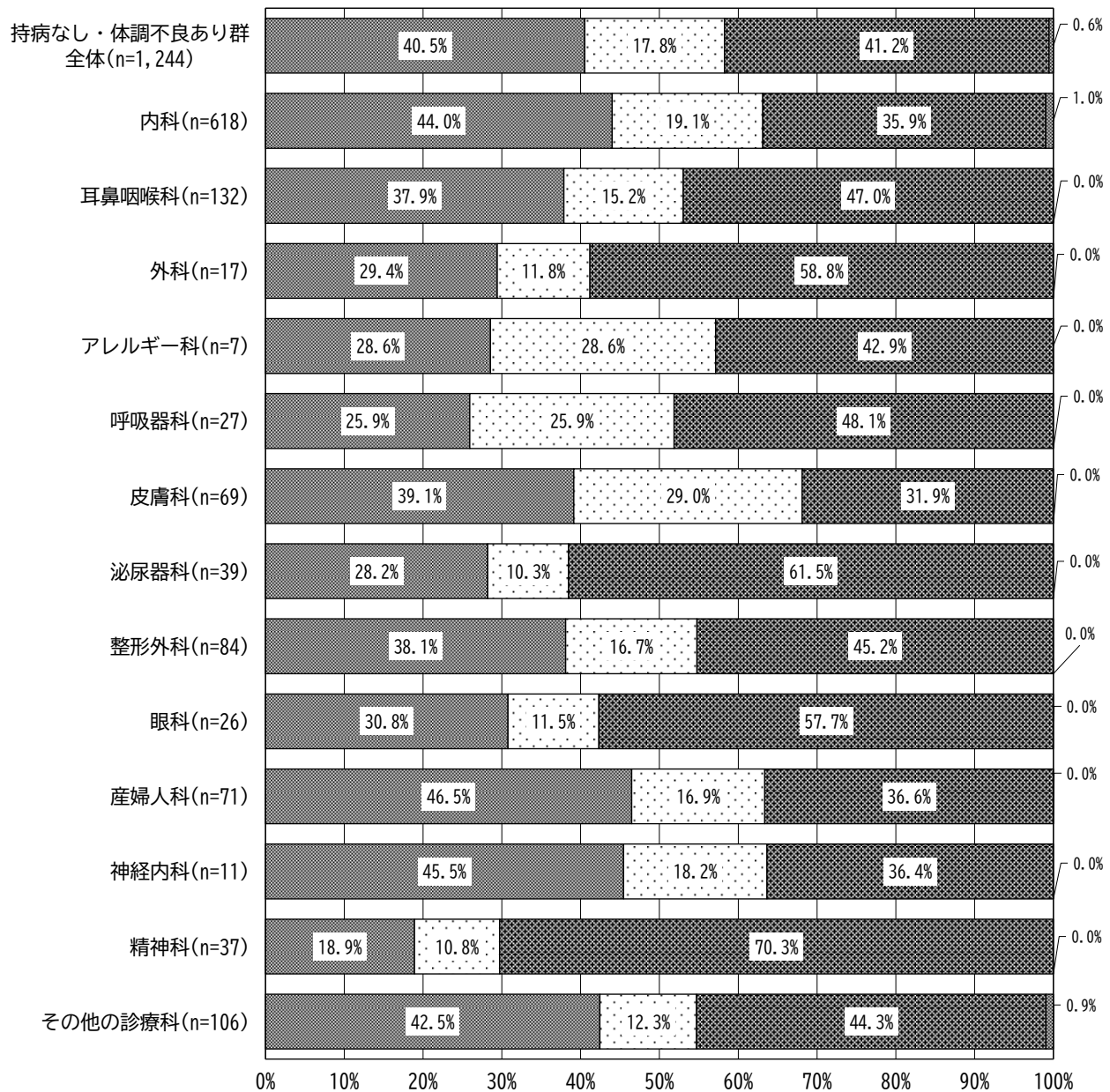
図表 60 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた受診に関する考え
(持病なし群、かかりつけ医の有無別)



- 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい
- 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい
- ▣新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と同様に受診するか否かを判断したい
- その他

当該回答者全体の回答割合が最も高かった「新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と同様に受診するか否かを判断したい」の内訳を受診を検討した診療科別にみると、「精神科」が70.3%で最も多く、次いで「泌尿器科」が61.5%、「外科」が58.8%の順だった。

図表 61 今後の新型コロナウイルスの感染状況に応じた受診に関する考え
(持病なし群、受診を検討した診療科別)



■新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい
□新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)よりも慎重に受診するか否かを判断したい
■新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)と同様に受診するか否かを判断したい
■その他

第7章 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした意識・行動の変化

1. 新型コロナウイルスの感染拡大防止のために特に必要と感じている対策

新型コロナウイルス感染拡大防止のために特に必要と感じている対策を聞いたところ、持病あり群では「マスクや手洗いなどの個人の予防対策」が 91.2%で最も多く、次いで「緊急事態宣言による外出自粛要請などの国の施策」が 29.9%、「新型コロナウイルスに感染した重症患者を受け入れる入院の医療提供体制の確保」が 29.1%の順だった。

一方、持病なし・体調不良あり群も同様の傾向がみられ、「マスクや手洗いなどの個人の予防対策」が 91.9%で最も多く、次いで「緊急事態宣言による外出自粛要請などの国の施策」が 31.0%、「新型コロナウイルスに感染した重症患者を受け入れる入院の医療提供体制の確保」が 30.5%の順だった。

図表 62 新型コロナウイルス感染拡大防止のために特に必要と感じている対策【上位3つ迄】（群別）

特に必要と考えている対策	全体 (n=4,744)	持病あり群 (n=3,500)	持病なし・体調不良あり群 (n=1,244)
マスクや手洗いなどの個人の予防対策	91.4%	91.2%	91.9%
緊急事態宣言による外出自粛要請などの国の施策	30.2%	29.9%	31.0%
時差通勤や在宅勤務などの各企業の取り組み	18.7%	16.0%	26.2%
健康保険制度により、低額で検査や治療が受けられること	15.2%	14.9%	15.9%
新型コロナウイルスに感染した重症患者を受け入れる入院の医療提供体制の確保	29.5%	29.1%	30.5%
身近な「かかりつけ医」による発熱外来などの外来の医療提供体制の充実	14.5%	15.2%	12.8%
感染しているかを調べる検査の実施拡大	23.0%	24.1%	20.1%
市区町村による新型コロナウイルスワクチン接種のより迅速な展開	22.3%	23.6%	18.6%
新型コロナウイルスワクチン接種証明書（ワクチンパスポート）の活用	8.3%	8.3%	8.0%
新型コロナウイルスワクチンの職域接種のさらなる活用	2.7%	2.6%	3.1%
新型コロナウイルスワクチンの接種方法に関する丁寧で分かりやすい情報の提供	4.4%	4.4%	4.6%
その他	1.0%	0.9%	1.4%
必要だと感じている者はない	1.0%	0.9%	1.4%

2. 新型コロナウイルス感染症対策のために強く意識して行ってきたこと

(1) 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底

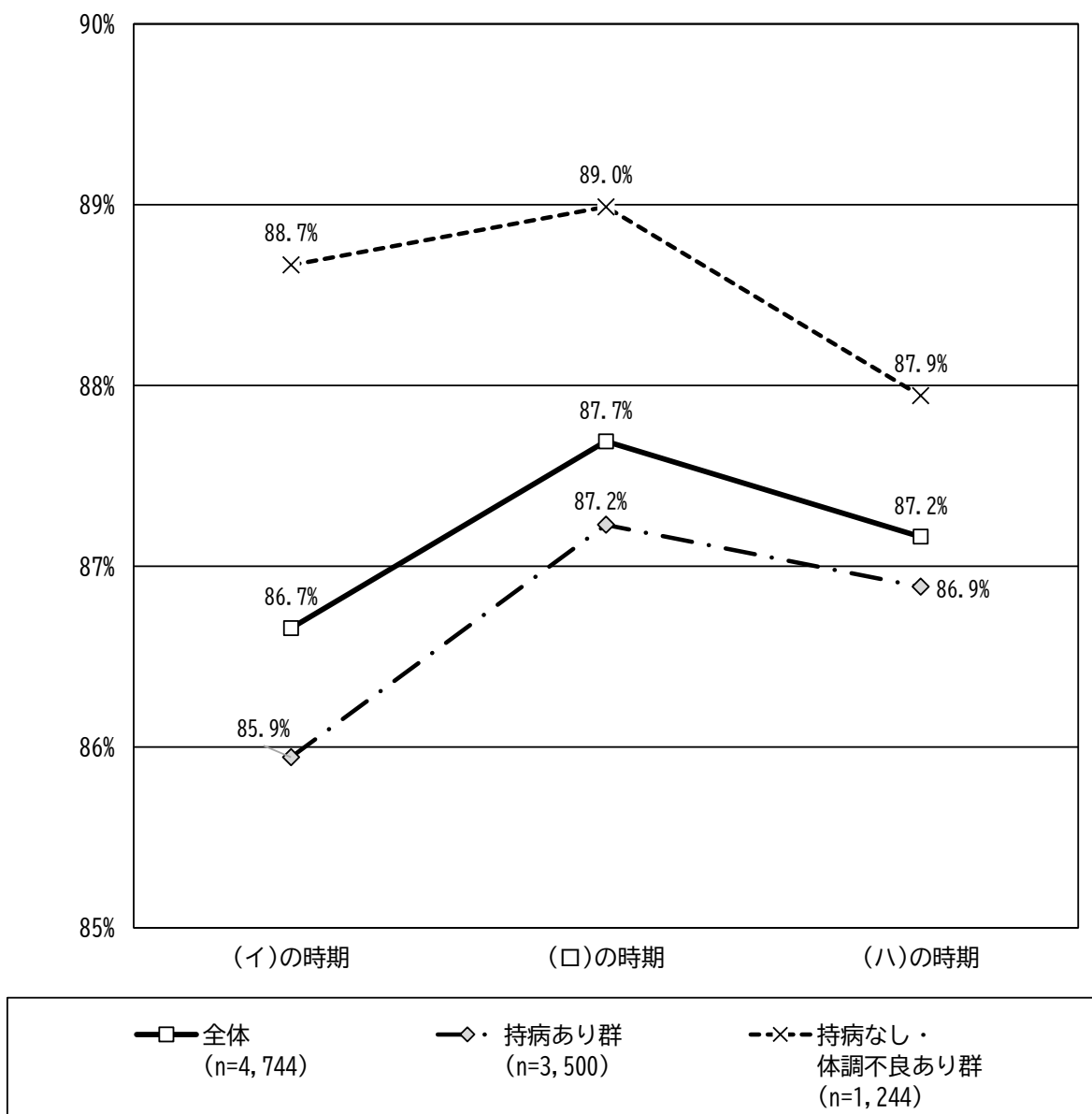
3 時点の回答割合の推移を群別にみると、持病あり群では「(イ)の時期」が 85.9%、「(ロ)の時期」が 87.2%で(イ)の時期より 1.3 ポイント増、「(ハ)の時期」が 86.9%で(ロ)の時期より 0.3 ポイント減少した。一方、持病なし・体調不良あり群では「(イ)の時期」が 88.7%、「(ロ)の時期」が 89.0%で(イ)の時期より 0.3 ポイント増、「(ハ)の時期」が 87.9%で(ロ)の時期より 1.1 ポイント減少した。

図表 63 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底（群別）

(イ)の時期: 新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期: 全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
 (「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月～9月)

(ハ)の時期: 「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)



(2)手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底

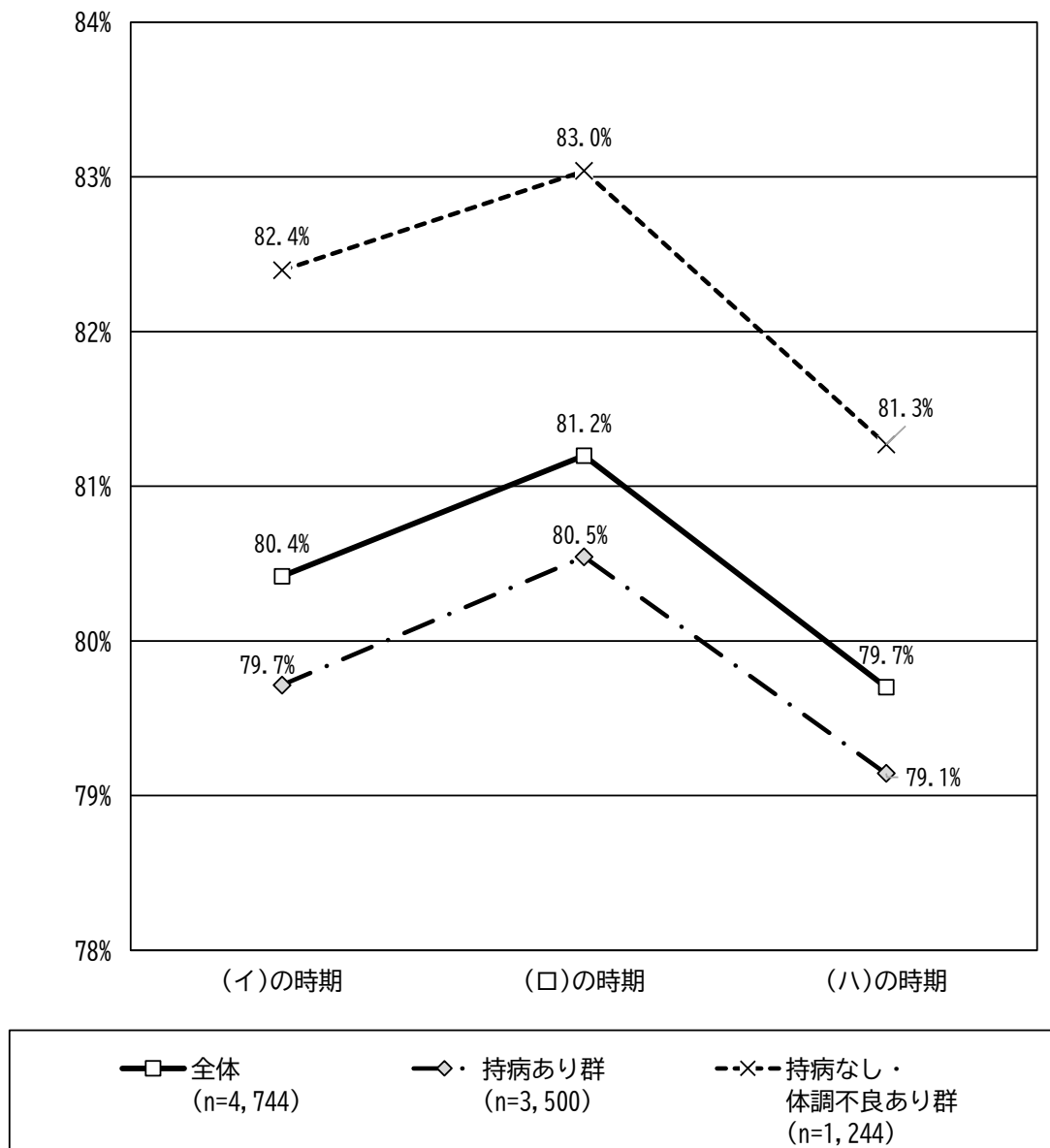
3 時点の回答割合の推移を群別にみると、持病あり群では「(イ)の時期」が 79.7%、「(ロ)の時期」が 80.5%で(イ)の時期より 0.8 ポイント増、「(ハ)の時期」が 79.1%で(ロ)の時期より 1.4 ポイント減少した。一方、持病なし・体調不良あり群では「(イ)の時期」が 82.4%、「(ロ)の時期」が 83.0%で(イ)の時期より 0.6 ポイント増加、「(ハ)の時期」が 81.3%で(ロ)の時期より 1.7 ポイント減少した。

図表 64 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底（群別）

(イ)の時期:新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期:全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
(「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月~9月)

(ハ)の時期:「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)



(3)テレワークやローテーション勤務の実施

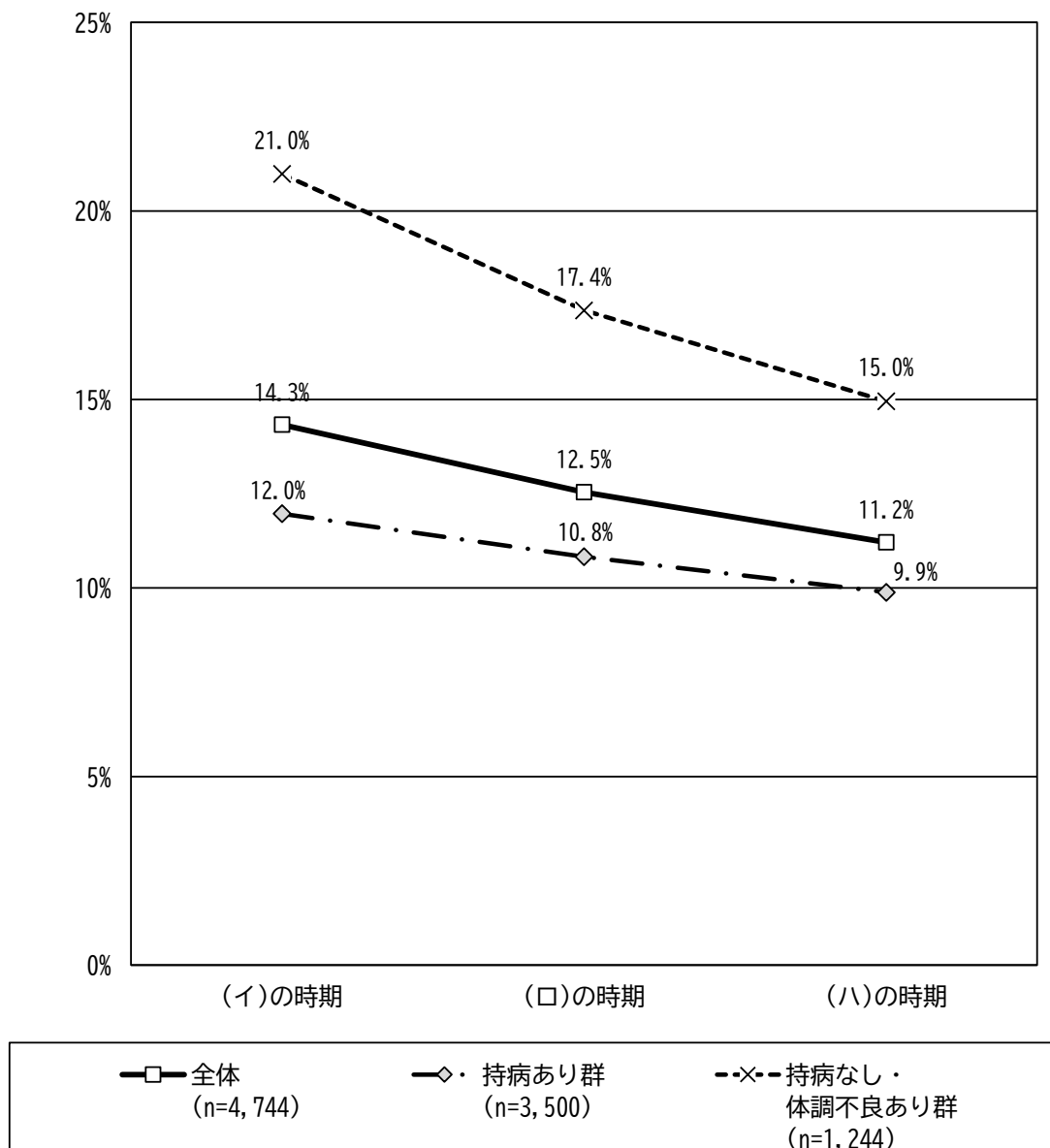
3 時点の回答割合の推移を群別にみると、持病あり群では「(イ)の時期」が 12.0%、「(ロ)の時期」が 10.8%で(イ)の時期より 1.2 ポイント減少、「(ハ)の時期」が 9.9%で(ロ)の時期より 0.9 ポイント減少した。一方、持病なし・体調不良あり群では「(イ)の時期」が 21.0%、「(ロ)の時期」が 17.4%で(イ)の時期より 3.6 ポイント減少、「(ハ)の時期」が 15.0%で(ロ)の時期より 2.4 ポイント減少した。

図表 65 テレワークやローテーション勤務の実施（群別）

(イ)の時期:新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期:全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
 (「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月~9月)

(ハ)の時期:「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)



(4)外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底

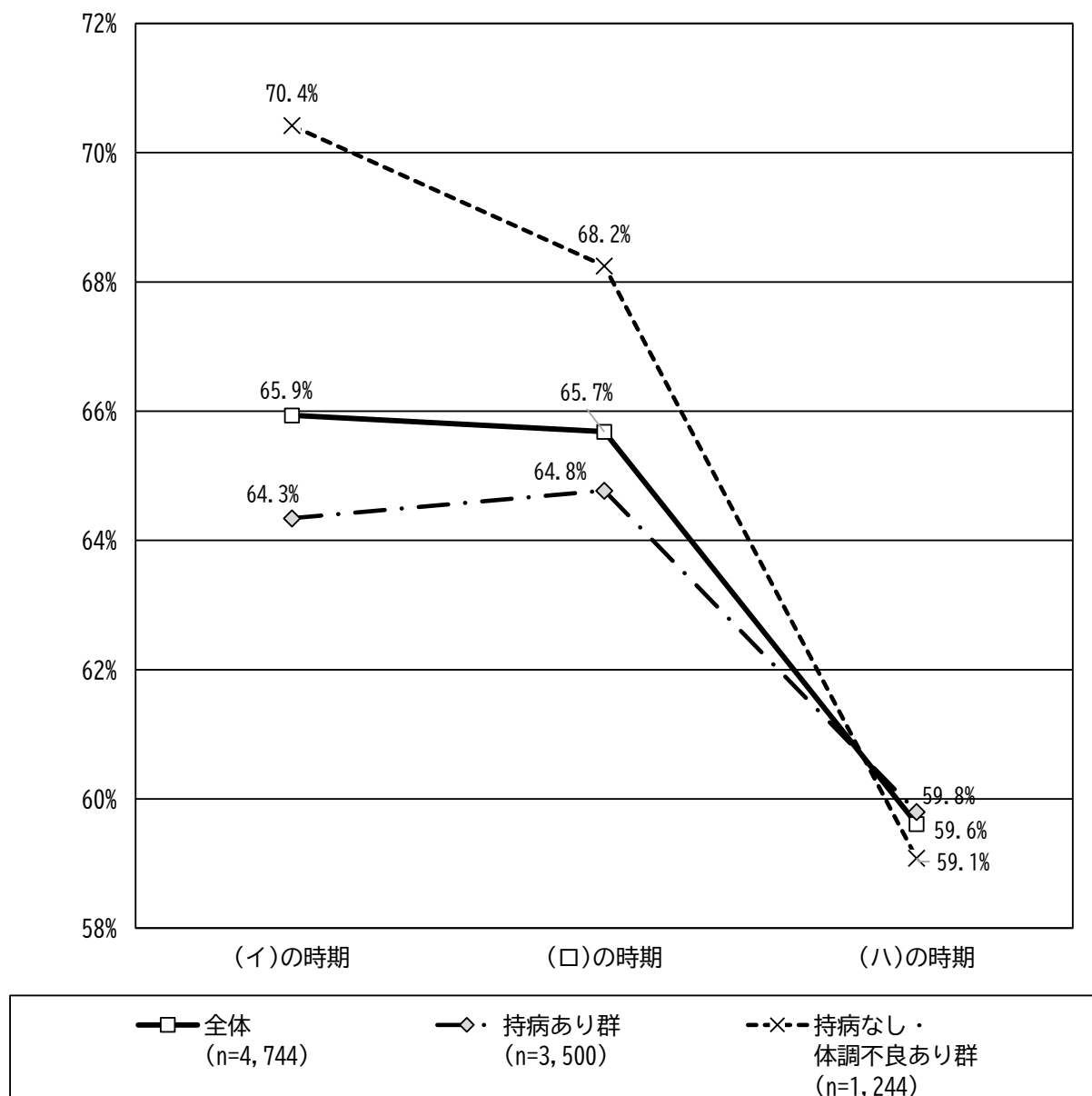
3 時点の回答割合の推移を群別にみると、持病あり群では「(イ)の時期」が 64.3%、「(ロ)の時期」が 64.8%で(イ)の時期より 0.5 ポイント増加、「(ハ)の時期」が 59.8%で(ロ)の時期より 5.0 ポイント減少した。一方、持病なし・体調不良あり群では「(イ)の時期」が 70.4%、「(ロ)の時期」が 68.2%で(イ)の時期より 2.2 ポイント減少、「(ハ)の時期」が 59.1%で(ロ)の時期より 9.1 ポイント減少した。

図表 66 外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底(群別)

(イ)の時期:新型コロナウイルス感染症が確認される前(2019年12月頃)

(ロ)の時期:全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期
(「第4波」、「第5波」)の感染拡大期(2021年5月~9月)

(ハ)の時期:「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)



3. 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化

新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化を聞いたところ、持病あり群では「以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う」が39.3%(前回調査比0.8ポイント増)で最も多く、次いで「特に意識は変わらないと思う」が36.2%(同4.0ポイント増)、「以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う」が32.9%(同1.0ポイント増)の順だった。

持病なし・体調不良あり群では「以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う」が39.6%(同1.9ポイント減)で最も多く、次いで「以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う」が33.8%(同2.7ポイント減)、「特に意識は変わらないと思う」が26.9%(同4.2ポイント増)の順だった。

このほか、「以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う」(持病あり=11.4%(同8.4ポイント減)、持病なし・体調不良あり=25.8%(同9.2ポイント減)、「以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けるなど、受診の機会を減らそうと考えることが増えると思う」(同=14.6%(同3.9ポイント減)、同=13.4%(同3.6ポイント減))などの回答が目立った。

図表 67 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化（群別）

意識の変化内容	全体 (n=4,744)	持病あり群 (n=3,500)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=1,244)
以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う	39.4%	39.3%	39.6%
以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う	33.1%	32.9%	33.8%
以前に比べ、こまめに医療機関を受診しようとするようになると思う	7.2%	6.7%	8.6%
以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う	15.2%	11.4%	25.8%
以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けるなど、受診の頻度を減らそうと考えることが増えると思う	14.3%	14.6%	13.4%
以前に比べ、医療機関の受診にかえて、市販の薬を服用することが増えると思う	5.0%	3.6%	8.8%
オンラインでの受診を活用しようとすることが増えると思う	8.1%	7.3%	10.5%
オンラインを通じた薬の配送を活用しようとすることが増えると思う	5.4%	5.1%	6.5%
オンラインでの健康相談を活用しようとすることが増えると思う	4.5%	3.9%	6.1%
ドラッグストアなど、医療機関以外での健康相談を活用しようとすることが増えると思う	3.6%	2.7%	5.9%
その他	0.3%	0.2%	0.3%
特に意識は変わらないと思う	33.7%	36.2%	26.9%

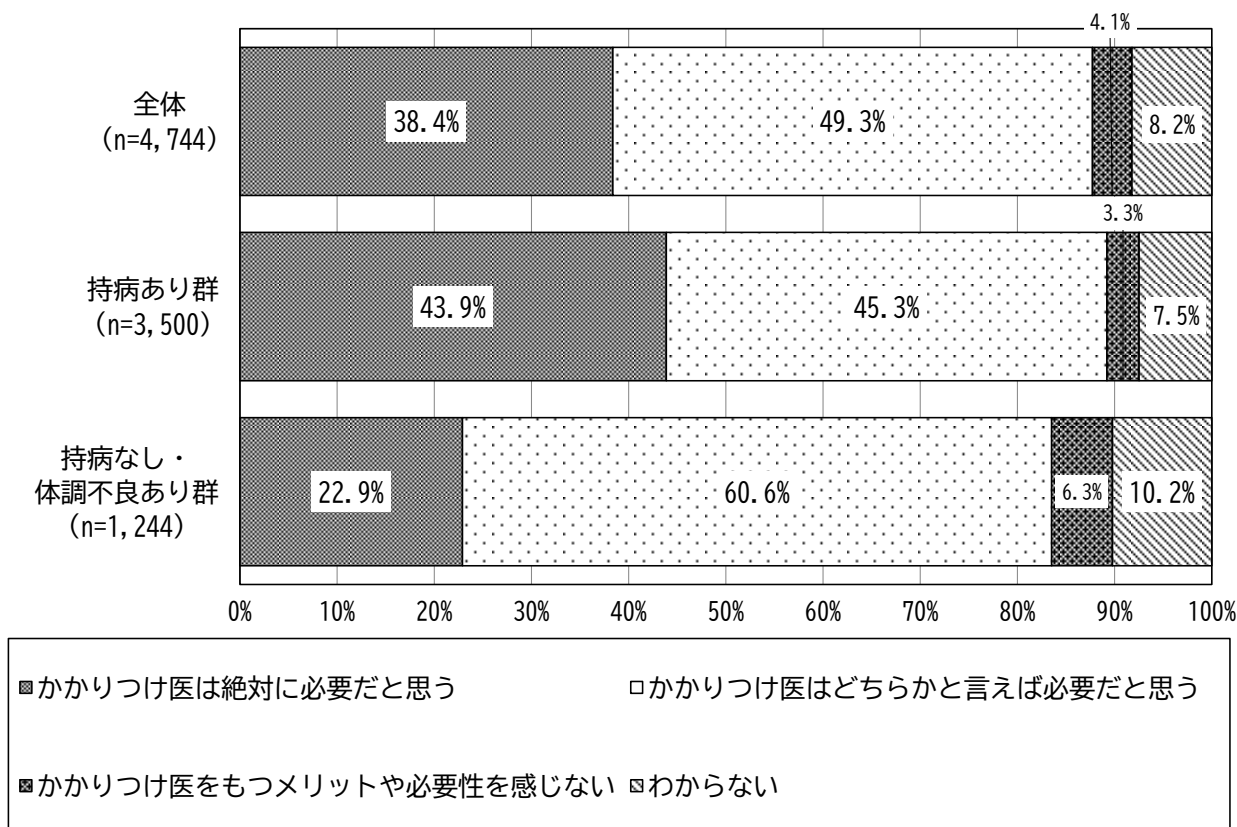
参考図表2 【前回調査】新型コロナウイルス感染拡大を契機とした病気や健康への意識の変化（群別）

意識の変化内容	全体 (n=4,623)	持病あり群 (n=3,500)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=1,123)
以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う	39.2%	38.5%	41.5%
以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う	33.0%	31.9%	36.5%
以前に比べ、こまめに医療機関を受診しようとするようになると思う	3.3%	3.0%	4.2%
以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う	23.5%	19.8%	35.0%
以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けて、受診の頻度を減らそうと考えることが増えると思う	18.1%	18.5%	17.0%
以前に比べ、医療機関の受診にかえて、市販の薬を服用することが増えると思う	4.7%	3.2%	9.5%
オンラインでの受診を活用しようとすることが増えると思う	12.0%	10.6%	16.4%
オンラインを通じた薬の配送を活用しようとすることが増えると思う	7.1%	6.4%	9.2%
オンラインでの健康相談を活用しようとすることが増えると思う	6.4%	5.5%	9.2%
ドラッグストアなど、医療機関以外での健康相談を活用しようとすることが増えると思う	4.7%	3.6%	7.8%
その他	0.4%	0.4%	0.4%
特に意識は変わらないと思う	29.9%	32.2%	22.7%

4. 新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化

回答者全体における新型コロナウイルス感染拡大を契機とした、「かかりつけ医」に対する意識の変化を聞いたところ、「かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う」が 49.3%で最も多く、次いで「かかりつけ医は絶対に必要だと思う」が 38.4%であり、全体の約 9 割が「かかりつけ医」の必要性を感じていることがわかった。

図表 68 新型コロナウイルス感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化（群別）



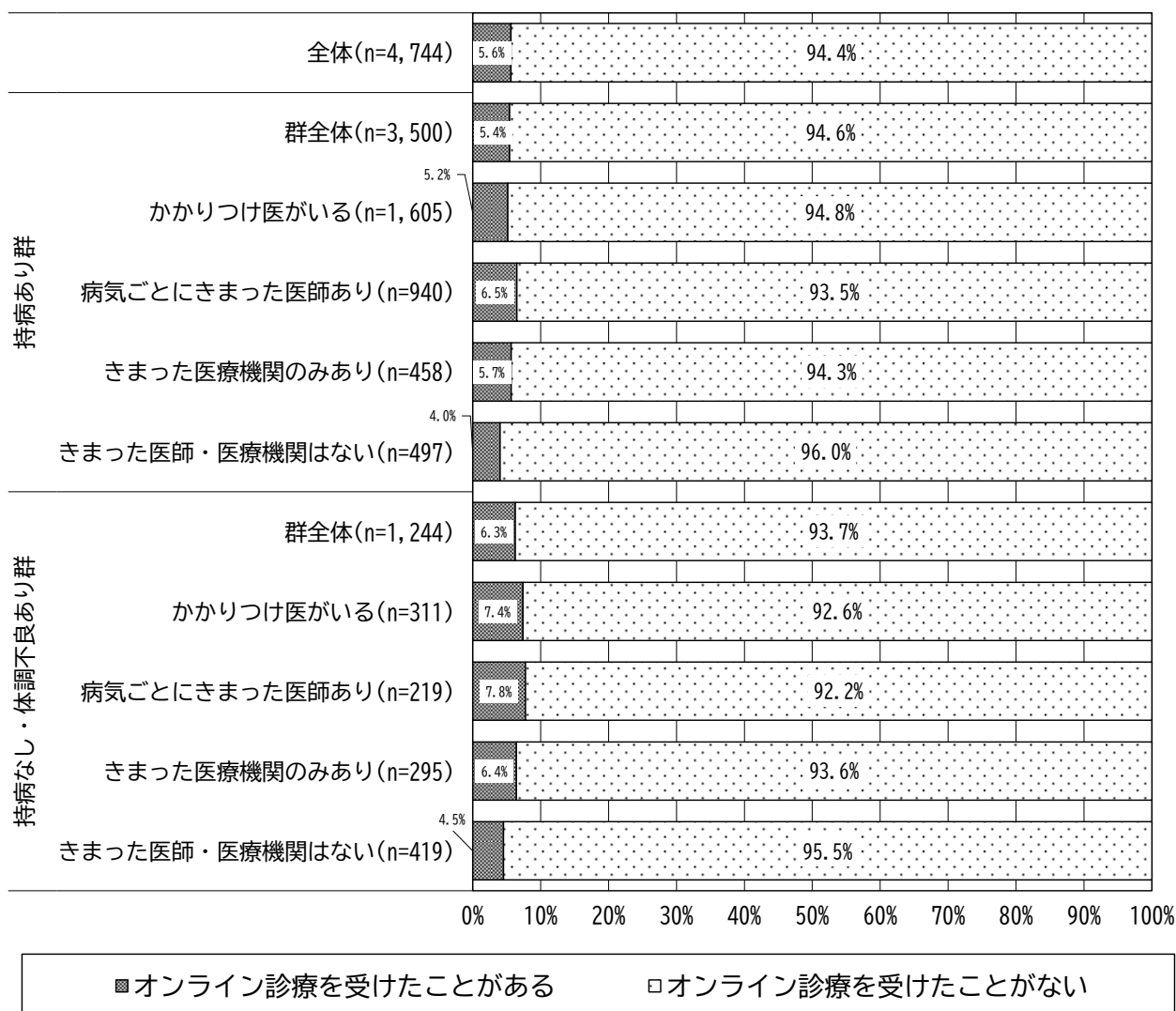
第8章 オンライン診療に関する意識

1. オンライン診療の受診経験の有無

回答者全体にインターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診察を受けたことがあるか聞いたところ、「オンライン診療を受けたことがある」は5.6%(前回調査比1.3ポイント増)だった。

「オンライン診療を受けたことがある」の回答割合を「かかりつけ医」の有無別にみると、持病あり群では「病気ごとにきまった医師あり」が6.5%(同0.5ポイント増)で最も多く、次いで「きまった医療機関のみあり」が5.7%(同0.6ポイント増)の順だった。また、持病なし・体調不良あり群では「病気ごとにきまった医師あり」が7.8%(同4.0ポイント増)で最も多く、次いで「かかりつけ医がいる」が7.4%(同4.0ポイント増)の順だった。

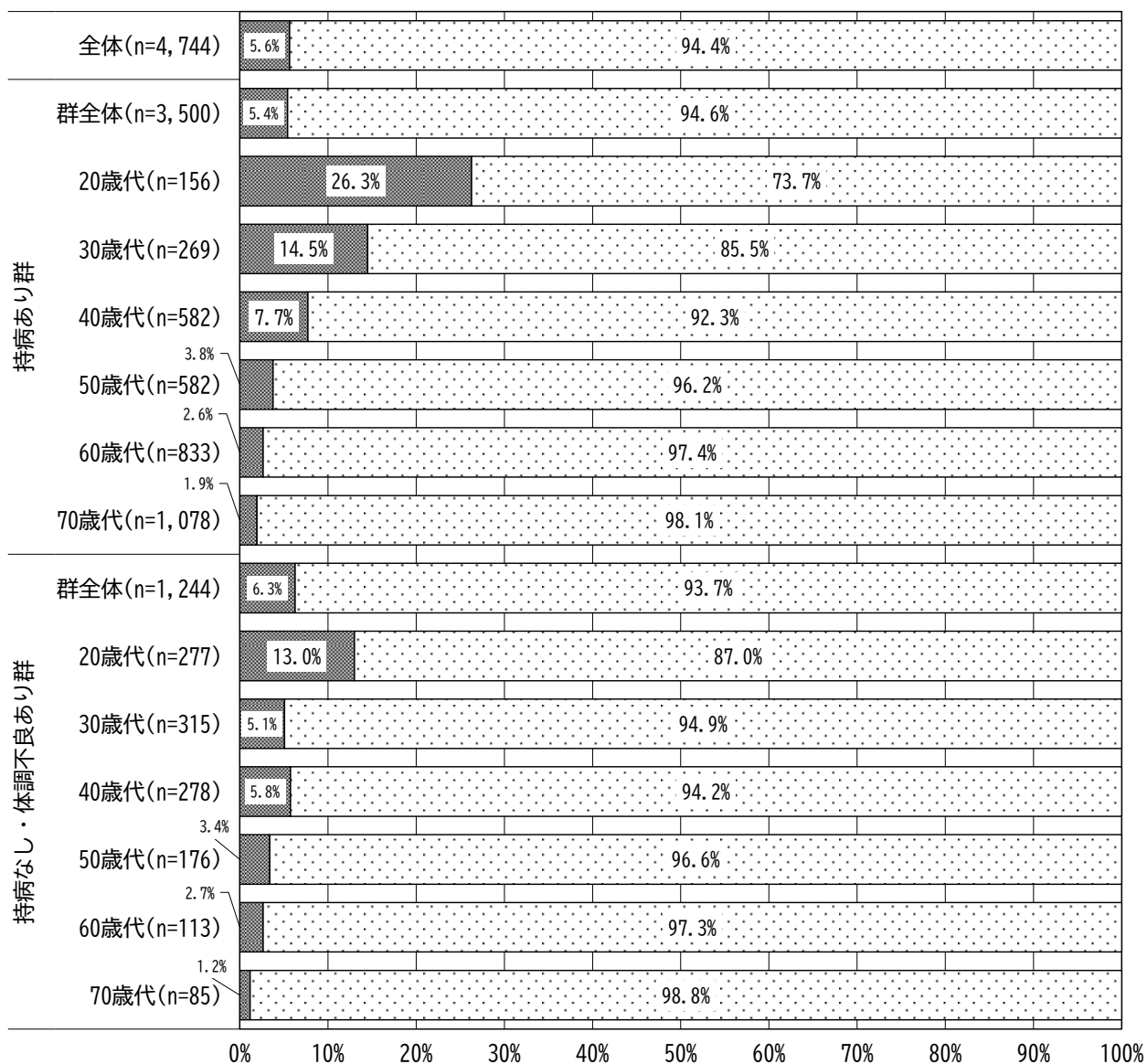
図表 69 「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・「かかりつけ医」の有無別)



「オンライン診療を受けたことがある」の回答割合を年齢階級別にみると、持病あり群では「20 歳代」が 26.3% (前回調査比 5.3 ポイント増) と最も多く、次いで「30 歳代」が 14.5% (同 5.8 ポイント増) となり、年齢階級が高くなるにつれて回答割合に減少傾向がみられた。

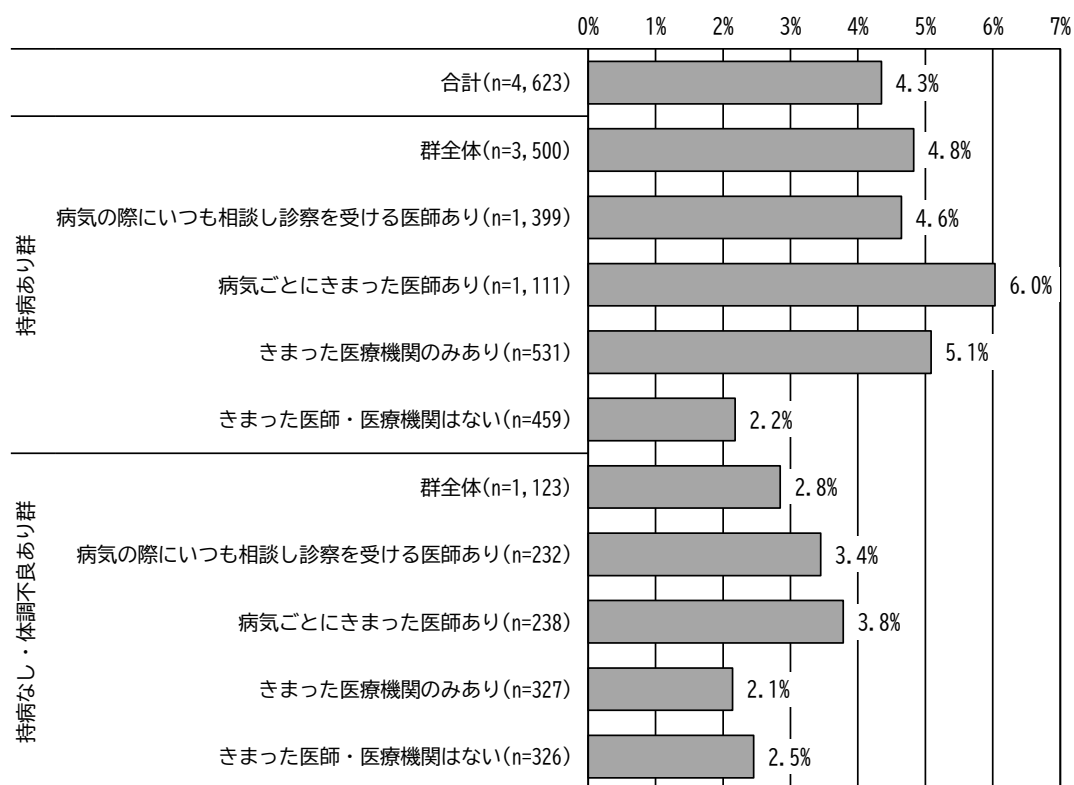
同様に、持病なし・体調不良あり群でも「20 歳代」が最も多く(13.0%、同 6.2 ポイント増)、「40 歳代」を除き、おおむね年齢階級が高くなるにつれて回答割合に減少傾向がみられた。

図表 70 「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合 (群別・年齢階級別)

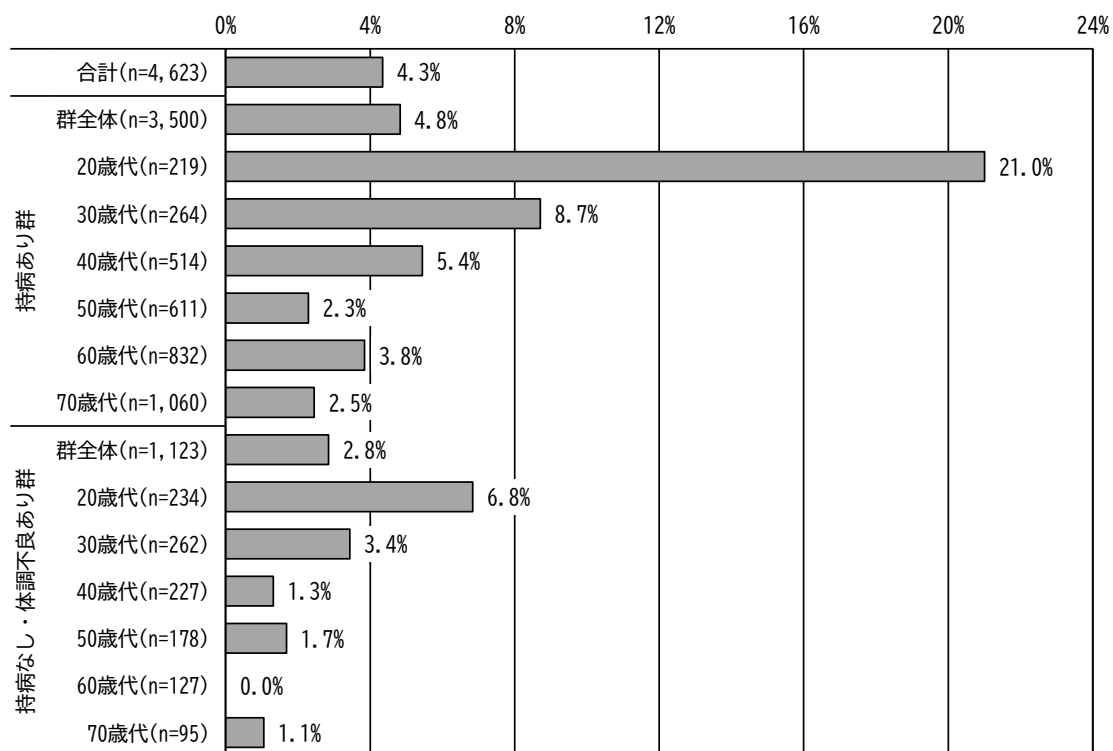


■ オンライン診療を受けたことがある □ オンライン診療を受けたことがない

参考図表3 【前回調査】「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・「かかりつけ医」の有無別)

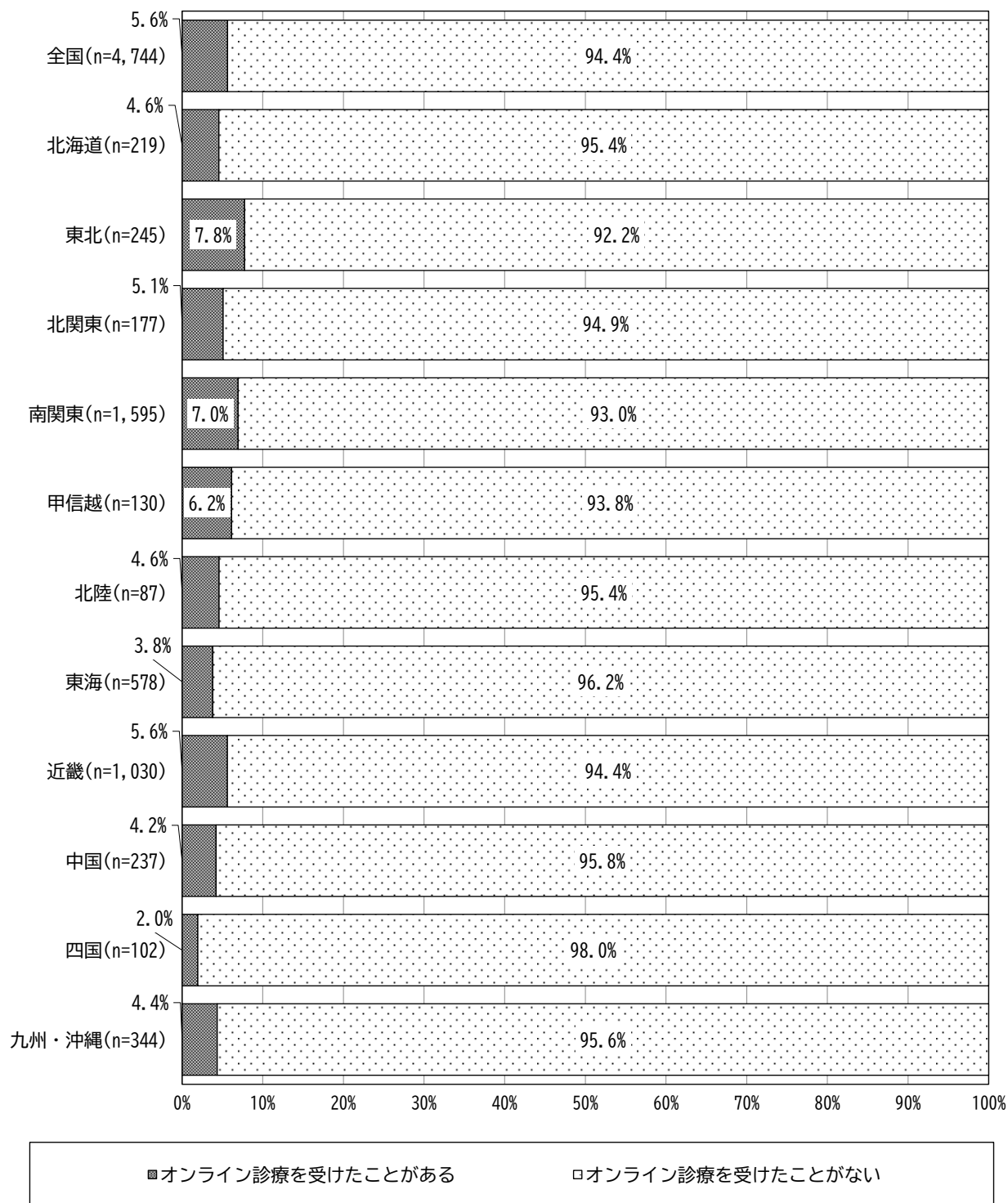


参考図表4 【前回調査】「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合
(群別・年齢階級別)



「オンライン診療を受けたことがある」の回答割合を回答者が住んでいる地方別にみると、「東北」が7.8%で最も多く、次いで「南関東」が7.0%の順だった。

図表 71 「オンラインで医師の診察を受けたことがある」との回答割合（地方別）



2. オンラインで医師の診察を受けたことがある診療科

オンラインで医師の診察を受けたことがある回答者 268 人(全体の 5.6%)に対してオンライン診療を受けた診療科を聞いたところ、持病あり群では「内科」が 46.8%で最も多く、次いで「アレルギー科」と「その他の診療科」がともに 12.6%、「皮膚科」が 11.6%の順だった。また、持病なし・体調不良あり群では「内科」が 47.4%で最も多く、次いで「産婦人科」が 17.9%、「耳鼻咽喉科」と「その他の診療科」が 7.7%の順だった。

図表 72 オンラインで医師の診察を受けたことがある診療科（群別）

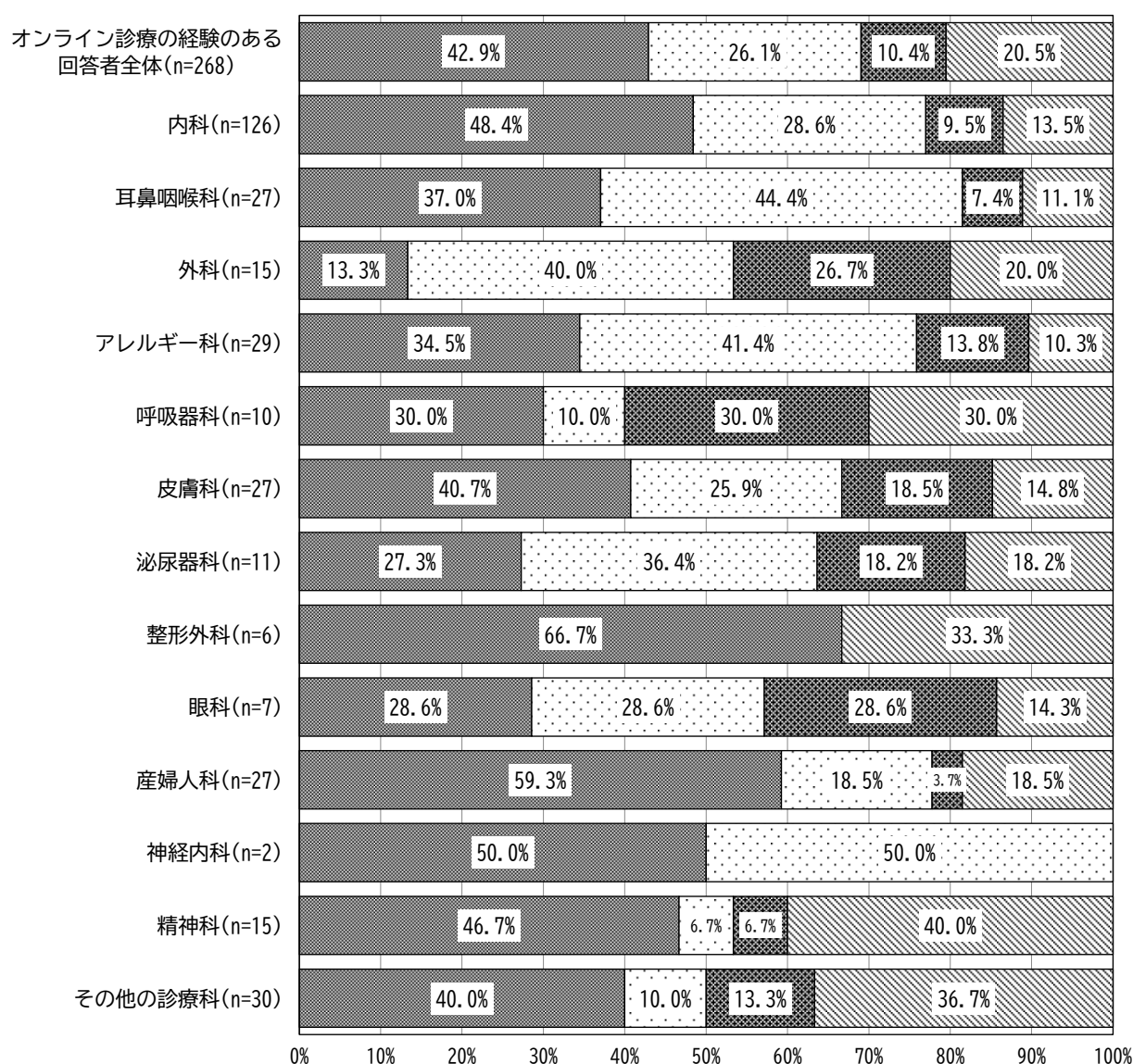
オンライン診療を受けた診療科	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=268)	持病あり群 (n=190)	持病なし・体調不良あり群 (n=78)
内科	47.0%	46.8%	47.4%
耳鼻咽喉科	10.1%	11.1%	7.7%
外科	5.6%	7.4%	1.3%
アレルギー科	10.8%	12.6%	6.4%
呼吸器科	3.7%	4.2%	2.6%
皮膚科	10.1%	11.6%	6.4%
泌尿器科	4.1%	4.7%	2.6%
整形外科	2.2%	2.1%	2.6%
眼科	2.6%	3.7%	0.0%
産婦人科	10.1%	6.8%	17.9%
神経内科	0.7%	1.1%	0.0%
精神科	5.6%	5.8%	5.1%
その他の診療科	11.2%	12.6%	7.7%

3. 初めてオンライン診療を受けた際の状況

オンラインで医師の診察を受けたことがある回答者 268 人に対して初めてオンライン診療を受けた際の状況を聞いたところ、「初めて受診する医療機関でオンライン診療を受けた」が 42.9%で最も多く、次いで「これまでに受診したことのある医療機関だったが、しばらく受診しておらず、初診でオンライン診療を受けた」が 26.1%の順だった。

最も回答割合が高かった「初めて受診する医療機関でオンライン診療を受けた」の内訳をオンラインで診療を受けた診療科別にみると、整形外科が 66.7%(6 人中 4 人)で最も多く、次いで「産婦人科」が 59.3%、「神経内科」が 50.0%(2 人中 1 人)の順だった。

図表 73 初めてオンライン診療を受けた際の状況（診療科別）



- 初めて受診する医療機関でオンライン診療を受けた
- これまでに受診したことのある医療機関だったが、しばらく受診しておらず、初診でオンライン診療を受けた
- これまでに受診したことのある医療機関で、普段と異なる症状での受診であったが、初診でオンライン診療を受けた
- 再診でオンライン診療を受けた

4. オンライン診療の受診に対する感想、考え

(1) オンライン診療を受けた経験のある回答者の考え







































オンラインで医師の診察を受けたことがある回答者 268 人(全体の 5.6%)に対してオンライン診療の受診に対する感想、考えを聞いたところ、持病あり群では「自宅で受診できるため、便利だと感じる」が 66.8%(前回調査比 23.0 ポイント増)で最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる」が 36.8%(同 0.7 ポイント増)、「自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ったと感じる」が 32.1%(同 1.9 ポイント増)の順だった。

同様に、持病なし・体調不良あり群も「自宅で受診できるため、便利だと感じる」が 62.8%(同 9.7 ポイント増)と最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる」が 34.6%(同 2.9 ポイント減)、「自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる」が 30.8%(同 12.0 ポイント増)などと続いた。

図表 74 オンライン診療を受けた経験のある回答者のオンライン診療に対する感想(群別)

意識の変化内容	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=268)	持病あり群 (n=190)	持病なし・体調不良あり群 (n=78)
自宅で受診できるため、便利だと感じる	65.7%	66.8%	62.8%
自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる	31.0%	31.1%	30.8%
自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ったと感じる	29.9%	32.1%	24.4%
医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる	36.2%	36.8%	34.6%
医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなったと感じる	25.4%	27.4%	20.5%
薬の受け取りに薬局に行ったため、通常の通院と利便性はさほど変わらないと感じる	7.5%	7.4%	7.7%
普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなったと感じる	7.5%	8.9%	3.8%
直接の対面でないため、十分な診察がされているか不安を感じる	18.3%	14.2%	28.2%
通信機器の状況が悪く、音声や画像が鮮明でないと感じる	4.5%	5.3%	2.6%
受診にあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	4.1%	4.7%	2.6%
診療費の支払いにあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	2.6%	3.7%	0.0%
その他	1.5%	1.1%	2.6%
特に感想はない	4.9%	5.3%	3.8%

参考図表5 【前回調査】オンライン診療を受けた経験のある回答者の
オンライン診療に対する感想（群別）

オンライン診療を受けた感想	オンライン診療の経験のある回答者全体 (n=201)	持病あり群 (n=169)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=32)
自宅で受診できるため、便利だと感じる	 45.3%	 43.8%	 53.1%
自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる	 20.4%	 20.7%	 18.8%
自宅で受診できるため、通院のための体力的な負担が減ったと感じる	 29.9%	 30.2%	 28.1%
医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる	 36.3%	 36.1%	 37.5%
医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなったと感じる	 25.9%	 24.9%	 31.3%
薬の受け取りに薬局に行ったため、通常の通院と利便性はさほど変わらないと感じる	 14.9%	 15.4%	 12.5%
普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなったと感じる	 10.9%	 11.2%	 9.4%
直接の対面でないため、十分な診察がされているか不安を感じる	 22.4%	 21.3%	 28.1%
通信機器の状況が悪く、音声や画像が鮮明でないと感じる	 7.0%	 6.5%	 9.4%
受診に当たり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	 7.0%	 7.1%	 6.3%
診療費の支払いに当たり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる	 2.5%	 3.0%	0.0%
その他	 1.0%	 0.6%	 3.1%
特に感想はない	 9.0%	 8.9%	 9.4%

(2) オンライン診療を受けた経験のない回答者の考え

オンラインで医師の診察を受けたことがない回答者 4,476 人に対してオンライン診療の受診に対する感想、考えを聞いたところ、持病あり群では「自宅で受診できるため、便利であると思う」が 43.7%で最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じると思う」が 38.1%、「直接の対面でないため、十分な診察が受けられるのかが不安に思う」が 37.3%の順だった。

一方、持病なし・体調不良あり群においても同様の傾向がみられ、「自宅で受診できるため、便利であると思う」が 59.6%で最も多く、次いで「医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じると思う」が 49.3%、「直接の対面でないため、十分な診察が受けられるのかが不安に思う」が 48.5%の順だった。

図表 75 オンライン診療を受けた経験のない回答者のオンライン診療に対する感想（群別）

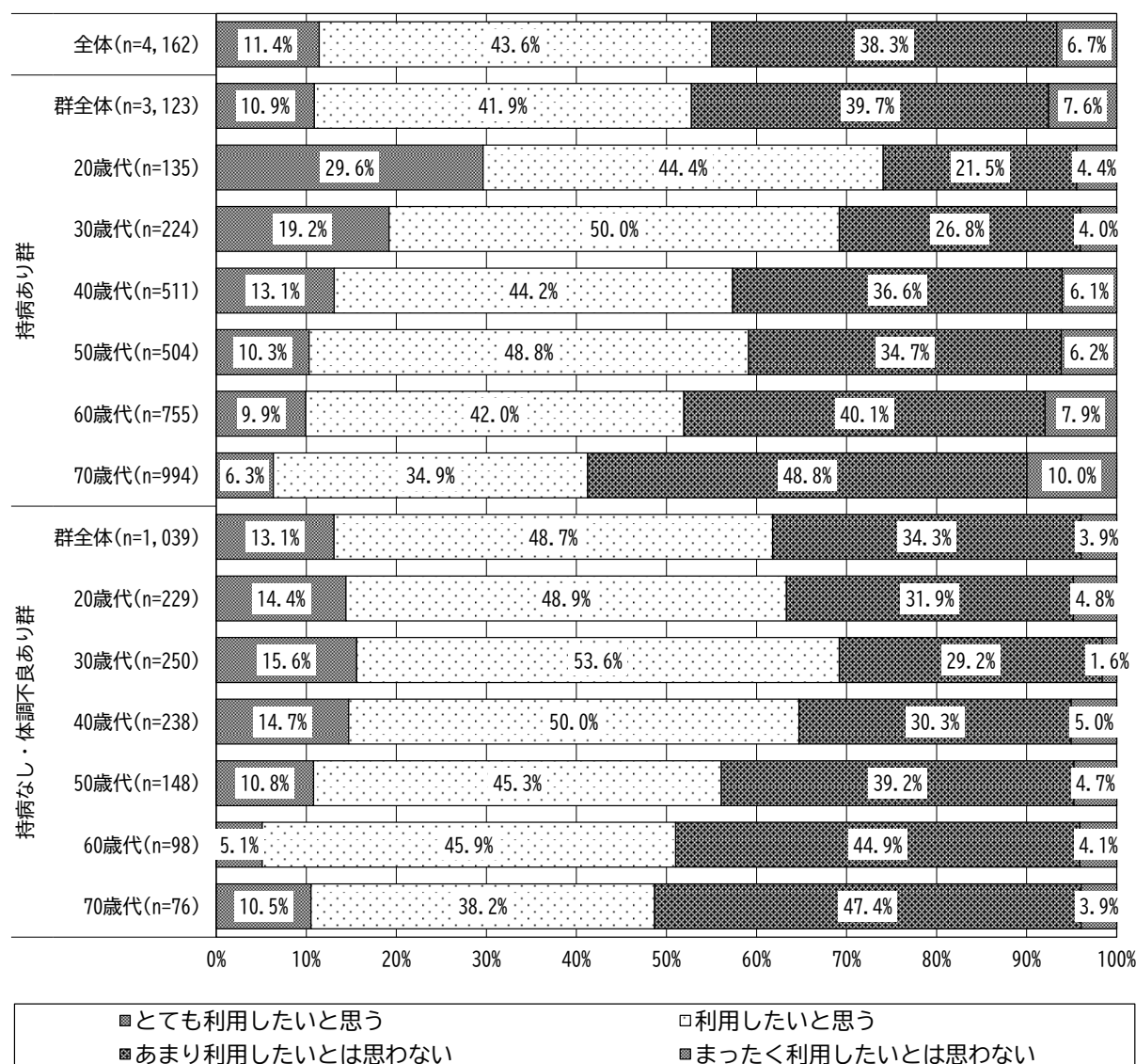
意識の変化内容	オンライン診療の 経験のない回答者 全体 (n=4,476)	持病あり群 (n=3,310)	持病なし・ 体調不良あり群 (n=1,166)
自宅で受診できるため、便利であると思う	47.8%	43.7%	59.6%
自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになると思う	23.8%	21.6%	30.0%
自宅で受診できるため、通院のための体力的な負担が減ると思う	27.1%	24.3%	35.3%
医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じると思う	41.0%	38.1%	49.3%
医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなると思う	31.7%	29.6%	37.7%
薬の受け取りに薬局に行く必要があるのならば、通常 の通院と利便性はさほど変わらないと思う	18.2%	19.8%	13.7%
普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活 状況の説明がしやすくなると思う	4.9%	4.8%	5.0%
直接の対面でないため、十分な診察が受けられるの かが不安に思う	40.2%	37.3%	48.5%
通信機器の状況によっては、音声や画像が鮮明に伝わ らないのではないかと不安に思う	16.9%	15.0%	22.4%
通信機器の設定や操作に手間取ると思う	17.1%	17.1%	17.1%
オンライン診療のイメージがわからない	18.9%	20.8%	13.6%
その他	1.0%	1.0%	0.8%

5. 「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向

「かかりつけ医」を必要と考えている回答者(本報告書第7章の4「新型コロナウイルスの感染拡大を契機とした「かかりつけ医」に対する意識の変化」参照)4,162人(「かかりつけ医が絶対に必要だと思う」、「かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う」のいずれかに該当)に対して「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向を聞いたところ、回答者全体では「利用したいと思う」が43.6%で最も多く、次いで「あまり利用したいとは思わない」が38.3%の順であり、「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用に肯定的(「とても利用したい」、「利用したい」)な回答(合計55.0%)が、否定的(「あまり利用したいとは思わない」、「まったく利用したいとは思わない」)な回答(合計45.0%)を10.0ポイント上回った。

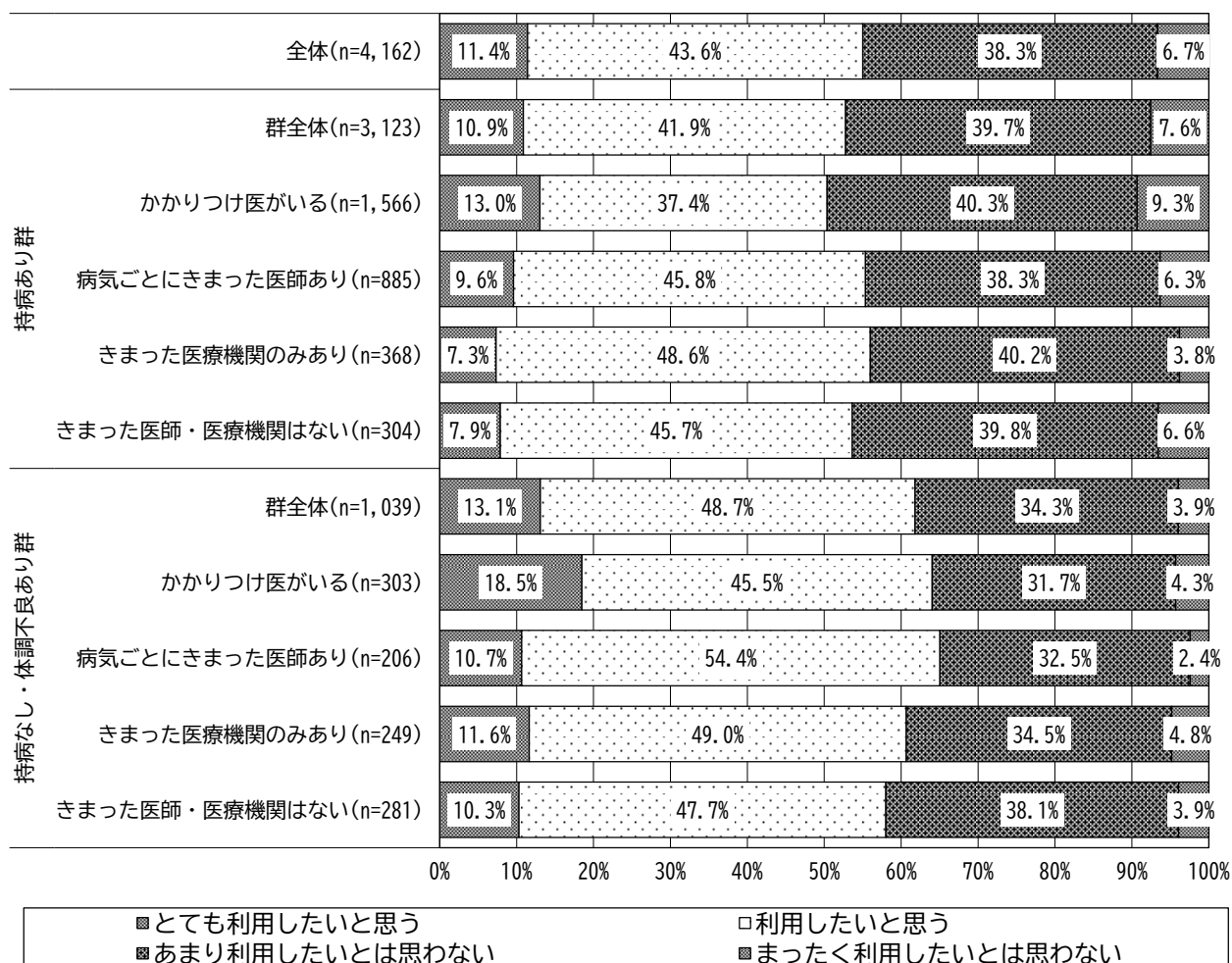
「かかりつけ医」によるオンライン診療の利用意向の内訳を年齢階級別にみると、オンライン診療の利用に肯定的(「とても利用したい」、「利用したい」)な回答は持病あり群では「20歳代」が合計74.1%と最も多く、次いで「30歳代」(合計69.2%)となった。また、持病なし・体調不良あり群においても同様の傾向がみられ、「30歳代」が合計69.2%で最多となり、「40歳代」(合計64.7%)と続くなど、それぞれ、現役世代を中心に全体より高い割合を占めた。

図表 76 「かかりつけ医」によるオンライン診療に対する希望状況(群別・年齢階級別)



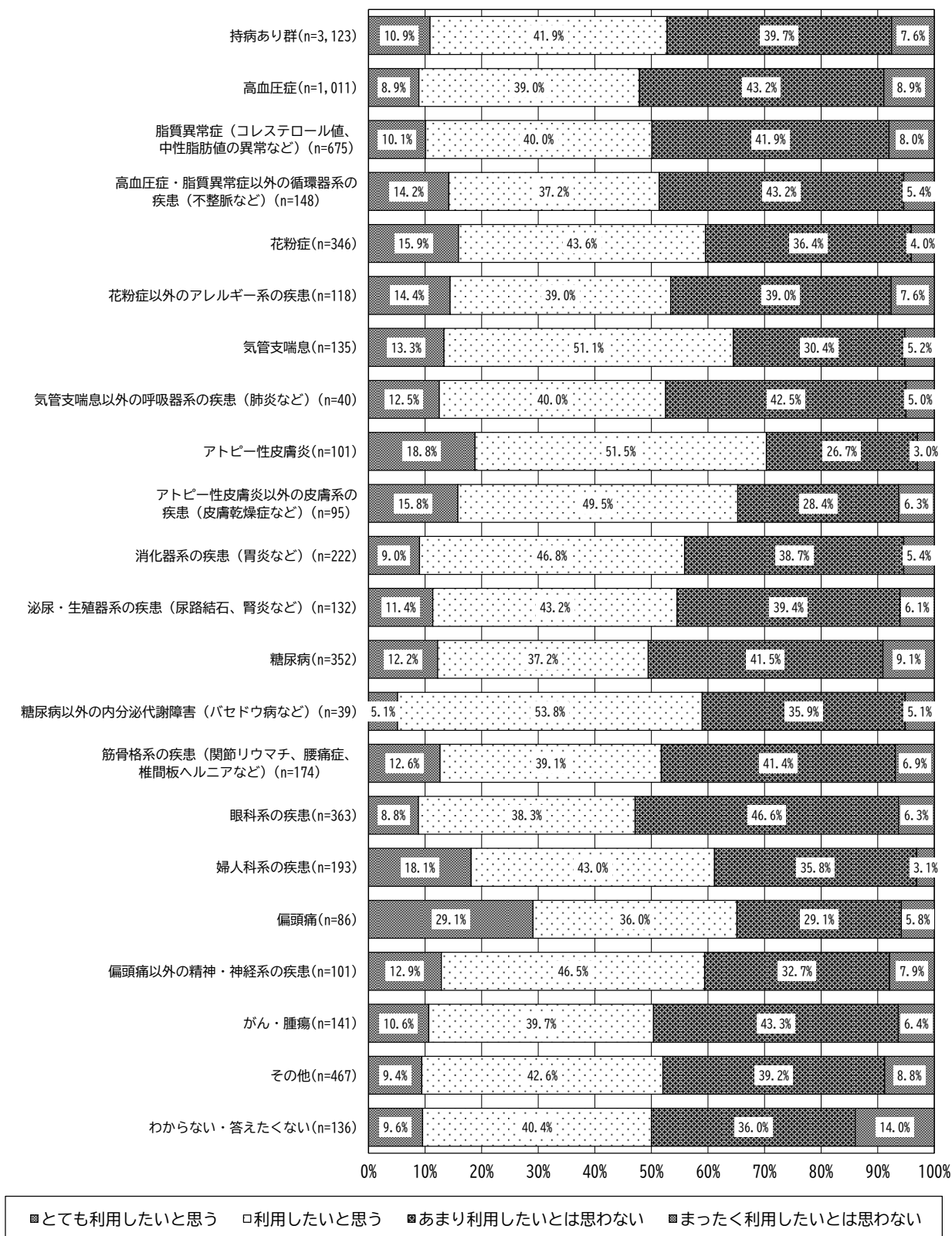
回答者全体で最も回答割合が高かった「利用したいと思う」の内訳を「かかりつけ医」の有無別にみると、持病あり群では「きまった医療機関のみあり」が 48.6%で最多、「かかりつけ医がいる」が 37.4%で最少だった。一方、持病なし・体調不良あり群では「病気ごとにきまった医師あり」が 54.4%で最多、「かかりつけ医がいる」が 45.5%で最少だった。

図表 77 「かかりつけ医」によるオンライン診療に対する希望状況
(群別・「かかりつけ医」の有無別)



回答者全体で最も回答割合が高かった「利用したいと思う」の内訳を持病あり群の定期的な通院を行っていた疾患別にみると、「糖尿病以外の内分泌代謝障害」が 53.8%で最も多く、次いで「アトピー性皮膚炎」が 51.5%、「気管支喘息」が 51.1%の順だった。

図表 78 「かかりつけ医」によるオンライン診療に対する希望状況（持病あり群、原因疾患別）



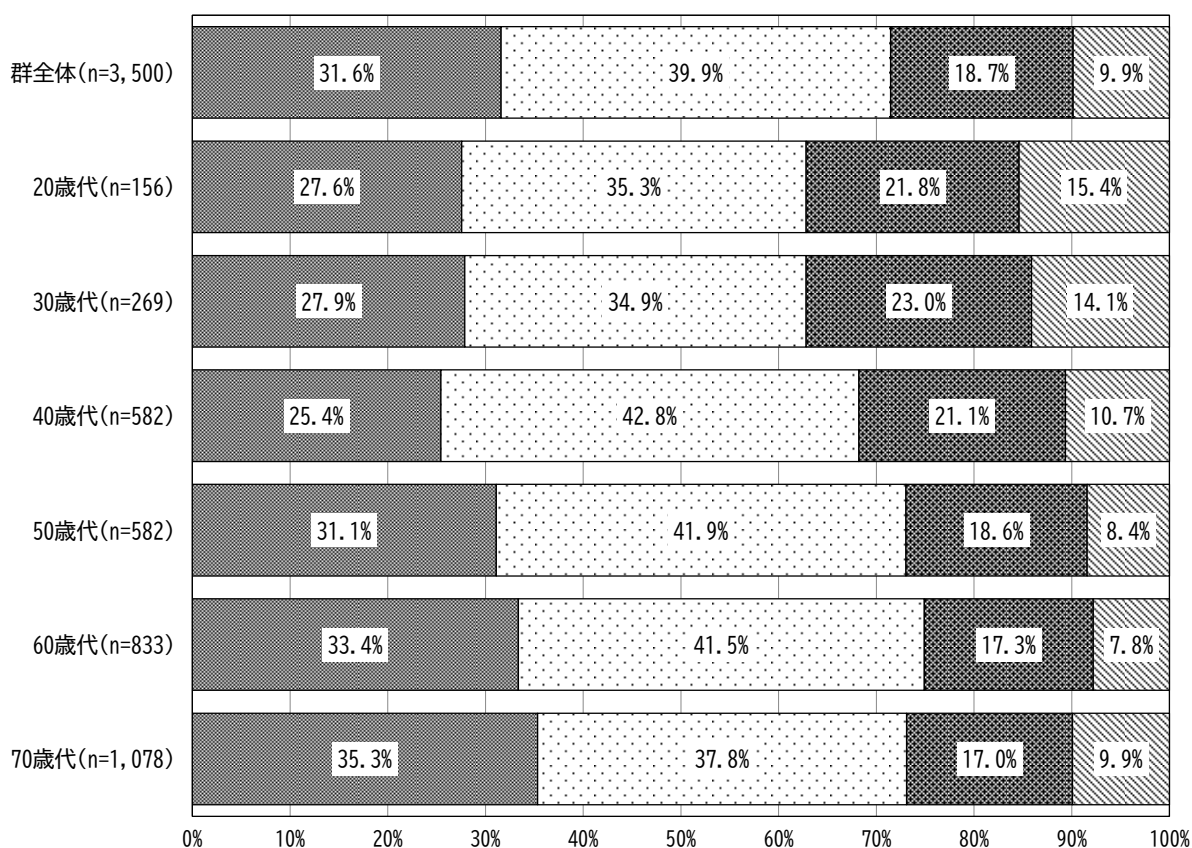
第9章 その他

1. 新型コロナウイルスや自分の病気に対する不安

新型コロナウイルスや自分の病気に対する不安を持病あり群に聞いたところ、「通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安はあるが、通院しないことに伴う自分の病気の方の不安が大きい」が39.9%で最も多く、次いで「通院することに伴う新型コロナウイルス感染を、不安に感じることはない」が31.6%の順だった。

最も回答割合が高かった「通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安はあるが、通院しないことに伴う自分の病気の方の不安が大きい」の内訳を年齢階級別にみると、「20～30 歳代」が3割強(34.9%～35.3%)、「40～70 歳代」が約4割(37.8%～42.8%)を占めていた。

図表 79 新型コロナウイルスや自分の病気に対する不安（持病あり群、年齢階級別）



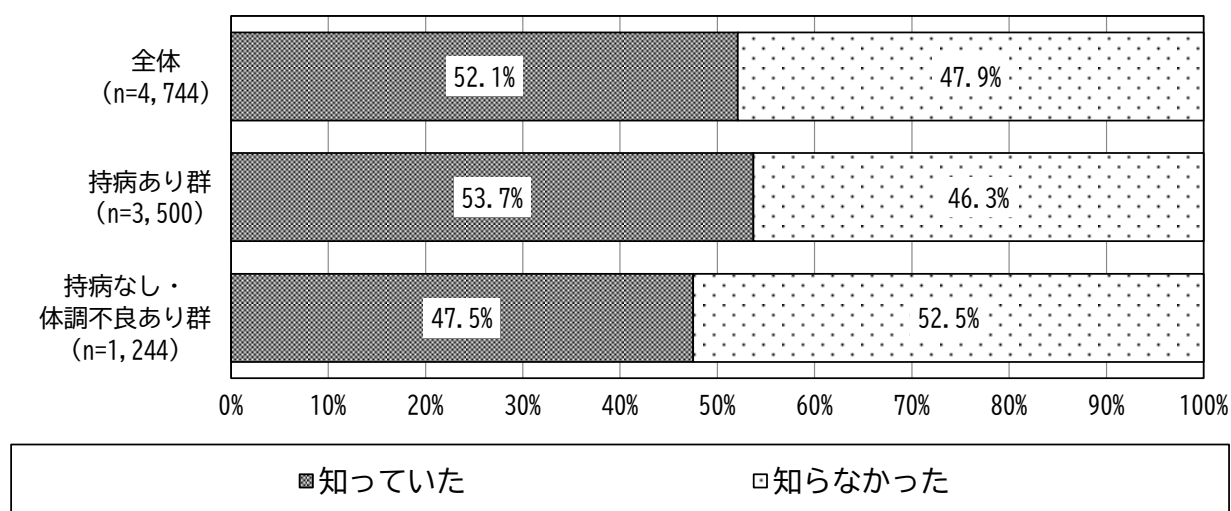
- 通院することに伴う新型コロナウイルス感染を、不安に感じることはない
- 通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安はあるが、通院しないことに伴う自分の病気の方の不安が大きい
- 通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安と、通院しないことに伴う自分の病気の不安は同じくらいの大きさである
- 通院しないことに伴う自分の病気の不安よりも、通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安の方が大きい

2. 新型コロナウイルス感染症の治療費の負担に関する認識とあるべき姿

(1) 新型コロナウイルス感染症の治療費負担に対する認知状況

新型コロナウイルス感染症の治療にかかる治療費の負担が、通常の診療の保険給付分が保険給付であり、自己負担分のみが公費負担であることを知っていたかを聞いたところ、回答者全体では「知っていた」が52.1%を占めており、持病あり群は持病なし・体調不良あり群よりも6.2ポイント上回っていた。

図表 80 新型コロナウイルス感染症の治療にかかる治療費の負担が、通常の診療の保険給付分が保険給付であり、自己負担分のみが公費負担であることを知っていたか（群別）

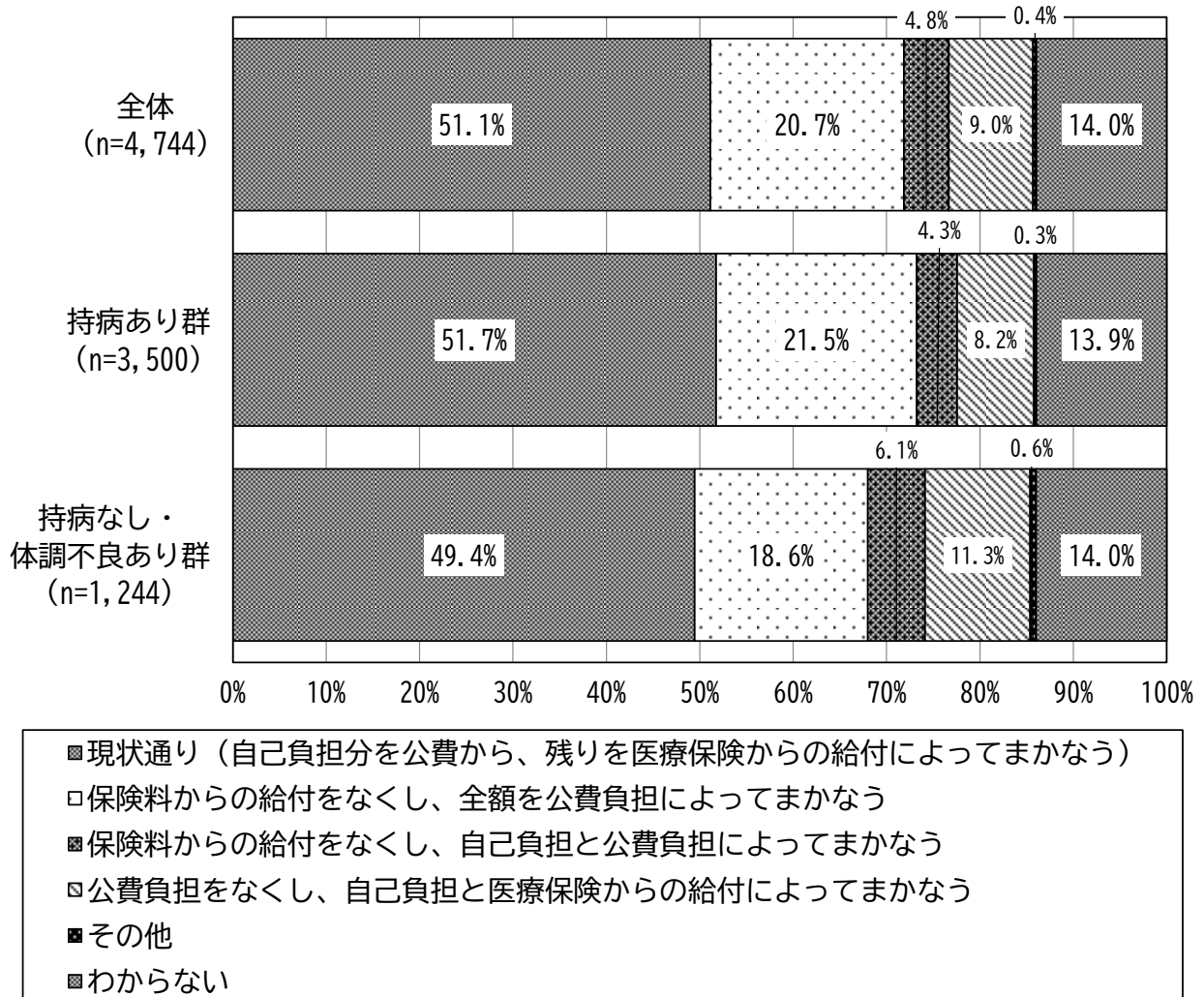


(2)新型コロナウイルス感染症の治療費負担のあるべき姿に関する考え

新型コロナウイルス感染症の治療にかかる治療費の負担のあるべき姿に関する考えを聞いたところ、回答者全体では「現状通り(自己負担分を公費から、残りを医療保険からの給付によってまかなう)」が51.1%で最も多く、次いで「保険料からの給付をなくし、全額を公費負担によってまかなう」が20.7%の順だった。

回答者全体で最も回答割合が高かった「現状通り(自己負担分を公費から、残りを医療保険からの給付によってまかなう)」の内訳を群別にみると、持病あり群の回答割合は、持病なし・体調不良あり群よりも2.3ポイント上回っていた。

図表 81 新型コロナウイルス感染症の治療にかかる治療費の負担のあるべき姿に関する考え (群別)



参考資料

2021 年度 新型コロナウイルス感染症拡大期における受診意識調査

《 調査内容 》

※本資料は、web アンケート方式にて行ったアンケートの調査内容を、紙面に落とし込んだものであり、web アンケートにおける画面デザインとは異なる。

アンケート調査へのご協力をお願い

この調査は、国民の皆様が、新型コロナウイルス感染症の流行やワクチン接種等の推移に応じて、医療機関のかかり方や、現在の医療や医療保険制度に対するお考えに、どのような変化があったのかを知り、今後の医療政策の検討に資する基礎資料を整備することを目的としております。

なお、この調査の対象となる方は、満20歳～79歳の方です。お答えになった内容は、上記の目的にのみ使用し、統計的に処理いたしますので、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

どうぞ、率直なご意見、お考えをお聞かせください。本調査の趣旨をご理解いただき、回答へのご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

事前設問

事前設問（１） あなたは、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）の状況として、持病（けがを除く）の治療（経過観察を含む）のために、医療機関に定期的に通院していましたか。＜単数回答＞

- 01 定期的に通院していた
- 02 定期的には通院していなかった

事前設問（２） あなたは、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））に、医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したことがありますか。＜単数回答＞

- 01 医療機関の受診を検討するような体調不良があった（実際には受診したか否かは問いません）
- 02 体調不良を経験したが、医療機関を受診しようと思うほどの症状ではなかった
- 03 体調不良は経験しなかった

＜参考＞新型コロナウイルス感染に係る推移（2021年）

- ・ 4月23日 4都府県（東京・京都・大阪・兵庫）に緊急事態宣言
- ・ 5月7日 緊急事態宣言が6都府県（東京・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡）に拡大される
- ・ 5月14日 緊急事態宣言が9都道府県（北海道、東京・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡）に拡大される
- ・ 5月21日 緊急事態宣言が10都道府県（北海道、東京・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡・沖縄）に拡大される
- ・ 6月17日 岡山・広島で緊急事態宣言が解除、7都道府県（北海道・東京・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡）はまん延防止法等重点措置に移行、緊急事態措置は沖縄のみ
- ・ 7月8日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が2都県（東京・沖縄）に拡大
- ・ 7月23日 東京2020オリンピックの開会
- ・ 7月30日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が6都府県（埼玉・千葉・東京・神奈川・大阪・沖縄）に拡大
- ・ 8月8日 東京2020オリンピックの閉会
- ・ 8月17日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が13都府県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡・京都・大阪・兵庫・福岡・沖縄）に拡大
- ・ 8月24日 東京2020パラリンピックの開会
- ・ 8月25日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が21都道府県（北海道・宮城・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡・沖縄）に拡大
- ・ 9月5日 東京2020パラリンピックの閉会
- ・ 9月9日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が19都道府県（北海道・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・広島・福岡・沖縄）に縮小
- ・ 9月28日 全国の緊急事態宣言が解除される

【スクリーニング】

- ・事前設問（１）が 01 …「持病あり群」⇒本調査へ
- ・事前設問（１）が 02 で事前設問（２）が 01 …「持病なし 体調不良あり群」⇒本調査へ
- ・事前設問（１）が 02 で事前設問（２）が 02・03 …「持病なし 体調不良なし群」⇒回答終了

【回答者の属性データについて】

回答者の属性データのうち、下記の３項目については、配信日（2021年12月9日）時点のモニター登録情報に基づく。

- ①性別 ②年齢 ③都道府県

① はじめに、あなたご自身についてお尋ねします。

Q1-1 あなたの職業はどれですか。〈単数回答〉

01	農 林 漁 業	例. 農業、牧畜、造園業、林業、漁業など
02	商 工 ・ サ ー ビ ス 業	例. 卸売業、小売業、飲食店、理髪店、修理店など
03	自 由 業	例. 開業医、弁護士、宗教家、著述業、茶華道師匠など
04	経 営 ・ 管 理 職	例. 官公庁・民間会社・団体の課長級以上
05	専 門 ・ 技 術 職	例. 裁判官、研究所研究員など（医療従事者を除く）
06	医 療 従 事 者	例. 病院勤務医師、看護師、准看護師、助産師、保健師など
07	事 務 職	例. 一般事務職員、教員、事務機械オペレーター、新聞記者など
08	労 務 ・ 技 能 職	例. 各種技能工、運転手、電話交換手、職人、守衛など
09	販 売 ・ サ ー ビ ス 職	例. 販売店員、外交員、ウェイトレス、理・美容師
10	そ の 他 の 職 業	
11	就 業 し て い な い 主 婦 (夫)	
12	学 生	
13	そ の 他 無 職	

Q1-2 あなたの加入している（加入者の被扶養者である場合を含む）医療保険はどれですか。
〈単数回答〉

01	組合管掌健康保険（健保組合）	02	全国健康保険協会（協会けんぽ）
03	船員保険	04	国民健康保険（国保組合を含む）
05	共済組合（公務員、私立学校教職員）	06	日雇保険
07	後期高齢者医療広域連合	08	その他・加入していない

② あなたの外来受診の状況についてお尋ねします。

■ここでの外来受診の状況については、事前設問（１）で【新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）の状況として、持病（けがを除く）の治療（経過観察を含む）のために、医療機関に定期的に通院していた】と回答していただいた外来受診についてお答えください。

※Q2-1～Q2-9は、「持病あり群」のみが回答対象

Q2-1 【持病あり群のみ】事前設問（１）でお答えいただいた、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）の定期的な通院について、その病気（けがを除く）の種類をご回答ください。【複数回答】

- | | | |
|----|-------------------------------|---|
| 01 | 高血圧症 | |
| 02 | 脂質異常症（コレステロール値、中性脂肪値の異常など） | |
| 03 | 高血圧症・脂質異常症以外の循環器系の疾患（不整脈など） | |
| 04 | 花粉症 | |
| 05 | 花粉症以外のアレルギー系の疾患 | |
| 06 | 気管支喘息 | |
| 07 | 気管支喘息以外の呼吸器系の疾患（肺炎など） | |
| 08 | アトピー性皮膚炎 | |
| 09 | アトピー性皮膚炎以外の皮膚系の疾患（皮膚乾燥症など） | |
| 10 | 消化器系の疾患（胃炎など） | |
| 11 | 泌尿・生殖器系の疾患（尿路結石、腎炎など） | |
| 12 | 糖尿病 | |
| 13 | 糖尿病以外の内分泌代謝障害（バセドウ病など） | |
| 14 | 筋骨格系の疾患（関節リウマチ、腰痛症、椎間板ヘルニアなど） | |
| 15 | 眼科系の疾患 | |
| 16 | 婦人科系の疾患 | |
| 17 | 偏頭痛 | |
| 18 | 偏頭痛以外の精神・神経系の疾患 | |
| 19 | がん・腫瘍 | |
| 20 | その他（ | ） |
| 21 | わからない・答えたくない | |

Q2-2 【持病あり群のみ】事前設問（1）でお答えいただいた、**新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）**の定期的な通院について、いつ頃から、定期的に通院していますか。複数の病気で定期的に通院している方は、最も時期が早いものについてお答えください。＜単数回答＞

01 2009年以前から	02 2010年～2014年頃から
03 2015年～2016年頃から	04 2017年頃から
05 2018年頃から	06 2019年1月～6月頃から
07 2019年7月～12月頃から	08 わからない

Q2-3 【持病あり群のみ】下記の各期間について、あなたの外来の受診回数をご記入ください。
注：同じ日に、2つの医療機関を受診した場合は、「2回」とカウントしてください。

時期	外来受診回数	備考
①2019年12月	() 回程度	新型コロナウイルス感染症が確認される前の1か月間
②2021年8月	() 回程度	全国的に高齢者や職域等でワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））の1か月間
③2021年10月	() 回程度	「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期（2021年10月以降）の1か月間

Q2-4 【持病あり群のみ】**新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）**において、通院する日は何によって決めていましたか。【複数回答】

01 医師に受診するように指示された日に通院していた（定期的な通院を含む）
02 処方された薬がなくなりそう、またはなくなった時に通院していた
03 病状・体調が悪い日に通院していた
04 病状・体調が良い日に通院していた
05 都合がつく日に通院していた
06 感染者数等、新型コロナウイルスの状況を判断材料として通院していた
07 その他（)

Q2-5 【持病あり群のみ】全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））の通院の頻度は、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）の通院の頻度と比べて、変化はありましたか。＜単数回答＞

- 01 新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度を多くしていた（通院間隔を短くしていた）
- 02 新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度は変わらなかった
- 03 新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と比べて、通院する頻度を少なくしていた（通院間隔を長くしていた） ⇒Q2-5-1 へ
- 04 通院するのをやめていた ⇒Q2-5-1 へ

Q2-5-1 【持病あり群、かつQ2-5で03・04を選択した場合のみ】全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））に、あなたが通院するのをやめていた、あるいは通院する頻度を少なくしていた理由は何ですか。【複数回答】

- 01 医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから
- 02 他の人に新型コロナウイルスを感染させるかもしれないと思ったから
- 03 医師や看護師から通院しないように、あるいは頻度を少なくするように言われていたから
- 04 家族から通院しないように、あるいは頻度を少なくするように言われていたから
- 05 病状・体調が悪かったから
- 06 病状・体調が回復したから
- 07 電話やオンラインで診療を受けていたから
- 08 普段よりも長い日数分の薬の処方を受けていたから
- 09 市販の薬を飲んで症状に対処していたから
- 10 自身の体調管理により、通院する必要性を感じなくなった、あるいは頻度を減らしてもよいと感じたから
- 11 通院する時間が取れなかったから
- 12 外出自体をしないようにしていたから
- 13 入院していたから
- 14 その他（)
- 15 特に理由はない

※「01～14」と、「15」の両方の選択がなされないように設定

Q2-6 【持病あり群のみ】全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））のあなたの通院の方法について、当てはまるものをご回答ください。【複数回答】

- | |
|--|
| 01 電話を利用して、医師の診療を受けた（以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む） |
| 02 インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた（以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む） |
| 03 普段とは異なる医療機関に通院していた |
| 04 上記に当てはまるものはない |

※「01・02・03」と、「04」の両方の選択がなされないように設定

Q2-7 【持病あり群のみ】「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期（2021年10月以降）の通院の頻度は、（イ）の時期や（ロ）の時期の通院と比べて、変化はありましたか。＜単数回答＞

（イ）新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）

（ロ）全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））

- | |
|---|
| 01 （イ）の時期と比べて、通院する頻度を多くしていた |
| 02 （イ）の時期と比べて、通院する頻度は変わらなかった |
| 03 （イ）の時期よりも通院する頻度は少ないが、（ロ）の時期に比べれば頻度は戻った
⇒Q2-7-1～Q2-7-3 へ |
| 04 （イ）の時期よりも通院する頻度を少なくしたままだった
⇒Q2-7-1～Q2-7-3 へ |
| 05 通院するのをやめていた ⇒Q2-7-1～Q2-7-3 へ |

Q2-8 【持病あり群のみ】「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期（2021年10月以降）のあなたの通院の方法について、当てはまるものについてご回答ください。【複数回答】

- 01 電話を利用して、医師の診療を受けた（以前から電話での診察を受けたことがある場合を含む）
- 02 インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた（以前からオンラインでの診察を受けたことがある場合を含む）
- 03 普段とは異なる医療機関に通院していた
- 04 上記に当てはまるものはない

※「01・02・03」と、「04」の両方の選択がなされないように設定

Q2-9 【持病あり群のみ】新型コロナウイルスや自分の病気に対する不安について、どのよう
に感じますか。＜単数回答＞

- 01 通院することに伴う新型コロナウイルス感染を、不安に感じることはない
- 02 通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安はあるが、通院しないことに伴う自分の病気の方の不安が大きい
- 03 通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安と、通院しないことに伴う自分の病気の不安は同じくらいの大きさである
- 04 通院しないことに伴う自分の病気の不安よりも、通院することに伴う新型コロナウイルス感染の不安の方が大きい

② あなたの外来の受診の状況についてお尋ねします。

■ここでの外来の受診状況については、事前設問（2）でお答えいただいた【**全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月）**）に、医療機関の受診を検討するような体調不良を経験したことがあった】と回答していただいた症状についてお答えください。

※Q2-10～Q2-13は、「持病なし 体調不良あり群」のみが回答対象

Q2-10 【持病なし 体調不良あり群のみ】事前設問（2）でお答えいただいた、**全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月）**）における、「医療機関の受診を検討するような体調不良」について、それを経験したのは何月頃ですか。複数回あった場合は、最も早い月をご回答ください。＜単数回答＞

01 2021年5月

02 2021年6月

03 2021年7月

04 2021年8月

05 2021年9月

＜参考＞新型コロナウイルス感染に係る推移(2021年)

- ・4月23日 4都府県（東京・京都・大阪・兵庫）に緊急事態宣言
- ・5月7日 緊急事態宣言が6都府県（東京・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡）に拡大される
- ・5月14日 緊急事態宣言が9都道府県（北海道、東京・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡）に拡大される
- ・5月21日 緊急事態宣言が10都道府県（北海道、東京・愛知・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡・沖縄）に拡大される
- ・6月17日 岡山・広島で緊急事態宣言が解除、7都道府県（北海道・東京・愛知・京都・大阪・兵庫・福岡）はまん延防止法等重点措置に移行、緊急事態措置は沖縄のみ
- ・7月8日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が2都県（東京・沖縄）に拡大
- ・7月23日 東京2020オリンピックの開会
- ・7月30日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が6都府県（埼玉・千葉・東京・神奈川・大阪・沖縄）に拡大
- ・8月8日 東京2020オリンピックの閉会
- ・8月17日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が13都府県（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・静岡・京都・大阪・兵庫・福岡・沖縄）に拡大
- ・8月24日 東京2020パラリンピックの開会
- ・8月25日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が21都道府県（北海道・宮城・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・岡山・広島・福岡・沖縄）に拡大
- ・9月5日 東京2020パラリンピックの閉会
- ・9月9日 まん延防止法等重点措置からの移行により緊急事態措置が19都道府県（北海道・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・静岡・愛知・三重・滋賀・京都・大阪・兵庫・広島・福岡・沖縄）に縮小
- ・9月28日 全国の緊急事態宣言が解除される

Q2-11 【持病なし 体調不良あり群のみ】あなたは、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、医療機関の受診を検討するような体調不良があった際に、どの診療科を受診することを考えましたか。最も当てはまるもの1つを選択してください。＜単数回答＞

01 内科	02 耳鼻咽喉科	03 外科	04 アレルギー科
05 呼吸器科	06 皮膚科	07 泌尿器科	08 整形外科
09 眼科	10 産婦人科	11 神経内科	12 精神科
13 その他の診療科			

Q2-12 【持病なし 体調不良あり群のみ】あなたは、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、医療機関の受診を検討するような体調不良があった際に、どのように受診しましたか。【複数回答】

- | |
|---------------------------------------|
| 01 普段受診することが多い医療機関を、外来で受診した |
| 02 普段受診することが多い医療機関とは別の医療機関を、外来で受診した |
| 03 電話を利用して、医師の診療を受けた |
| 04 インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けた |
| 05 外来での受診はしなかった ⇒Q2-12-1～Q2-12-2 へ |

※「01・02」と、「05」の両方の選択がなされないように設定

※「01・02・05」のうち1つ以上を必ず選択するように設定

Q2-12-1 【持病なし 体調不良あり群、かつQ2-12で05を選択した場合のみ】医療機関の受診を検討するような体調不良があったにもかかわらず、医療機関を外来で受診しなかった理由は何ですか。【複数回答】

- | |
|------------------------------------|
| 01 医療機関で新型コロナウイルスに感染するかもしれないと思ったから |
| 02 他の人に新型コロナウイルスを感染させるかもしれないと思ったから |
| 03 医師や看護師から受診しないように言われたから |
| 04 家族から受診しないように言われたから |
| 05 病状・体調が悪かったから |
| 06 病状・体調が回復したから |
| 07 電話やオンラインで診療を受けたから |
| 08 市販の薬を飲んで症状に対処していたから |
| 09 自身の体調管理により、受診する必要性を感じなくなったから |
| 10 受診する時間が取れなかったから |
| 11 外出自体をしないようにしていたから |
| 12 入院していたから |
| 13 その他（ |
| 14 特に理由はない |

※「01～13」と、「14」の両方の選択がなされないように設定

Q2-12-2 【持病なし 体調不良あり群、かつ Q2-12 で 05 を選択した場合のみ】医療機関の受診を検討するような体調不良があった際に、あなたが受診しなかったことで、体調の変化を感じましたか。＜単数回答＞

- 01 受診しなくても体調が回復した
- 02 特に体調が悪くなったとは感じない
- 03 体調が少し悪くなったと感じる
- 04 体調がとても悪くなったと感じる
- 05 わからない

Q2-13 【持病なし 体調不良あり群のみ】今後の国全体の新型コロナウイルスの感染状況に応じた医療機関の受診のあり方について、どのようにお考えですか。＜単数回答＞

- 01 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束するまでは、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）よりも慎重に受診するか否かを判断したい
- 02 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束しても、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）よりも慎重に受診するか否かを判断したい
- 03 新型コロナウイルスの感染が国全体で収束してもしなくても、新型コロナウイルス感染症が確認される前（2019年12月頃）と同じ考え方で受診するか否かを判断したい
- 04 その他（）

③ 新型コロナウイルスワクチンの接種状況や健康診断・がん検診の受診
状況および健康・医療に対する意識についてお尋ねします。

Q3-1 あなたは、新型コロナウイルスワクチン接種を受けましたか。＜単数回答＞

- 01 2回とも受けた ⇒Q3-1-1、Q3-1-2、Q3-1-3、Q3-1-4 へ
- 02 1回目は受けたが、2回目はまだ受けていない ⇒Q3-1-1①、Q3-1-2①、Q3-1-3 へ
- 03 まだ一度も受けていない ⇒Q3-1-5 へ

Q3-1-1 あなたは、新型コロナウイルスワクチンの接種をいつ受けましたか。＜単数回答＞

①【Q3-1 で 01・02 を選択した場合のみ】 1 回目

- | | | | |
|---------------|------------|------------|-------------|
| 01 2021年3月以前 | 02 2021年4月 | 03 2021年5月 | 04 2021年6月 |
| 05 2021年7月 | 06 2021年8月 | 07 2021年9月 | 08 2021年10月 |
| 09 2021年11月以降 | | | |

②【Q3-1 で 01 を選択した場合のみ】 2 回目

- | | | | |
|---------------|------------|------------|-------------|
| 01 2021年3月以前 | 02 2021年4月 | 03 2021年5月 | 04 2021年6月 |
| 05 2021年7月 | 06 2021年8月 | 07 2021年9月 | 08 2021年10月 |
| 09 2021年11月以降 | | | |

Q3-1-2 【Q3-1 で 01・02 を選択した場合のみ】 あなたは、新型コロナウイルスワクチンの接種をどこで受けましたか。＜単数回答＞

①【Q3-1 で 01・02 を選択した場合のみ】 1 回目

- | |
|---|
| 01 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種） |
| 02 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関（個別接種） |
| 03 市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等） |
| 04 会社・大学等が設置する職域接種会場 |
| 05 国（自衛隊）が指定する大規模接種センター |
| 06 その他（) |

②【Q3-1 で 01 を選択した場合のみ】 2 回目

- | |
|---|
| 01 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種） |
| 02 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関（個別接種） |
| 03 市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等） |
| 04 会社・大学等が設置する職域接種会場 |
| 05 国（自衛隊）が指定する大規模接種センター |
| 06 その他（) |

Q3-1-3 【Q3-1 で 01・02 を選択した場合のみ】あなたは、新型コロナウイルスワクチンの接種を契機に感染予防対策の行動にかかわる意識は、どのように変わりましたか。

①外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底<単数回答>

- 01 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している
- 02 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった
- 03 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった
- 04 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、あまり意識していない

②手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底<単数回答>

- 01 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している
- 02 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった
- 03 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった
- 04 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、あまり意識していない

③テレワークやローテーション勤務の実施<単数回答>

- 01 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している
- 02 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった
- 03 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった
- 04 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、あまり意識していない
- 05 テレワーク等が難しい職場に勤務している
- 06 現在勤務していない

④外出時（外食等を含む）の「3つの密（密閉、密集、密接）」回避の徹底<単数回答>

- 01 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、強く意識している
- 02 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて意識が緩んでしまった
- 03 新型コロナウイルスワクチン接種前と比べて強く意識するようになった
- 04 新型コロナウイルスワクチン接種前と変わらず、あまり意識していない

Q3-1-4 【Q3-1 で 01 を選択した場合のみ】あなたは、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種（費用負担が発生しない前提）を受けたいですか。<単数回答>

- 01 接種を受けたい ⇒Q3-1-4-1 へ
- 02 接種を受けたくない ⇒Q3-1-4-2 へ
- 03 わからない

Q3-1-4-1 【Q3-1-4 で 01 を選択した場合のみ】あなたは、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種（費用負担が発生しない前提）をどこで受けたいですか。【複数回答】

- 01 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種）
- 02 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関（個別接種）
- 03 市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等）
- 04 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 05 国（自衛隊）が指定する大規模接種センター
- 06 その他（)

Q3-1-4-2 【Q3-1-4 で 02 を選択した場合のみ】あなたが、3回目の新型コロナウイルスワクチン接種（費用負担が発生しない前提）を受けたくない理由は何ですか？【複数回答】

- 01 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 02 新型コロナウイルスワクチンの有効性（発症予防効果等）がまだ十分に検証されていないから
- 03 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 04 接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから
- 05 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬（飲み薬）に期待したいから
- 06 その他（)

Q3-1-5 【Q3-1 で 03 を選択した場合のみ】あなたは、新型コロナウイルスワクチン接種を受けたいですか。＜単数回答＞

- 01 接種を受けたい ⇒Q3-1-5-1 へ
- 02 接種を受けたくない ⇒Q3-1-5-2 へ
- 03 わからない

Q3-1-5-1 【Q3-1-5 で 01 を選択した場合のみ】あなたは、新型コロナウイルスワクチンの接種をどこで受けたいですか。【複数回答】

- 01 市区町村が指定する、普段から受診している医療機関（個別接種）
- 02 市区町村が指定する、普段は受診していない医療機関（個別接種）
- 03 市区町村が指定する集団接種会場（例：体育館、地区センター、スポーツセンター、等）
- 04 会社・大学等が設置する職域接種会場
- 05 国（自衛隊）が指定する大規模接種センター
- 06 その他（)

Q3-1-5-2 【Q3-1-5 で 02 を選択した場合のみ】あなたが、新型コロナウイルスワクチンの接種を受けたくない理由は何ですか？【複数回答】

- 01 新型コロナウイルスワクチンの安全性がまだ十分に検証されていないから
- 02 新型コロナウイルスワクチンの有効性（発症予防効果等）がまだ十分に検証されていないから
- 03 手洗い・うがい等を徹底し続ければ感染リスクは上がらないと考えるから
- 04 接種後の副反応（腕の痛み、40度近い発熱、頭痛・嘔吐、死亡等）が怖いと感じるから
- 05 新型コロナウイルスワクチンよりも新型コロナウイルス特効薬（飲み薬）に期待したいから
- 06 その他（)

Q3-2 あなたは、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、健康診断を予定していましたか。また実際に予定していた健康診断を受けましたか。＜単数回答＞

- 01 健康診断を予定しており、予定通り受けた
- 02 健康診断を予定していたが、予定よりも遅れて受けた ⇒Q3-2-1 へ
- 03 健康診断を予定していたが、現在もまだ受けていない ⇒Q3-2-1 へ
- 04 健康診断の予定はなかった

Q3-2-1 全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、予定していた健康診断について、時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由は何ですか。【複数回答】

- 01 自分自身の判断で延期しようと考えた
- 02 まわりの人の勧めで延期しようと考えた
- 03 医師の指示によって延期することとなった
- 04 健診機関側の都合（受付可能数の減少のため予約できないなど）によって延期することとなった
- 05 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職場等の指示によって延期することとなった
- 06 その他（新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など）

Q3-3 あなたは、全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、がん検診を予定していましたか。また実際に予定していたがん検診を受けましたか。＜単数回答＞

- 01 がん検診を予定しており、予定通り受けた
- 02 がん検診を予定していたが、予定よりも遅れて受けた ⇒Q3-3-1 へ
- 03 がん検診を予定していたが、現在もまだ受けていない ⇒Q3-3-1 へ
- 04 がん検診の予定はなかった

Q3-3-1 全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期（「第4波」、「第5波」の感染拡大期（2021年5月～9月））において、予定していたがん検診について、時期を遅らせた、あるいはまだ受けていない理由は何ですか。【複数回答】

- 01 自分自身の判断で延期しようと考えた
- 02 まわりの人の勧めで延期しようと考えた
- 03 医師の指示によって延期することとなった
- 04 健診機関側の都合（受付可能数の減少のため予約できないなど）によって延期することとなった
- 05 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、職場等の指示によって延期することとなった
- 06 その他（新型コロナウイルス感染拡大とは関係のない延期など）

Q3-4 新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応策として、あなたが特に必要だと感じている対策を上位3つまでお答えください。(答えは3つまで)

- 01 マスクや手洗いなどの個人の予防対策
- 02 緊急事態宣言による外出自粛要請などの国の施策
- 03 時差通勤や在宅勤務などの各企業の取り組み
- 04 健康保険制度により、低額で検査や治療が受けられること
- 05 新型コロナウイルスに感染した重症患者を受け入れる入院の医療提供体制の確保
- 06 身近な「かかりつけ医」による発熱外来などの外来の医療提供体制の充実
- 07 感染しているかを調べる検査の実施拡大
- 08 市区町村による新型コロナウイルスワクチン接種のより迅速な展開
- 09 新型コロナウイルスワクチン接種証明書(ワクチンパスポート)の活用
- 10 新型コロナウイルスワクチンの職域接種のさらなる活用
- 11 新型コロナウイルスワクチンの接種方法に関する丁寧で分かりやすい情報の提供
- 12 その他()
- 13 必要だと感じているものはない

※本調査では、日頃から健康の相談をしたり病気になったりしたときに、決まって診察を受ける身近で信頼できる医師を「かかりつけ医」という。

Q3-5 次の3時点において新型コロナウイルス感染症対策のために強く意識して行っていたことをお答えください。【①～③のそれぞれで複数回答】

① 「第1波」の感染拡大期、最初の緊急事態宣言が出ていた時期(2020年4～5月頃)

- 01 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底
- 02 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底
- 03 テレワークやローテーション勤務の実施
- 04 外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底
- 05 その他()
- 06 当てはまるものはない

② 全国的に高齢者や職域での新型コロナウイルスワクチン接種が進んでいる時期(「第4波」、「第5波」の感染拡大期(2021年5月～9月))

- 01 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底
- 02 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底
- 03 テレワークやローテーション勤務の実施
- 04 外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底
- 05 その他()
- 06 当てはまるものはない

③ 「第5波」の感染者が急減し、緊急事態宣言が解除された後の時期(2021年10月以降)

- 01 外出時や屋内で人と近い距離で会話をするときのマスク着用の徹底
- 02 手洗い・指先消毒をこまめに行うことの徹底
- 03 テレワークやローテーション勤務の実施
- 04 外出時(外食等を含む)の「3つの密(密閉、密集、密接)」回避の徹底
- 05 その他()
- 06 当てはまるものはない

Q3-6 新型コロナウイルス感染拡大を契機に、あなたの病気や健康にかかわる意識は今後、どのように変わるとお思いますか。【複数回答】

- | |
|---|
| 01 以前に比べ、生活習慣病の予防に関心を持つようになると思う |
| 02 以前に比べ、生活習慣病以外の病気の予防や健康管理に関心を持つようになると思う |
| 03 以前に比べ、こまめに医療機関を受診しようとするようになると思う |
| 04 以前に比べ、医療機関を受診するかどうかを慎重に考えるようになると思う |
| 05 以前に比べ、一度により長い日数の薬の処方を受けるなど、受診の頻度を減らそうと考えることが増えると思う |
| 06 以前に比べ、医療機関の受診にかえて、市販の薬を服用することが増えると思う |
| 07 オンラインでの受診を活用しようとすることが増えると思う |
| 08 オンラインを通じた薬の配送を活用しようとすることが増えると思う |
| 09 オンラインでの健康相談を活用しようとすることが増えると思う |
| 10 ドラッグストアなど、医療機関以外での健康相談を活用しようとすることが増えると思う |
| 11 その他（ ） |
| 12 特に意識は変わらないと思う |

※「01～11」と、「12」の両方の選択がなされないように設定

Q3-7 新型コロナウイルス感染症の治療にかかる医療費は、現在、通常時の自己負担分（現役世代の場合は3割）が税金を主たる財源とする公費でまかなわれ、それ以外の部分（現役世代の場合は7割）が保険料を主たる財源とする医療保険から給付されています。このことを、あなたは知っていましたか。＜単数回答＞

- | | |
|----------|-----------|
| 01 知っていた | 02 知らなかった |
|----------|-----------|

Q3-8 新型コロナウイルス感染症の治療にかかる医療費を今後どのように負担するかについて、あなたはどの方法がよいとお思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。＜単数回答＞

- | |
|--|
| 01 現状通り（自己負担分を公費から、残りを医療保険からの給付によってまかなう） |
| 02 保険料からの給付をなくし、全額を公費負担によってまかなう |
| 03 保険料からの給付をなくし、自己負担と公費負担によってまかなう |
| 04 公費負担をなくし、自己負担と医療保険からの給付によってまかなう |
| 05 その他（ ） |
| 06 わからない |

④ オンライン診療に関する意識についてお尋ねします。

Q4-1 あなたはこれまでに、インターネットやテレビ電話を利用して、オンラインで医師の診療を受けたことがありますか。＜単数回答＞

01 ある ⇒Q4-1-1、Q4-1-2、Q4-1-3へ 02 ない ⇒Q4-1-4へ

Q4-1-1 【Q4-1で01を選択した場合のみ】あなたが、インターネットやテレビ電話を利用してオンラインで診療を受けた診療科はどれですか。【複数回答】

01 内科	02 耳鼻咽喉科	03 外科	04 アレルギー科
05 呼吸器科	06 皮膚科	07 泌尿器科	08 整形外科
09 眼科	10 産婦人科	11 神経内科	12 精神科
13 その他の診療科			

Q4-1-2 【Q4-1で01を選択した場合のみ】あなたが、初めてインターネットやテレビ電話を利用してオンラインで診療を受けた際の状況について、当てはまる番号を選択してください。＜単数回答＞

01 初めて受診する医療機関でオンライン診療を受けた
02 これまでに受診したことのある医療機関だったが、しばらく受診しておらず、初診でオンライン診療を受けた
03 これまでに受診したことのある医療機関で、普段と異なる症状での受診だったが、初診でオンライン診療を受けた
04 再診でオンライン診療を受けた

Q4-1-3 【Q4-1 で 01 を選択した場合のみ】あなたが、インターネットやテレビ電話を利用してオンラインで診療を受けた感想として、当てはまる番号を選択してください。【複数回答】

- | | |
|----|--|
| 01 | 自宅で受診できるため、便利だと感じる |
| 02 | 自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになったと感じる |
| 03 | 自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ったと感じる |
| 04 | 医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じる |
| 05 | 医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなったと感じる |
| 06 | 薬の受け取りに薬局に行ったため、通常の通院と利便性はさほど変わらないと感じる |
| 07 | 普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなったと感じる |
| 08 | 直接の対面でないため、十分な診察がされているか不安を感じる |
| 09 | 通信機器の状況が悪く、音声や画像が鮮明でないと感じる |
| 10 | 受診にあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる |
| 11 | 診療費の支払いにあたり、通信機器の設定や操作方法が難しいと感じる |
| 12 | その他 () |
| 13 | 特に感想はない |

※「01～12」と、「13」の両方の選択がなされないように設定

Q4-1-4 【Q4-1 で 02 を選択した場合のみ】インターネットやテレビ電話を利用したオンラインでの診療について、あなたの考えにあてはまるものを選択してください。【複数回答】

- | | |
|----|---|
| 01 | 自宅で受診できるため、便利であると思う |
| 02 | 自宅で受診できるため、気軽に受診ができるようになると思う |
| 03 | 自宅で受診できるため、通院のための体力的な負荷が減ると思う |
| 04 | 医療機関での待ち時間がなくなり、便利だと感じると思う |
| 05 | 医療機関に行く回数が減り、感染症にかかる心配が小さくなると思う |
| 06 | 薬の受け取りに薬局に行く必要があるのならば、通常の通院と利便性はさほど変わらないと思う |
| 07 | 普段の生活状況を医師に見せることができ、病状や生活状況の説明がしやすくなると思う |
| 08 | 直接の対面でないため、十分な診察が受けられるのかが不安に思う |
| 09 | 通信機器の状況によっては、音声や画像が鮮明に伝わらないのではないかと不安に思う |
| 10 | 通信機器の設定や操作に手間取ると思う |
| 11 | オンライン診療のイメージがわからない |
| 12 | その他 () |

Q4-2 あなたは、日頃から健康の相談をしたり病気になったりしたときに、決まって診察を受ける身近で信頼できる医師（以下、「かかりつけ医」という。）または医療機関がありますか。＜単数回答＞

- | |
|--|
| 01 病気になるといつも相談し、決まって診察を受ける身近で信頼できる医師（かかりつけ医）がいる
⇒Q4-2-1 へ |
| 02 この病気ならこの先生という意味でなら、決まった医師がいる ⇒Q4-2-1 へ |
| 03 いつもかかる医療機関はあるが、診察を受ける医師は決まっていない ⇒Q4-2-1 へ |
| 04 そのような医師・医療機関はない |

Q4-2-1 【Q4-2 で 01・02・03 を選択した場合のみ】あなたにとっての「かかりつけ医」や決まった医師がいる医療機関、或いは、いつもかかる医療機関はどれですか。＜単数回答＞

- | | |
|--------------------|-----------|
| 01 一般診療所（医院・クリニック） | 02 大学病院 |
| 03 国立病院 | 04 その他の病院 |

Q4-3 新型コロナウイルス感染拡大を契機に、あなたの「かかりつけ医」に対する意識は以前と比べてどのように変わりましたか。＜単数回答＞

- | |
|------------------------------------|
| 01 かかりつけ医は絶対に必要だと思う ⇒Q4-3-1 へ |
| 02 かかりつけ医はどちらかと言えば必要だと思う ⇒Q4-3-1 へ |
| 03 かかりつけ医をもつメリットや必要性を感じない |
| 04 わからない |

Q4-3-1 【Q4-3 で 01・02 を選択した場合のみ】今後、体調が悪くなってかかりつけ医の診察を受ける場合に、インターネットやテレビ電話を利用した、オンラインでの診療の利用をしたいと思いませんか。＜単数回答＞

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 01 とても利用したいと思う | 02 利用したいと思う |
| 03 あまり利用したいとは思わない | 04 まったく利用したいとは思わない |

質問は以上です。ご協力誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症拡大期における
受診意識調査
(2021 年度)

報告書

令和4年8月

健康保険組合連合会

〒107-0052 東京都港区赤坂8丁目5番26号（住友不動産青山ビル西館内）

TEL:03-3403-0928

禁無断転載